

令和6年度 中区区民意識調査  
報告書

令和7年1月  
横浜市中区役所

— 目次 —

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の内容	1
3.	調査設計	1
4.	報告書の見方について	1
5.	回答者の属性	2
6.	居住地区	3
II	調査結果	5
1.	お住まいの地域について	5
(1)	自治会・町内会の加入状況	5
(2)	自治会・町内会に加入していない理由	8
(3)	今後、居住地域（自治会・町内会等）で力を入れてほしい地域活動	9
(4)	ボランティア活動・地域コミュニティ活動の参加状況	13
(5)	地域活動に参加しやすいと思う条件	14
(6)	今後の地域活動に関する考え	16
(7)	地域の清掃・美化活動への参加意向	18
(8)	居住地域の清掃状況	20
(9)	地域内のご近所との付き合い方	22
(10)	ご近所との付き合いをどう感じているか	25
(11)	外国人の方とどのような交流があるか《日本国籍の方》	26
(12)	同じ地域内の外国人と交流したいと思うか《日本国籍の方》	27
(13)	外国人増加に関する意見《日本国籍の方》	28
(14)	日本人の方とどのような交流があるか《外国籍の方》	29
(15)	同じ地域内の日本人と交流したいと思うか《外国籍の方》	30
(16)	「多文化共生」の認知度	31
(17)	日本人と外国人がともにより良く暮らすために区が力を入れるべきだと思うこと	32
(18)	居留意向	33
(19)	住み続けたい理由	36
(20)	居住地区への愛着度	41
(21)	現在の生活にどの程度満足しているか	43
(22)	どのくらい幸せだと感じているか	45
2.	防災について	47
(1)	災害時に避難する場所の認知度	47
(2)	避難する場所とのかかわりについて	52
(3)	大きな地震が起きたとき、どのような場合に避難所へ避難するか	53
(4)	災害の被害を最小限に抑えるためにしていること	54

(5) 災害時に区役所に求める対策.....	55
3. 福祉・子育てについて .....	57
(1) 子育て中の親子にあると良いと思う支援.....	57
(2) 高齢者に必要な支援・サービス.....	59
4. あなたの生活や健康について .....	61
(1) 健康状態 .....	61
(2) 健康のために取り組んでいること.....	62
(3) 認知症について関心のあること.....	63
(4) 新型コロナウイルス感染症の取扱い変更後の生活の変化.....	65
(5) 生活のことで心配ごとや困っていること.....	66
(6) 自宅以外で安心していられる場所.....	71
(7) 外国人との生活で戸惑った経験《日本国籍の方》.....	73
(8) 外国人の方に知ってほしいこと《日本国籍の方》.....	74
(9) 日本人との生活で戸惑った経験《外国籍の方》.....	75
(10) 生活の困りごとの相談先《外国籍の方》.....	76
(11) 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために知りたいこと《外国籍の方》.....	77
(12) 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために必要だと思うこと.....	78
5. お住まいの区の地域行政について .....	80
(1) 行政情報や地域情報の入手方法.....	80
(2) 行政の支援やサービスに対する評価.....	83
(ア) 行政の支援やサービスの満足度.....	83
(イ) 行政の支援やサービスの重要度.....	85
6. 自由意見 .....	88
(1) 自由意見 .....	88

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

区政に対する区民の評価やニーズを調査し、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の内容

- (1) 属性質問
- (2) お住まいの地域について
- (3) 防災について
- (4) 福祉・子育てについて
- (5) あなたの生活や健康について
- (6) お住まいの区の地域行政について
- (7) 自由意見

## 3. 調査設計

- (1) 調査対象 中区内に居住する 18 歳以上の方
- (2) 対象数 4,000 人 (内訳／日本国籍 3,500 人、外国籍 500 人)
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査票の言語 日本語、英語、中国語
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送またはインターネットによる回答  
(インターネット回答は日本語のみ)
- (6) 調査期間 令和 6 年 5 月 24 日 (金) ～6 月 21 日 (金)
- (7) 回収結果
  - ア 有効回収数 1,939 件 (内訳／日本国籍 1,791 件 外国籍 148 件)  
インターネット回答 735 件 (内、外国籍 55 件)
  - イ 有効回収率 48.5%

## 4. 報告書の見方について

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、パーセントの合計が 100%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の集計は、回答者数 (票数) に対する回答率で表すため、各項目比率の合計が 100%を上回ることがある。
- (3) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。

## 5. 回答者の属性

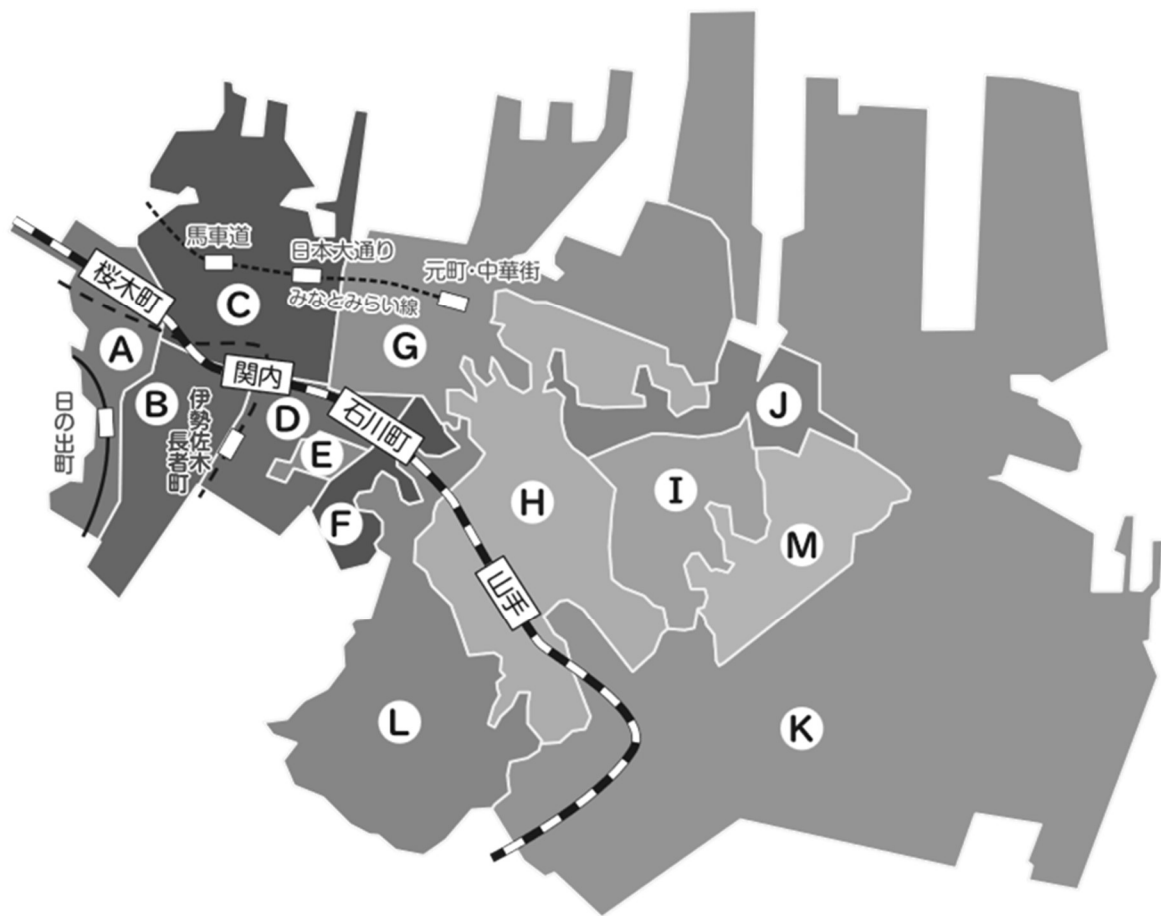
性別	男性	821 件	42.3%	その他	7 件	0.4%
	女性	1009 件	52.0%	無回答	102 件	5.3%
年齢	18～19 歳	12 件	0.6%	60 歳代	340 件	17.5%
	20 歳代	132 件	6.8%	70 歳代	307 件	15.8%
	30 歳代	194 件	10.0%	80 歳以上	158 件	8.1%
	40 歳代	305 件	15.7%	無回答	69 件	3.6%
	50 歳代	422 件	21.8%			
家族構成	ひとり暮らし	422 件	21.8%	祖父母と親と子(三世代)	68 件	3.5%
	夫婦(パートナー)のみ	521 件	26.9%	その他	76 件	3.9%
	親と子(二世代)	765 件	39.5%	無回答	87 件	4.5%
同居家族 (複数回答)	未就学児(保育園児・幼稚園児を除く)	39 件	2.0%	短大生・大学生・大学院生	128 件	6.6%
	保育園児	47 件	2.4%	高齢者(65 歳以上)	457 件	23.6%
	幼稚園児	25 件	1.3%	介護など支援を要する人	88 件	4.5%
	小学生	145 件	7.5%	あてはまる同居人はいない	828 件	42.7%
	中学生	95 件	4.9%	無回答	228 件	11.8%
	高校生・高専生	118 件	6.1%			
職業	会社員・公務員・団体職員など	722 件	37.2%	家事専業	200 件	10.3%
	自営業・自由業	191 件	9.9%	就労などはしていない(無職)	368 件	19.0%
	パート・アルバイトなど	271 件	14.0%	その他	57 件	2.9%
	学生	45 件	2.3%	無回答	85 件	4.4%
配偶者(パートナー)の有無	既婚(配偶者あり・パートナーシップ制度含む)	1113 件	57.4%	未婚	464 件	23.9%
	既婚(離別・死別)	280 件	14.4%	無回答	82 件	4.2%
配偶者(パートナー)のご職業 (「既婚(配偶者あり・パートナーシップ制度含む)」回答者)	会社員・公務員・団体職員など	463 件	41.6%	家事専業	119 件	10.7%
	自営業・自由業	141 件	12.7%	就労などはしていない(無職)	218 件	19.6%
	パート・アルバイトなど	133 件	11.9%	その他	27 件	2.4%
	学生	0 件	0.0%	無回答	12 件	1.1%
居住形態	持家(一戸建て)	584 件	30.1%	借家(社宅、公務員住宅)	42 件	2.2%
	持家(マンション・共同住宅)	694 件	35.8%	借家(民間アパート、民間賃貸マンション)	344 件	17.7%
	借家(一戸建て)	55 件	2.8%	その他	20 件	1.0%
	借家(県営・市営の共同住宅)	32 件	1.7%	無回答	86 件	4.4%
	借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)	82 件	4.2%			
居住期間	2年未満	199 件	10.3%	20 年以上～25 年未満	239 件	12.3%
	2年以上～5年未満	273 件	14.1%	25 年以上～30 年未満	104 件	5.4%
	5年以上～10 年未満	298 件	15.4%	30 年以上	369 件	19.0%
	10 年以上～15 年未満	229 件	11.8%	無回答	57 件	2.9%
	15 年以上～20 年未満	171 件	8.8%			

## 6. 居住地区

地区名	町名	件数	%
A地区 (第1北部地区)	赤門町、内田町、黄金町、桜木町、野毛町、初音町、 花咲町、英町、日ノ出町、宮川町	99件	5.1%
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を 除く)	曙町、伊勢佐木町、末広町、末吉町、羽衣町、 福富町仲通、福富町西通、福富町東通、蓬莱町、 弥生町、吉田町、若葉町	139件	7.2%
C地区 (関内地区)	相生町、太田町、尾上町、海岸通、北仲通、新港、 住吉町、常盤町、日本大通、弁天通、本町、真砂町、 港町、南仲通、元浜町、横浜公園	85件	4.4%
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・ 三吉町を除く)	扇町、翁町、千歳町、長者町、万代町、富士見町、 不老町、山田町、山吹町、吉浜町	121件	6.2%
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を 除く)	寿町、松影町、三吉町	55件	2.8%
F地区 (石川打越地区)	石川町、打越	59件	3.0%
G地区 (第2地区)	新山下、元町、山下町	214件	11.0%
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	上野町、柏葉、鷺山、竹之丸、立野、仲尾台、西之谷町、 本牧緑ヶ丘、豆口台、妙香寺台、麦田町、山手町、 大和町	269件	13.9%
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井 を除く)	本郷町、本牧町、本牧満坂	151件	7.8%
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を 除く)	北方町、小港町、諏訪町、千代崎町、本牧十二天	96件	5.0%
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原 を除く)	池袋、かもめ町、千鳥町、豊浦町、錦町、根岸加曾台、 根岸町、本牧荒井、本牧大里町、本牧三之谷、 本牧ふ頭、本牧間門、本牧元町、南本牧、矢口台	271件	14.0%
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	大芝台、大平町、滝之上、塚越、寺久保、西竹之丸、 根岸旭台、根岸台、箕沢、山元町	193件	10.0%
M地区 (新本牧地区)	本牧原、本牧宮原、本牧和田、和田山	108件	5.6%
無回答		79件	4.1%

※ 地区名欄の括弧書き中の地区名は、「中区地域福祉保健計画」における地区名を指しています。

「中区地域福祉保健計画」における地区のエリア及び地区名



※ 町名による区域と一部異なる部分があります。

- |     |         |     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|-----|---------|
| A地区 | 第1 北部地区 | B地区 | 第1 地区中部 | C地区 | 関内地区    |
| D地区 | 埋地地区    | E地区 | 寿地区     | F地区 | 石川打越地区  |
| G地区 | 第2 地区   | H地区 | 第3 地区   | I地区 | 第4 地区南部 |
| J地区 | 第4 地区北部 | K地区 | 本牧・根岸地区 | L地区 | 第6 地区   |
| M地区 | 新本牧地区   |     |         |     |         |

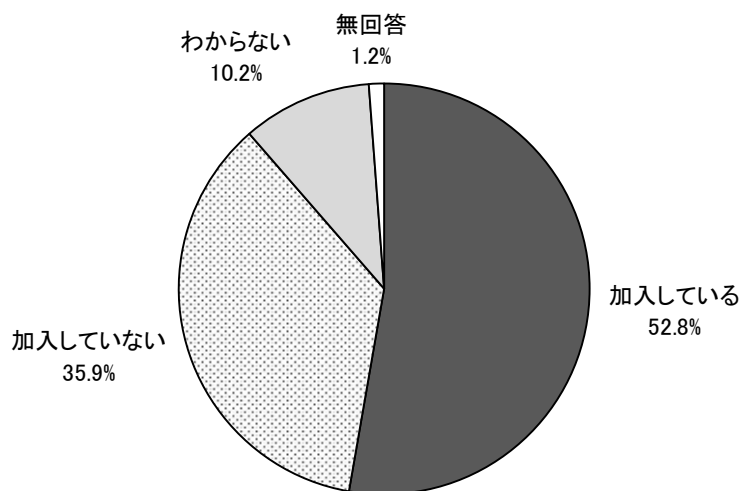
## II 調査結果

### 1. お住まいの地域について

#### (1) 自治会・町内会の加入状況

問1 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

自治会・町内会の加入状況は、「加入している」が52.8%と最も高くなっているが、35.9%の方が「加入していない」と回答している。



(n= 1,939)



① 自治会・町内会の加入状況【地区別】

地区別に自治会・町内会の加入状況をみると、「加入している」は「I地区」が77.5%と最も高く、次いで「K地区」72.0%、「J地区」66.7%と続いている。一方、「加入していない」は「E地区」が最も高く74.5%、次いで「D地区」57.0%、「B地区」51.8%と続いている。

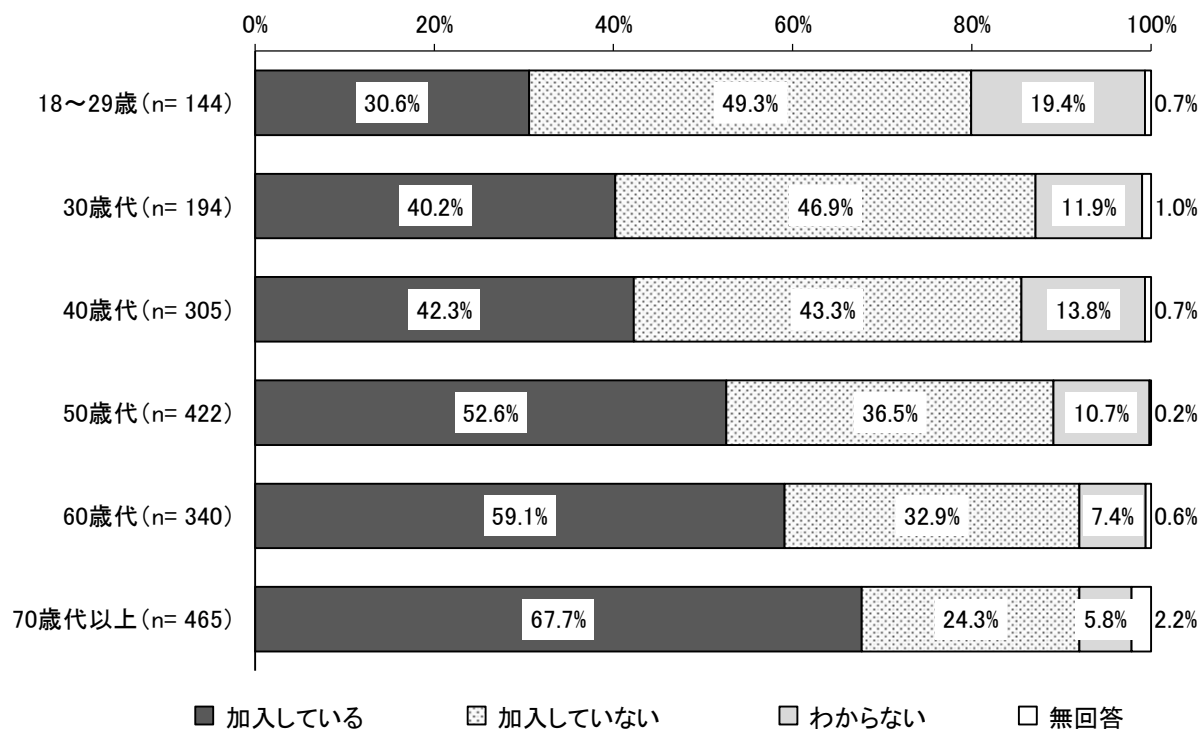
		(%)			
	n=	加入している	加入していない	わからない	無回答
全体	1,939	52.8	35.9	10.2	1.2
A地区 (第1北部地区)	99	43.4	45.5	10.1	1.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	34.5	51.8	13.7	0.0
C地区 (関内地区)	85	30.6	44.7	23.5	1.2
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	17.4	57.0	25.6	0.0
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	12.7	74.5	10.9	1.8
F地区 (石川打越地区)	59	61.0	28.8	6.8	3.4
G地区 (第2地区)	214	38.3	45.8	15.0	0.9
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	63.9	29.0	5.9	1.1
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	77.5	14.6	6.6	1.3
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	66.7	26.0	7.3	0.0
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	72.0	19.9	7.0	1.1
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	61.1	33.7	4.1	1.0
M地区 (新本牧地区)	108	53.7	41.7	4.6	0.0

<注釈>・居住地区別の地区割りの詳細は、3ページをご覧ください。

・網掛け箇所は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。

② 自治会・町内会の加入状況【年代別】

年代別に自治会・町内会の加入状況をみると、「加入している」は「70歳代以上」が67.7%と最も高く、次いで「60歳代」59.1%、「50歳代」52.6%と続いている。18～40歳代では、「加入している」割合よりも、「加入していない」割合の方が高くなっている。

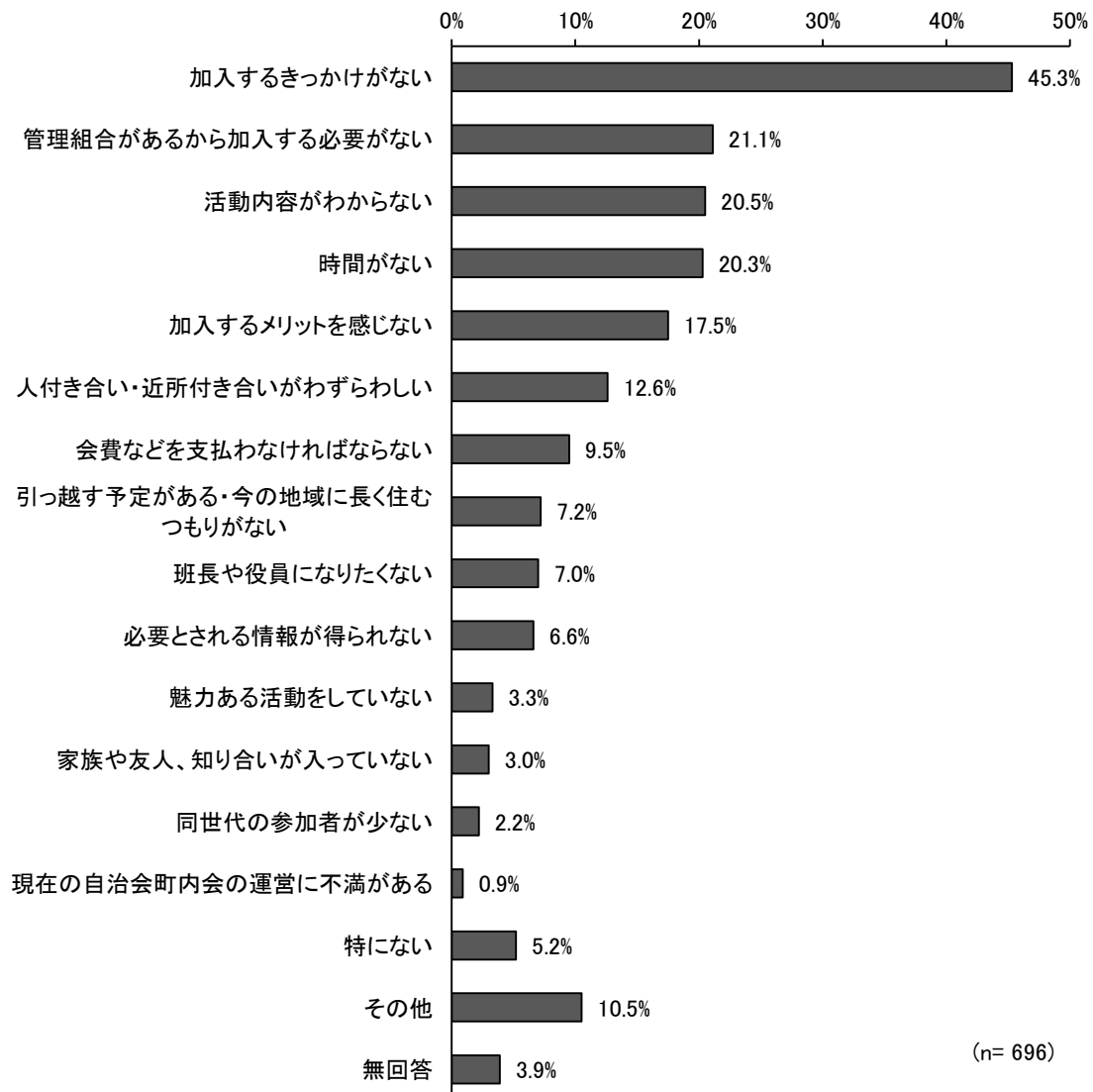


## (2) 自治会・町内会に加入していない理由

【問1で2「加入していない」と答えた方にお聞きします。】

問2 あなたが自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。(〇は3つまで)

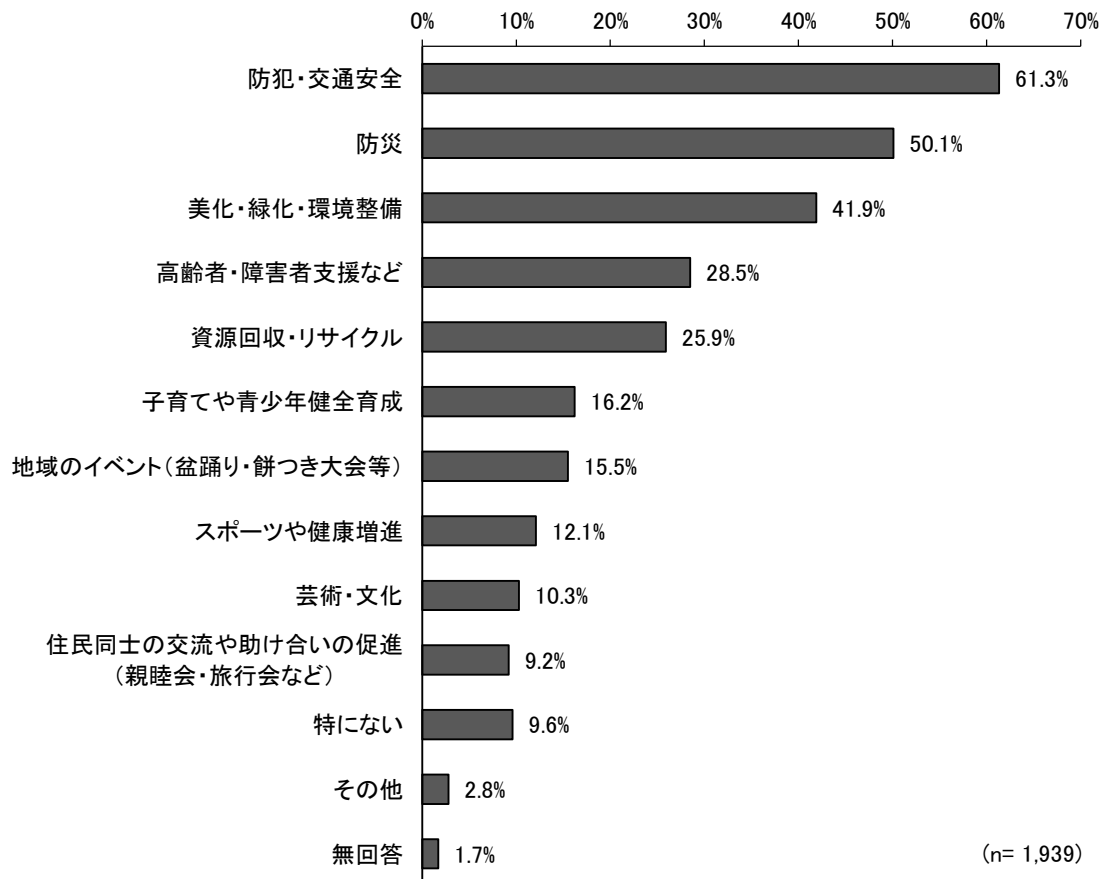
自治会・町内会に加入していない理由については、「加入するきっかけがない」が45.3%と最も高く、次いで「管理組合があるから加入する必要がない」21.1%、「活動内容がわからない」20.5%、「時間がない」20.3%の順となっている。



### (3) 今後、居住地域（自治会・町内会等）で力を入れてほしい地域活動

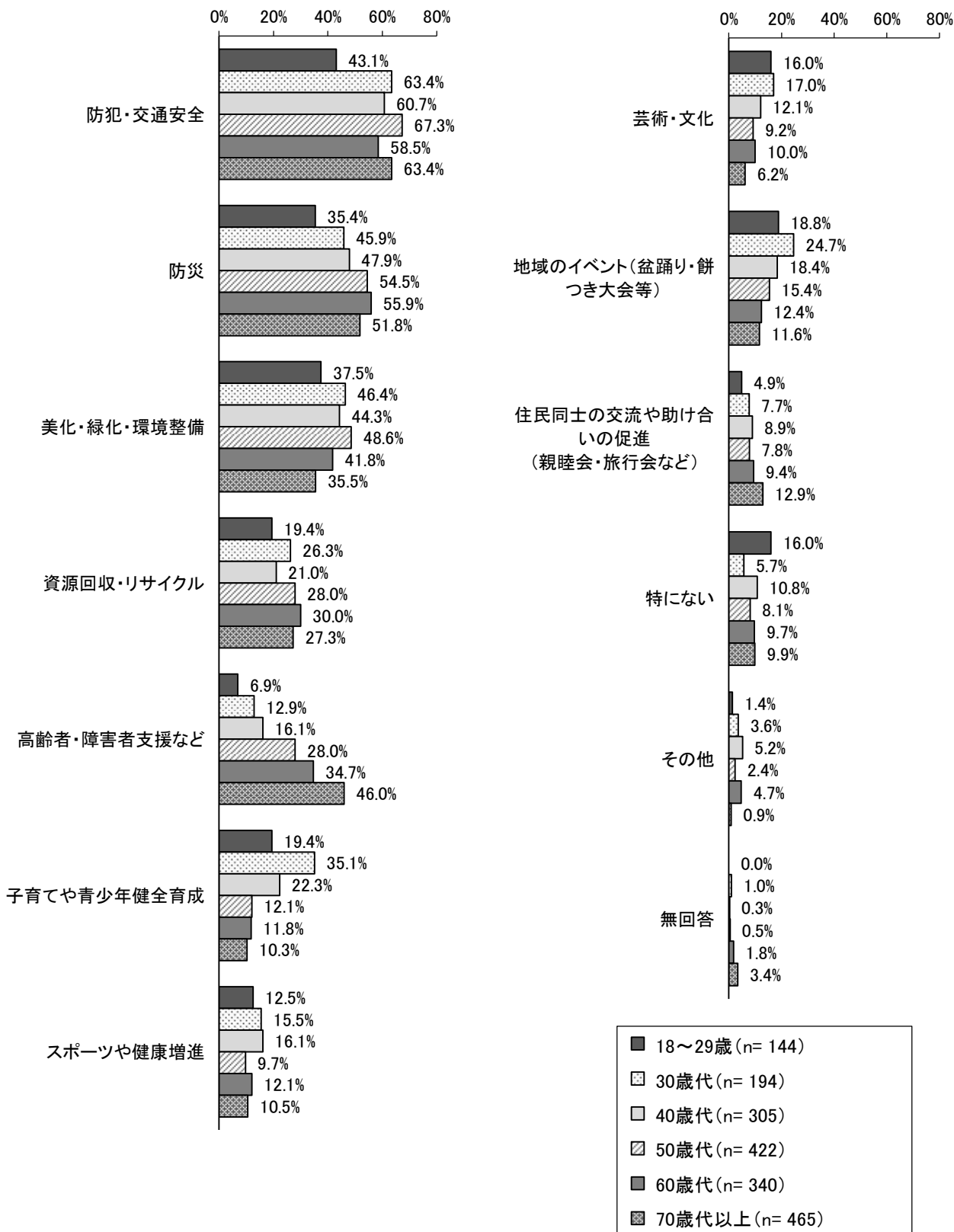
問3 今後、あなたがお住まいの地域（自治会・町内会等）で力を入れてほしいと思う地域活動は何ですか。（〇はいくつでも）

力を入れてほしいと思う地域活動としては、「防犯・交通安全」が61.3%と最も高く、次いで「防災」50.1%、「美化・緑化・環境整備」41.9%、「高齢者・障害者支援など」28.5%の順となっている。



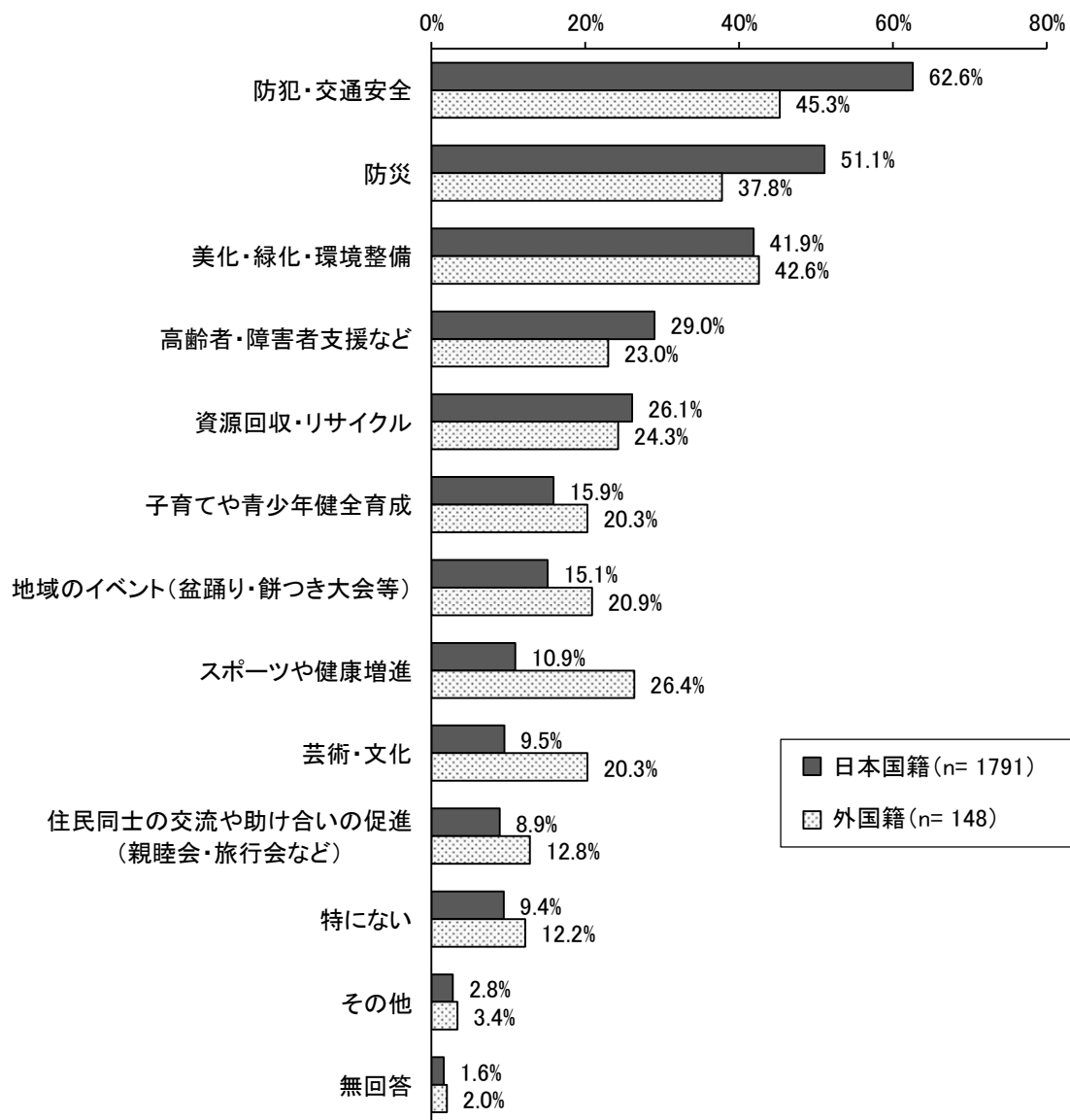
① 今後、居住地（自治会・町内会等）で力を入れてほしい地域活動【年代別】

力を入れてほしい地域活動を年代別にみると、「防犯・交通安全」、「防災」、「美化・緑化・環境整備」はすべての年代層において高い割合となっている。「高齢者・障害者支援など」は、年齢が上がるにつれ割合が高くなり、70歳代以上では46.0%となっている。



② 今後、居住地（自治会・町内会等）で力を入れてほしい地域活動【国籍別】

国籍別にみると、日本国籍の方は「防犯・交通安全」「防災」の割合が高く、外国籍の方は「スポーツや健康増進」「芸術・文化」の割合が日本国籍の方の2倍以上となっている。



③ 今後、居住地域（自治会・町内会等）で力を入れてほしい地域活動【地区別】

地区別にみると、L地区を除くすべての地区で「防犯・交通安全」が最も高く、中でもB地区が68.3%と特に高い割合となっている。L地区は「防災」が最も高い。

(%)

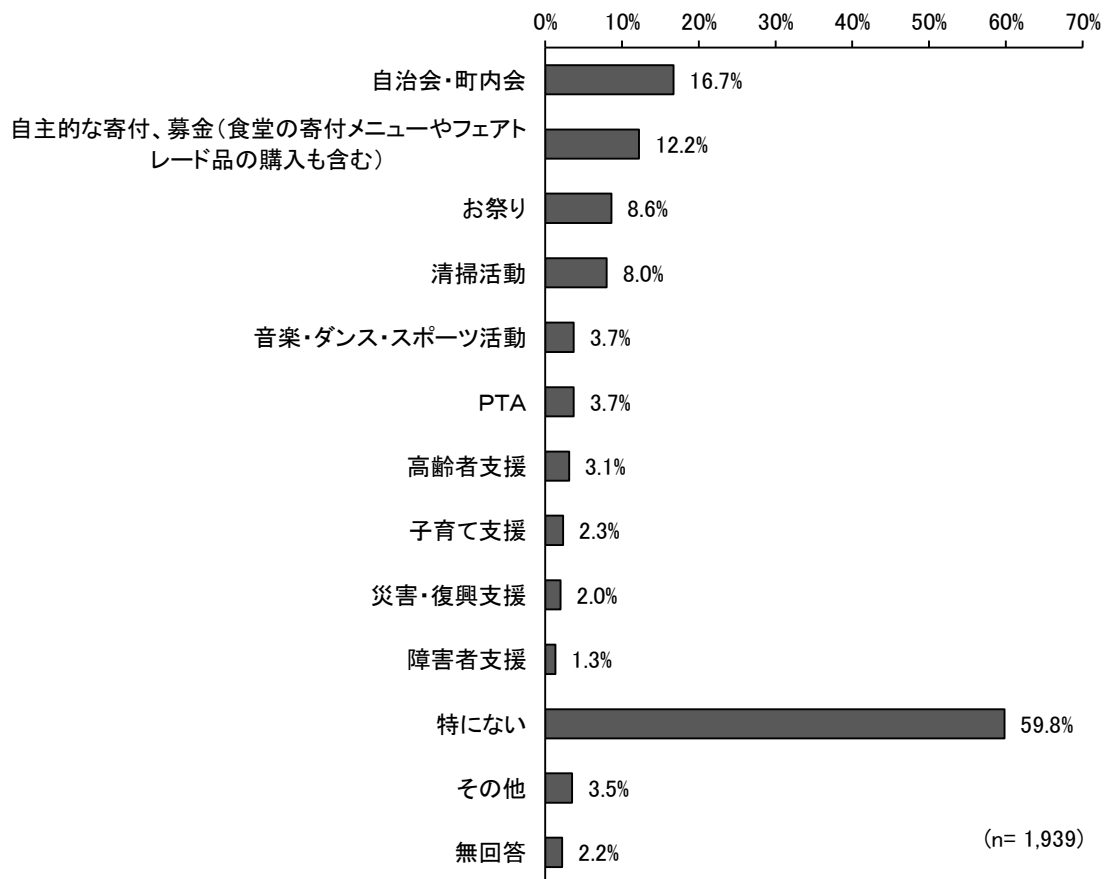
	n=	防犯・交通安全	防災	美化・緑化・環境整備	高齢者・障害者支援など	資源回収・リサイクル	子育てや青少年健全育成	地域のイベント（盆踊り・餅つき大会等）	スポーツや健康増進	芸術・文化	住民同士の交流や助け合いの促進（親睦会・旅行会など）	特になし	その他	無回答
全体	1,939	61.3	50.1	41.9	28.5	25.9	16.2	15.5	12.1	10.3	9.2	9.6	2.8	1.7
A地区 (第1北部地区)	99	56.6	37.4	48.5	24.2	18.2	16.2	18.2	8.1	15.2	11.1	14.1	3.0	0.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	68.3	41.0	50.4	22.3	23.7	13.7	12.9	11.5	9.4	7.2	9.4	5.0	0.7
C地区 (関内地区)	85	60.0	50.6	42.4	21.2	21.2	15.3	17.6	14.1	17.6	10.6	7.1	1.2	1.2
D地区（埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く）	121	62.8	45.5	47.1	19.0	25.6	11.6	14.9	11.6	9.9	7.4	11.6	4.1	1.7
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	61.8	36.4	32.7	30.9	18.2	12.7	18.2	12.7	5.5	9.1	18.2	3.6	5.5
F地区 (石川打越地区)	59	49.2	45.8	40.7	28.8	30.5	15.3	11.9	11.9	8.5	13.6	15.3	1.7	1.7
G地区 (第2地区)	214	61.7	51.4	45.8	27.6	24.3	15.9	14.0	18.7	15.0	6.5	6.1	1.4	0.9
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	63.2	59.1	42.0	31.2	29.7	17.5	13.4	10.4	10.8	9.3	7.8	4.1	0.7
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	61.6	56.3	40.4	27.8	25.8	18.5	18.5	7.3	5.3	10.6	8.6	6.0	1.3
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	63.5	56.2	27.1	41.7	22.9	20.8	16.7	11.5	8.3	8.3	10.4	1.0	3.1
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	62.7	47.2	40.2	27.3	31.4	14.8	17.0	11.8	8.9	11.1	8.5	3.0	2.2
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	55.4	56.0	44.6	35.8	26.9	16.1	13.5	13.0	7.3	6.7	11.4	2.1	1.0
M地区 (新本牧地区)	108	64.8	56.5	38.0	30.6	27.8	22.2	20.4	13.9	15.7	13.0	9.3	0.0	0.0

<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

#### (4) ボランティア活動・地域コミュニティ活動の参加状況

問4 あなたは以下のうちどのようなボランティア活動、地域コミュニティ活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

ボランティア活動・地域コミュニティ活動の参加状況について、59.8%の方が「特にない」と回答しており、最も高い「自治会・町内会」でも16.7%となっている。

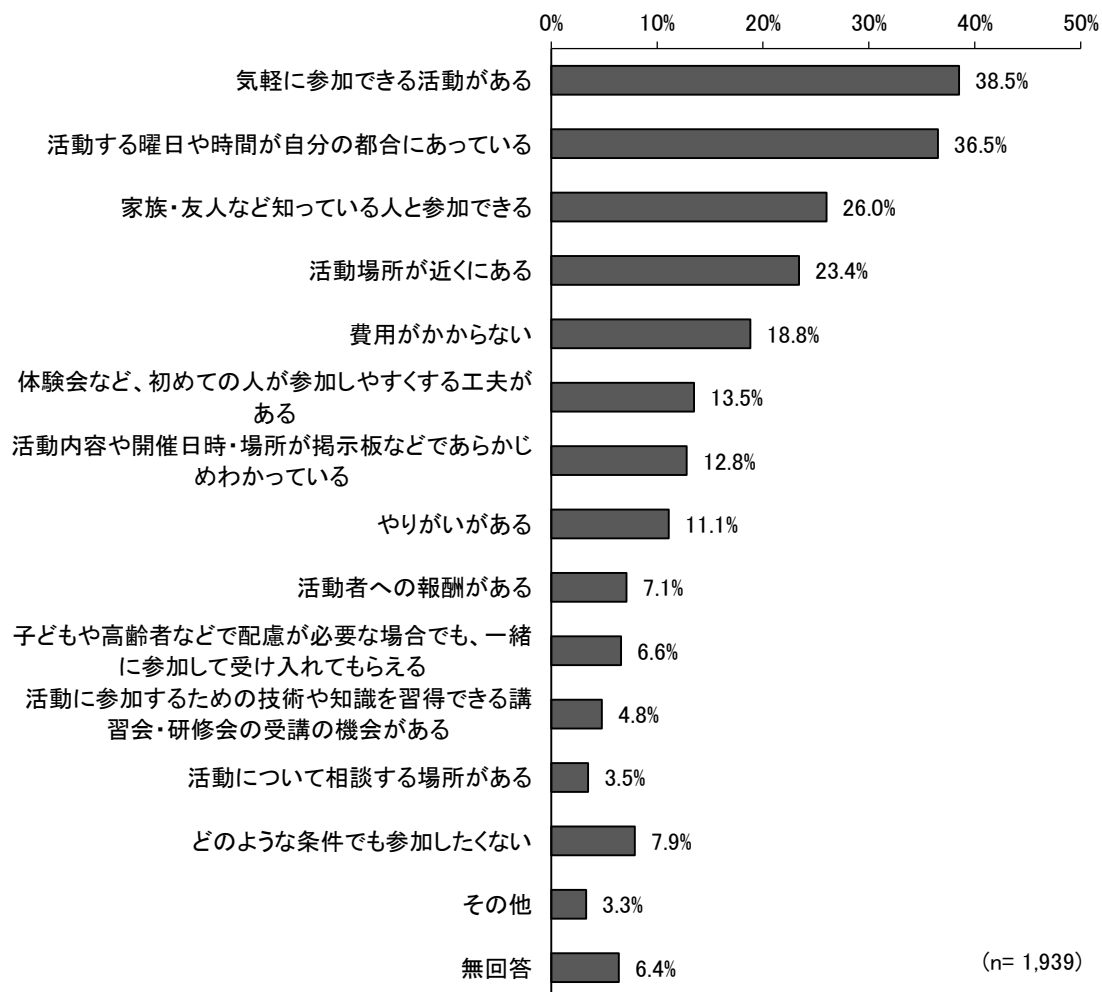




### (5) 地域活動に参加しやすいと思う条件

問5 あなたはどのような条件であれば、地域活動に参加しやすくなると思いますか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。(〇は3つまで)

地域活動に参加しやすくなる条件としては、「気軽に参加できる活動がある」が38.5%と最も高く、次いで「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」が36.5%で続いている。



① 地域活動に参加しやすいと思う条件【地区別】

地区別に地域活動に参加しやすい条件をみると、「気軽に参加できる活動がある」は、どの地区でも他の項目と比べ高い割合となっているが、「C地区」が最も高く45.9%となっている。「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」では「L地区」が最も高く41.5%となっている。

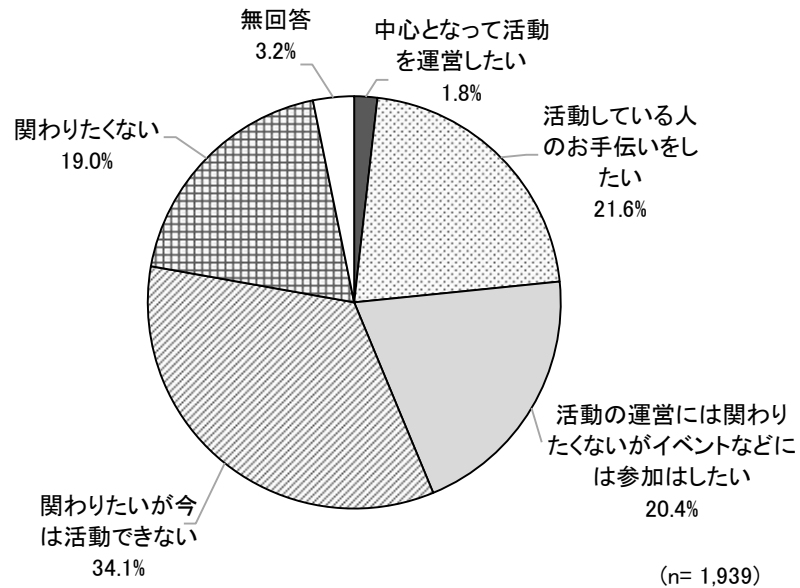
	n=	気軽に参加できる活動がある	活動する曜日や時間が自分の都合にあっている	家族・友人など知っている人と参加できる	活動場所が近くにある	費用がかからない	体験会など、初めての人が参加しやすい工夫がある	掲示板などであらかじめわかっている	活動内容や開催日時・場所が掲載されている	やりがいがある	どのような条件でも参加したくない	活動者への報酬がある	子どもや高齢者など配慮が必要な場合でも一緒に参加して受け入れてもらえる	識を習得できる講習会・研修会などの機会がある	活動に参加するための技術や知識を習得できる講習会・研修会などがある	活動について相談する場所がある	その他	無回答
全体	1,939	38.5	36.5	26.0	23.4	18.8	13.5	12.8	11.1	7.9	7.1	6.6	4.8	3.5	3.3	6.4		
A地区 (第1北部地区)	99	37.4	36.4	21.2	31.3	24.2	14.1	18.2	12.1	10.1	4.0	7.1	5.1	1.0	3.0	3.0		
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	38.8	36.7	28.1	23.7	16.5	10.1	12.9	15.8	10.8	10.8	7.2	2.2	2.2	7.2	2.2		
C地区 (関内地区)	85	45.9	38.8	21.2	30.6	16.5	17.6	9.4	9.4	5.9	4.7	7.1	7.1	2.4	7.1	3.5		
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	28.9	37.2	23.1	27.3	15.7	9.1	11.6	14.9	14.0	7.4	5.0	4.1	5.0	4.1	6.6		
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	32.7	21.8	9.1	25.5	12.7	10.9	9.1	7.3	23.6	10.9	3.6	3.6	7.3	3.6	9.1		
F地区 (石川打越地区)	59	37.3	37.3	32.2	13.6	15.3	13.6	15.3	10.2	16.9	11.9	10.2	1.7	1.7	0.0	3.4		
G地区 (第2地区)	214	41.1	40.7	24.8	29.9	21.0	18.7	14.5	9.3	4.7	8.4	4.2	7.5	2.8	0.9	4.2		
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	41.3	37.2	22.3	17.8	15.6	14.9	16.4	15.6	5.9	4.8	7.1	7.1	4.8	1.9	6.3		
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	39.1	38.4	35.8	21.9	25.2	11.9	11.3	6.6	7.3	6.0	6.0	1.3	2.6	2.6	6.6		
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	37.5	34.4	29.2	19.8	20.8	13.5	9.4	10.4	8.3	5.2	8.3	5.2	4.2	0.0	9.4		
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	39.1	33.9	26.9	20.7	16.2	15.1	10.7	9.2	6.3	7.4	6.3	6.3	4.4	5.9	6.6		
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	40.9	41.5	26.4	23.8	19.7	12.4	13.5	11.9	7.8	4.7	6.2	3.6	4.7	3.6	6.2		
M地区 (新本牧地区)	108	35.2	38.0	32.4	22.2	22.2	13.0	14.8	6.5	3.7	11.1	10.2	3.7	0.9	0.9	7.4		

<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

## (6) 今後の地域活動に関する考え

問6 あなたの今後の地域活動に関する考えで、最も近いものをお答えください。(○は1つ)

今後の地域活動に関する考えとしては、「中心となって活動を運営したい」「活動している人のお手伝いをしたい」「活動の運営には関わりたくないがイベントなどには参加はしたい」の参加意向がある方を合わせると43.8%となる。一方、「関わりたくない」は19.0%となっている。



① 今後の地域活動に関する考え【問5 地域活動に参加しやすくなる条件別】

地域活動に参加しやすくなる条件別に、今後の地域活動に関する考え方をみると、「活動している人のお手伝いをしたい」は、「活動に参加するための技術や知識を習得できる講習会・研修会の受講の機会がある」を条件にあげる方が34.4%と最も高くなっている。「関わりたいが今は活動できない」では、「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」と「費用がかからない」を条件にあげる方がともに41.9%と最も高くなっている。

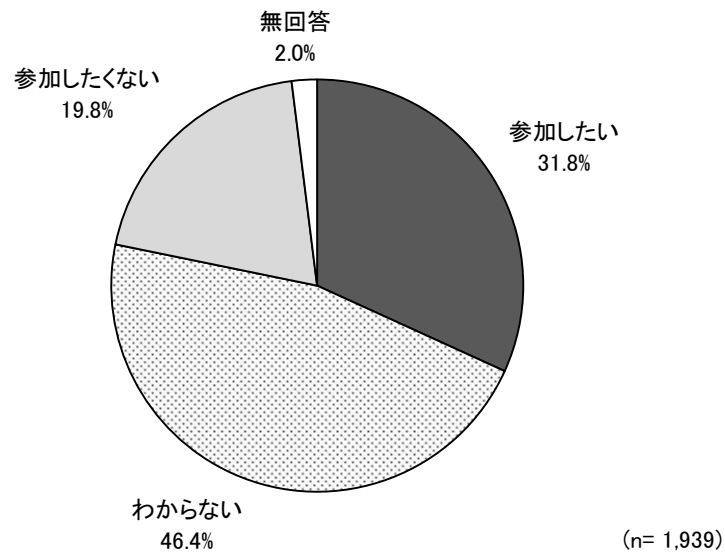
	n=	し中心となつて活動を運営したい	い活動している人のお手伝いをしたい	はく活動の運営には関わりたい	き関わりたいが今は活動できない	関わりたくない	無回答
全体	1,939	1.8	21.6	20.4	34.1	19.0	3.2
家族・友人など知っている人と参加できる	504	2.8	25.8	24.2	33.7	11.7	1.8
気軽に参加できる活動がある	747	2.3	29.2	24.8	32.3	10.3	1.2
活動する曜日や時間が自分の都合にあっている	707	1.1	24.0	22.6	41.9	9.5	0.8
活動場所が近くにある	454	2.4	25.8	25.1	36.3	9.7	0.7
費用がかからない	365	1.1	24.0	22.6	41.9	9.5	0.8
活動者への報酬がある	138	2.4	25.8	25.1	36.3	9.7	0.7
やりがいがある	215	1.4	17.0	26.3	34.2	19.5	1.6
活動について相談する場所がある	67	2.9	18.1	19.6	37.7	21.0	0.7
活動内容や開催日時・場所が掲示板などであらかじめわかっている	248	1.6	25.4	27.8	33.9	9.3	2.0
子どもや高齢者などで配慮が必要な場合でも、一緒に参加して受け入れてもらえる	128	0.8	26.6	28.9	36.7	6.3	0.8
活動に参加するための技術や知識を習得できる講習会・研修会の受講の機会がある	93	2.2	34.4	18.3	33.3	11.8	0.0
体験会など、初めての人が参加しやすくする工夫がある	261	0.8	29.9	28.4	31.0	9.2	0.8
どのような条件でも参加したくない	154	0.0	0.0	3.9	9.1	87.0	0.0
その他	64	1.6	14.1	12.5	37.5	28.1	6.3

<注釈>・網掛け箇所は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。

(7) 地域の清掃・美化活動への参加意向

問7 地域の清掃・美化活動に今後参加したいと思いますか。(○は1つ)

地域の清掃・美化活動には、31.8%の方が「参加したい」と回答している。



① 地域の清掃・美化活動への参加意向【地区別】

地区別に地域の清掃・美化活動への参加意向をみると、ほとんどの地区で「わからない」が最も高くなっているが、「参加したい」は、「L地区」が37.3%で最も高く、次いで「M地区」36.1%、「I地区」35.1%と続く。

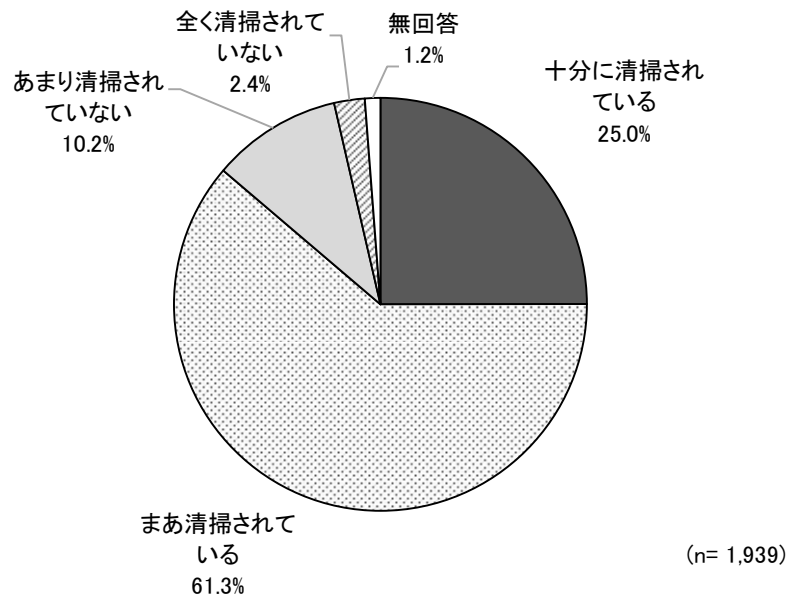
					(%)
	n=	参加したい	わからない	参加したくない	無回答
全体	1,939	31.8	46.4	19.8	2.0
A地区 (第1北部地区)	99	26.3	52.5	21.2	0.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	33.1	41.0	25.2	0.7
C地区 (関内地区)	85	30.6	44.7	21.2	3.5
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	26.4	50.4	20.7	2.5
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	20.0	34.5	41.8	3.6
F地区 (石川打越地区)	59	28.8	47.5	22.0	1.7
G地区 (第2地区)	214	31.3	47.2	20.6	0.9
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	30.9	47.2	19.0	3.0
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	35.1	46.4	16.6	2.0
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	32.3	44.8	20.8	2.1
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	32.8	49.1	16.6	1.5
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	37.3	45.6	16.1	1.0
M地区 (新本牧地区)	108	36.1	47.2	16.7	0.0

<注釈>・網掛け箇所は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。

### (8) 居住地域の清掃状況

問8 あなたの住んでいる地域は清掃が十分に行き届いていると思いますか。(○は1つ)

清掃が十分に行き届いているか尋ねたところ、「十分に清掃されている」と「まあ清掃されている」を合わせると86.3%となっている。



① 居住地域の清掃状況【地区別】

地区別に居住地域の清掃状況を見ると、すべての地区で「まあ清掃されている」が最も高くなっている。特に「F地区」71.2%、「I地区」70.2%、「L地区」66.8%が高い割合となっている。

		(%)				
	n=	て十分に清掃され	いまあ清掃されて	てあまり清掃され	い全く清掃されて	無回答
全体	1,939	25.0	61.3	10.2	2.4	1.2
A地区 (第1北部地区)	99	20.2	59.6	19.2	0.0	1.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	12.2	54.7	28.1	4.3	0.7
C地区 (関内地区)	85	29.4	63.5	5.9	0.0	1.2
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	15.7	56.2	21.5	5.8	0.8
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	10.9	43.6	29.1	14.5	1.8
F地区 (石川打越地区)	59	15.3	71.2	10.2	1.7	1.7
G地区 (第2地区)	214	28.0	58.9	10.3	1.4	1.4
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	28.6	64.3	4.8	1.5	0.7
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	20.5	70.2	6.0	2.0	1.3
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	38.5	53.1	5.2	2.1	1.0
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	27.7	63.5	5.2	2.6	1.1
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	25.9	66.8	5.2	1.0	1.0
M地区 (新本牧地区)	108	41.7	55.6	1.9	0.9	0.0

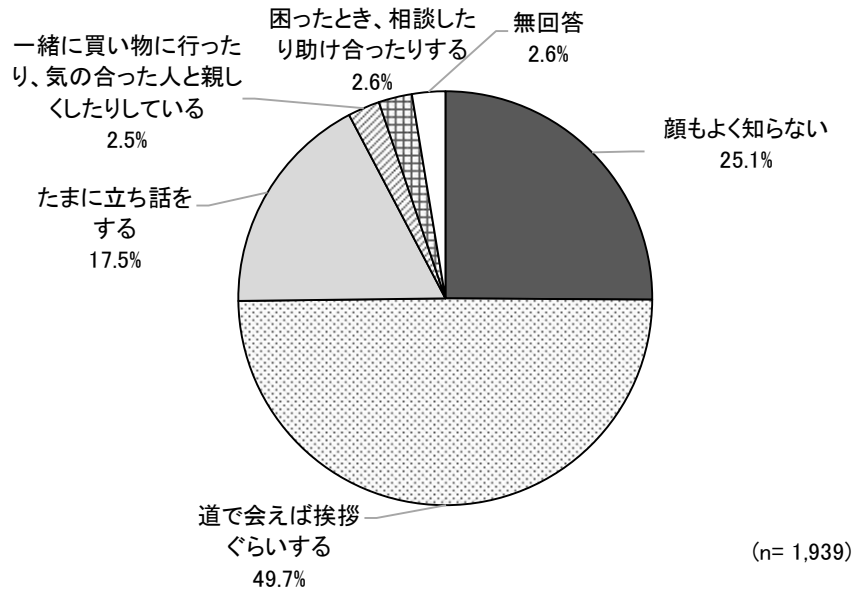
<注釈>・網掛け箇所は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。



### (9) 地域内のご近所との付き合い方

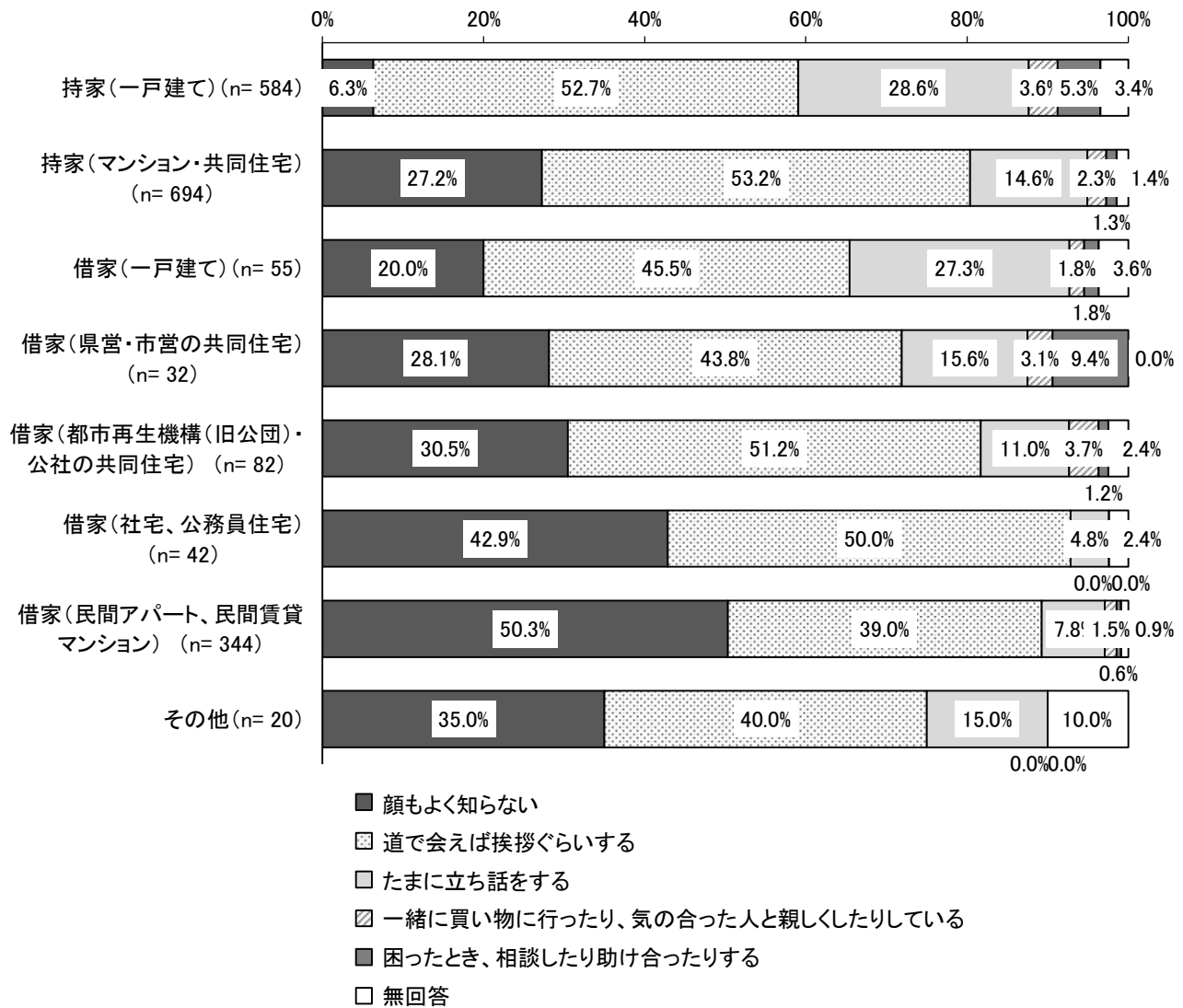
問9 あなたは、地域内のご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。(○は1つ)

ご近所の方との付き合い方については、「道で会えば挨拶ぐらいする」が49.7%となっているが、25.1%の方は「顔もよく知らない」と回答している。



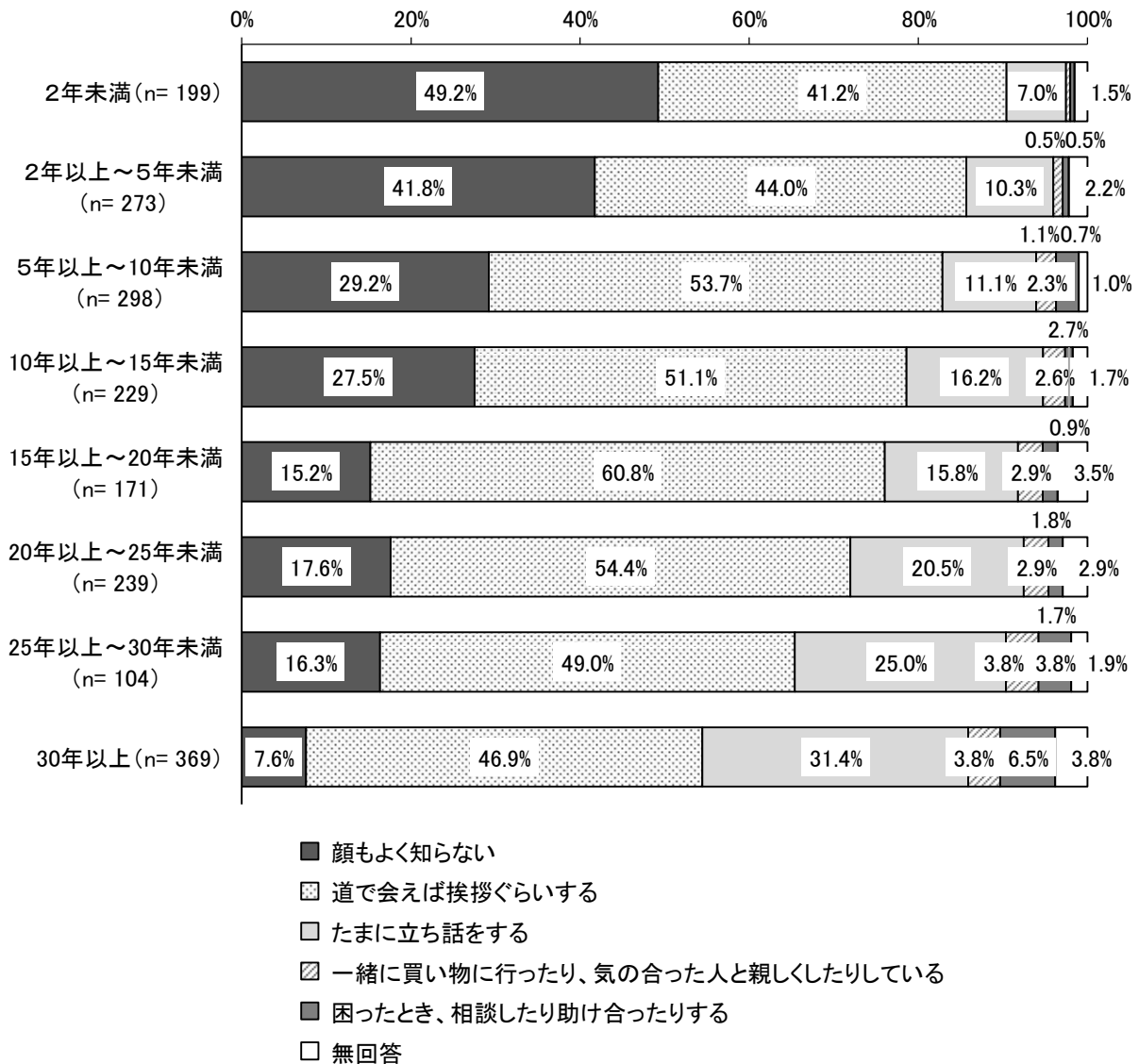
① 地域内のご近所との付き合い方【居住形態別】

居住形態別に地域内のご近所との付き合い方をみると、「顔もよく知らない」は「借家（民間アパート、民間賃貸マンション）」が50.3%で最も高くなっている。「道で会えば挨拶ぐらいする」は、「持家（一戸建て）」、「持家（マンション・共同住宅）」、「借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）」、「借家（社宅、公務員住宅）」で50%以上の割合となっている。



② 地域内のご近所との付き合い方【居住期間別】

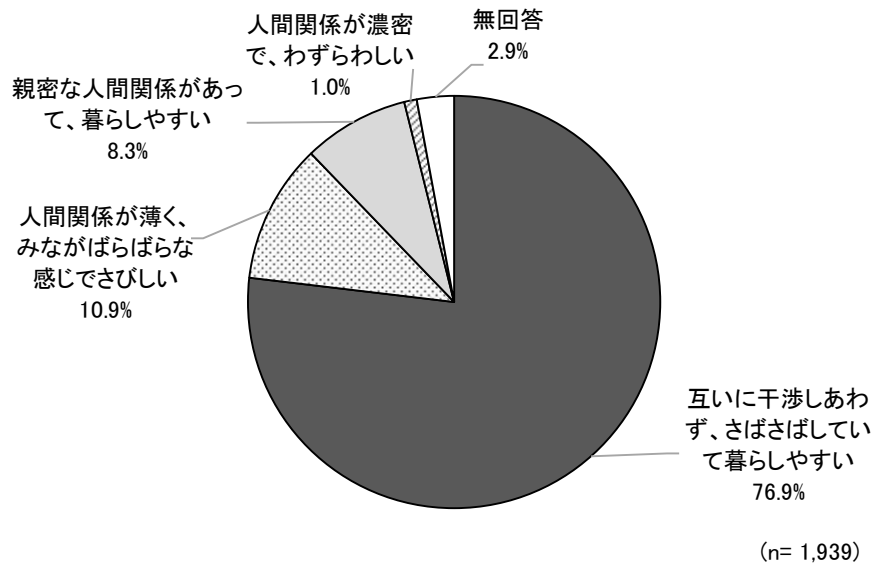
居住期間別に地域内のご近所との付き合い方をみると、「顔もよく知らない」は「2年未満」が49.2%で最も割合が高い。「道で会えば挨拶ぐらいする」は「15年以上～20年未満」で60.8%と最も高くなっている。



(10) ご近所との付き合いをどう感じているか

問 10 あなたは近所との付き合いをどのように感じていますか。(○は1つ)

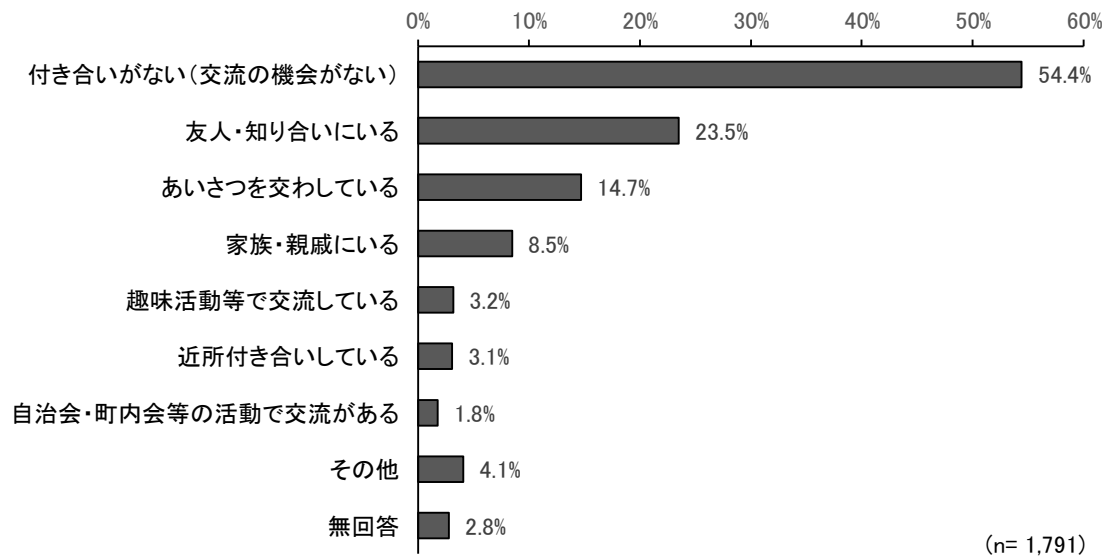
近所付き合いをどのように感じているか尋ねたところ、「互いに干渉しあわず、さばさばして  
暮らしやすい」が76.9%と最も高くなっている。



(11) 外国人の方とどのような交流があるか《日本国籍の方》

問 11 あなたは現在、外国人の方とどのような交流がありますか。(〇はいくつでも)

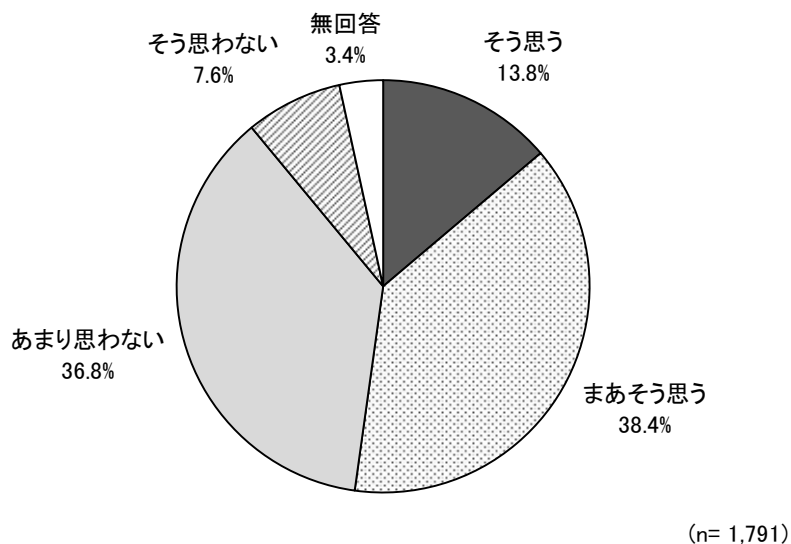
日本国籍の方に外国人との交流について尋ねたところ、「付き合いがない(交流の機会がない)」が54.4%と最も高くなっている。



(12) 同じ地域内の外国人と交流したいと思うか《日本国籍の方》

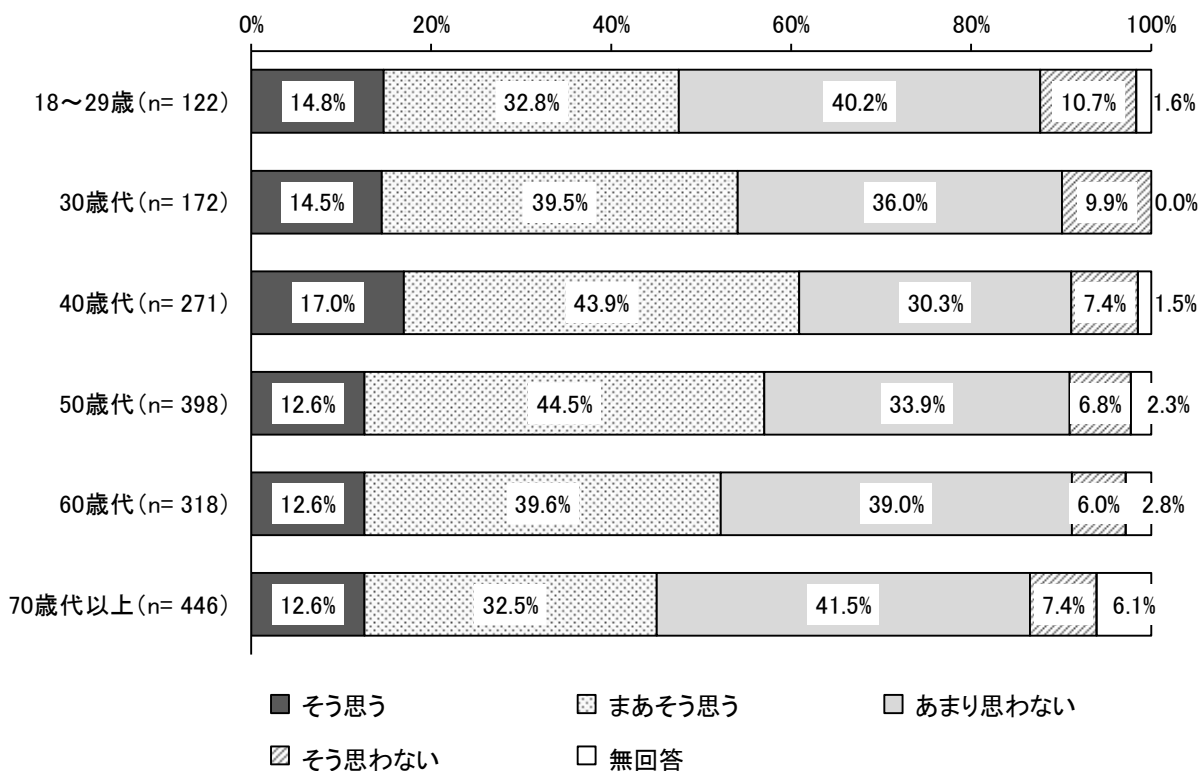
問 12 あなたは同じ地域に住む外国人と交流したいと思いますか。(○は1つ)

日本国籍の方に同じ地域内の外国人と交流したいか尋ねたところ、「そう思う」が13.8%、「まあそう思う」と合わせると52.2%であった。



① 同じ地域内の外国人と交流したいと思うか《日本国籍の方》【年代別】

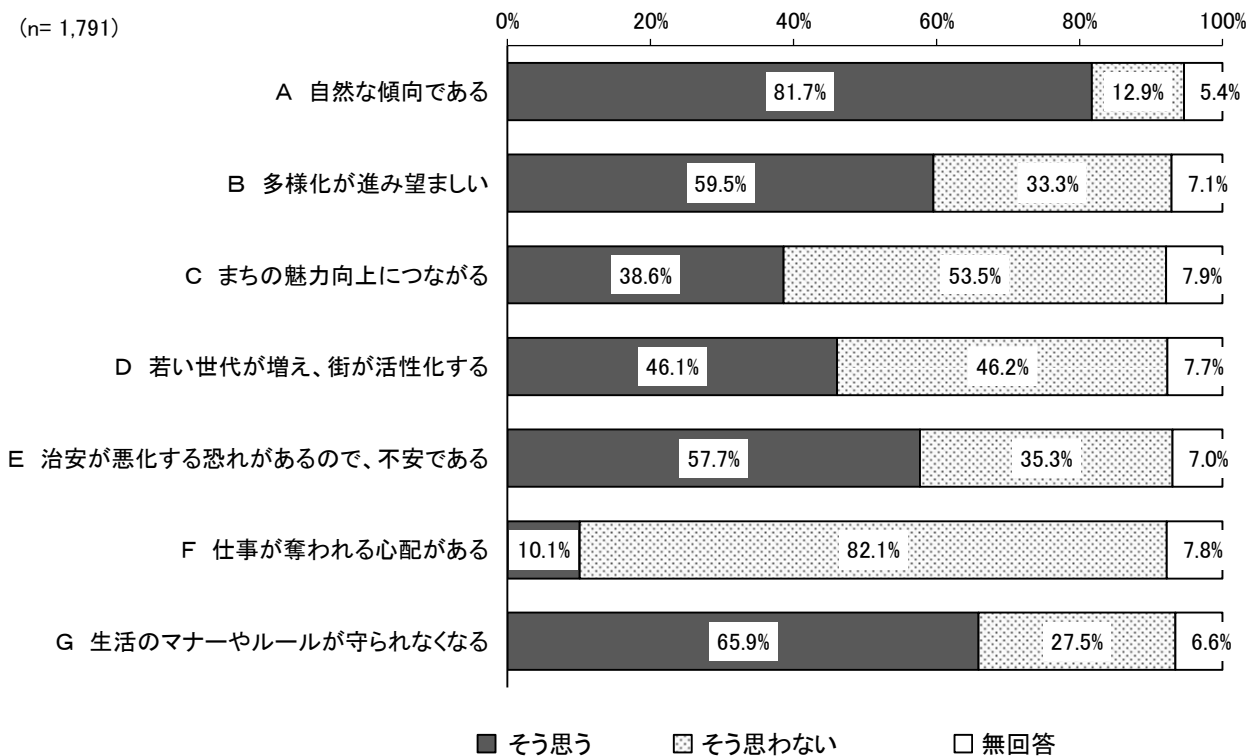
同じ地域内の外国人と交流したいと思うかについて、年代別でみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせると、「40歳代」の60.9%が最も高く、次いで「50歳代」57.1%、「30歳代」54.0%と続いている。



(13) 外国人増加に関する意見《日本国籍の方》

問 13 外国人の方が増えていくことについて、どう考えますか。A～G について、1 または 2、あてはまる方を1つずつお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

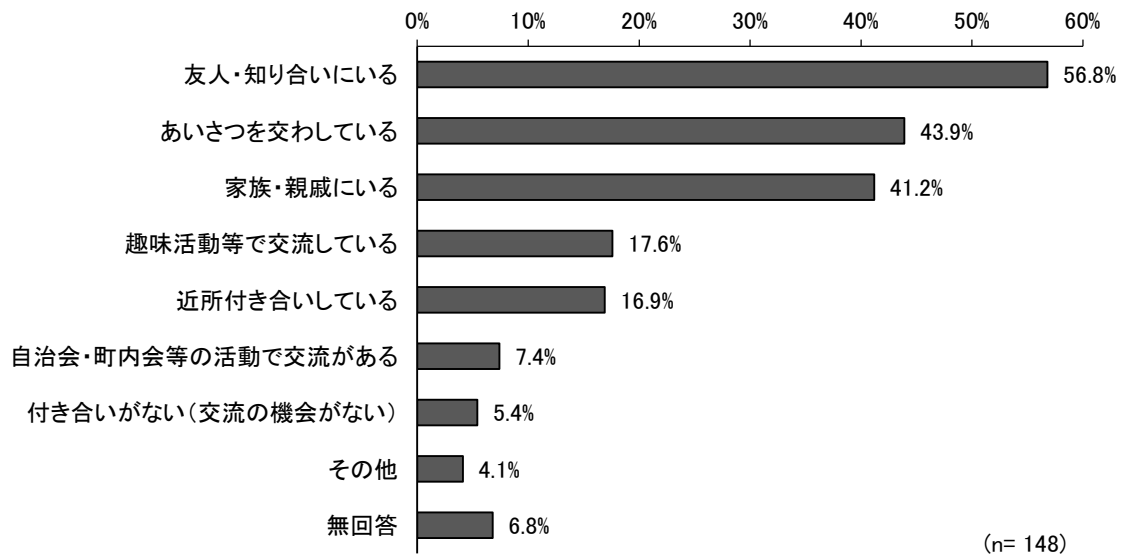
外国人の増加についての意見に対して「そう思う」が最も高いのは、「自然な傾向である」で 81.7% であった。



(14) 日本人の方とどのような交流があるか《外国籍の方》

問 14 あなたは現在、日本人の方とどのような交流がありますか。(〇はいくつでも)

外国籍の方に日本人との交流について尋ねたところ、「友人・知り合いにいる」が 56.8%と最も高く、次いで「あいさつを交わしている」43.9%、「家族・親戚にいる」41.2%が続いている。

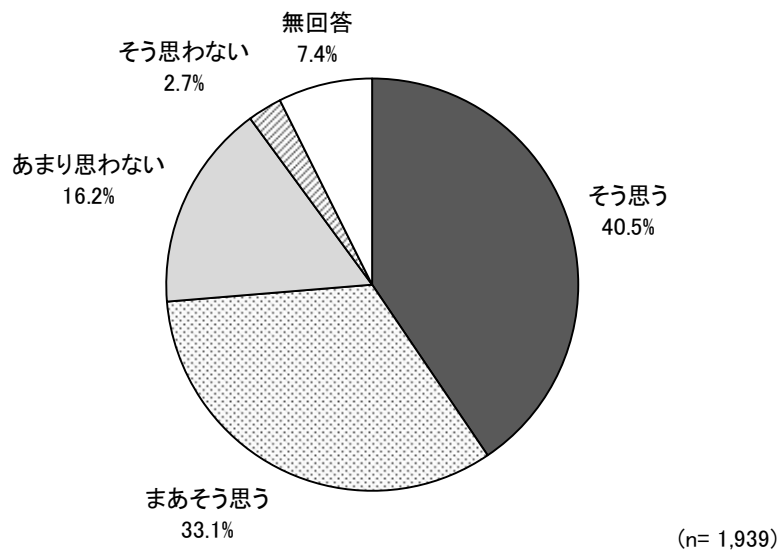




(15) 同じ地域内の日本人と交流したいと思うか《外国籍の方》

問 15 あなたは同じ地域に住む日本人と交流したいと思いますか。(○は1つ)

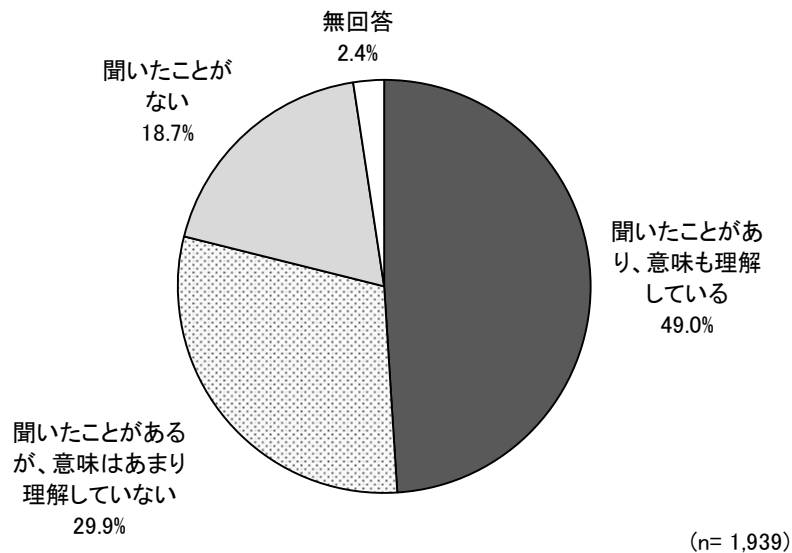
外国籍の方に同じ地域内の日本人と交流したいか尋ねたところ、「そう思う」が40.5%、「まあそう思う」を合わせると73.6%となっており、日本国籍の方に比べて、交流意向が高い傾向にある。



(16) 「多文化共生」の認知度

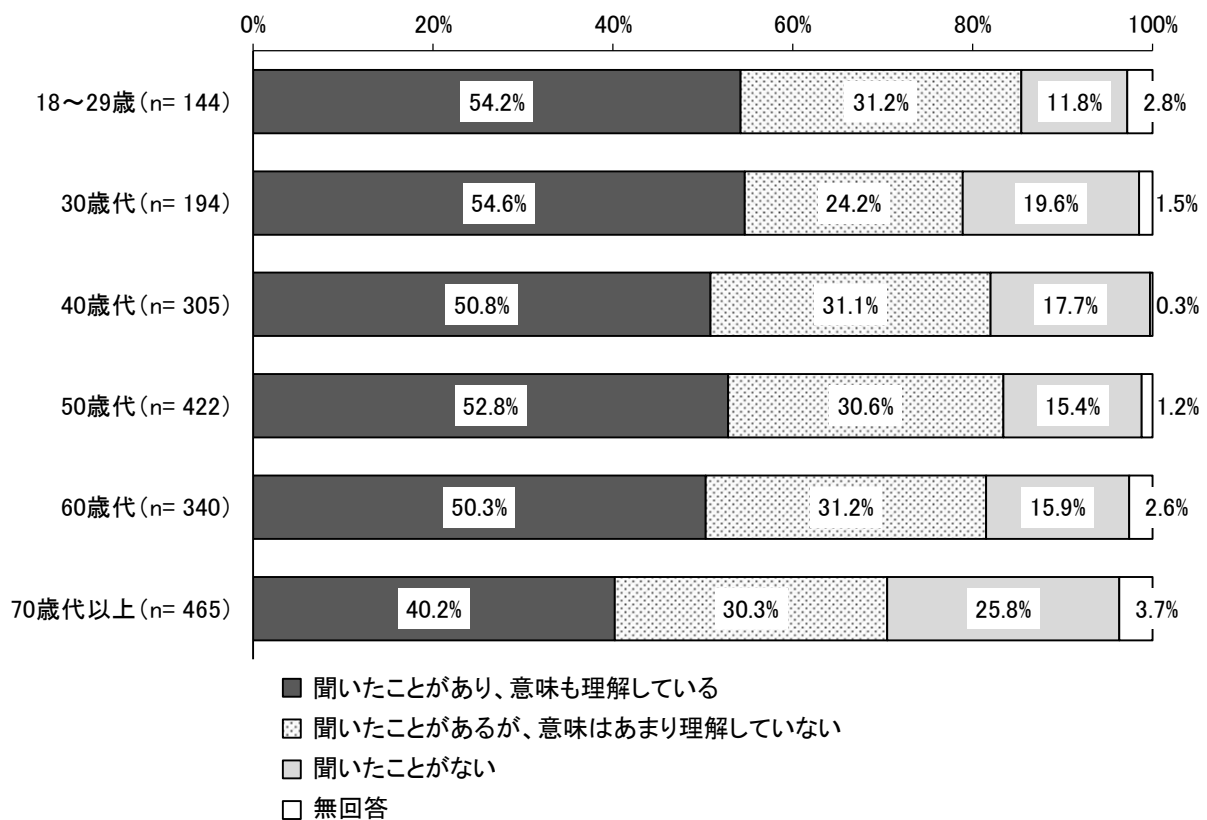
問 16 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

「多文化共生」という言葉について、「聞いたことがあります、意味も理解している」が 49.0%であった。



① 「多文化共生」の認知度【年代別】

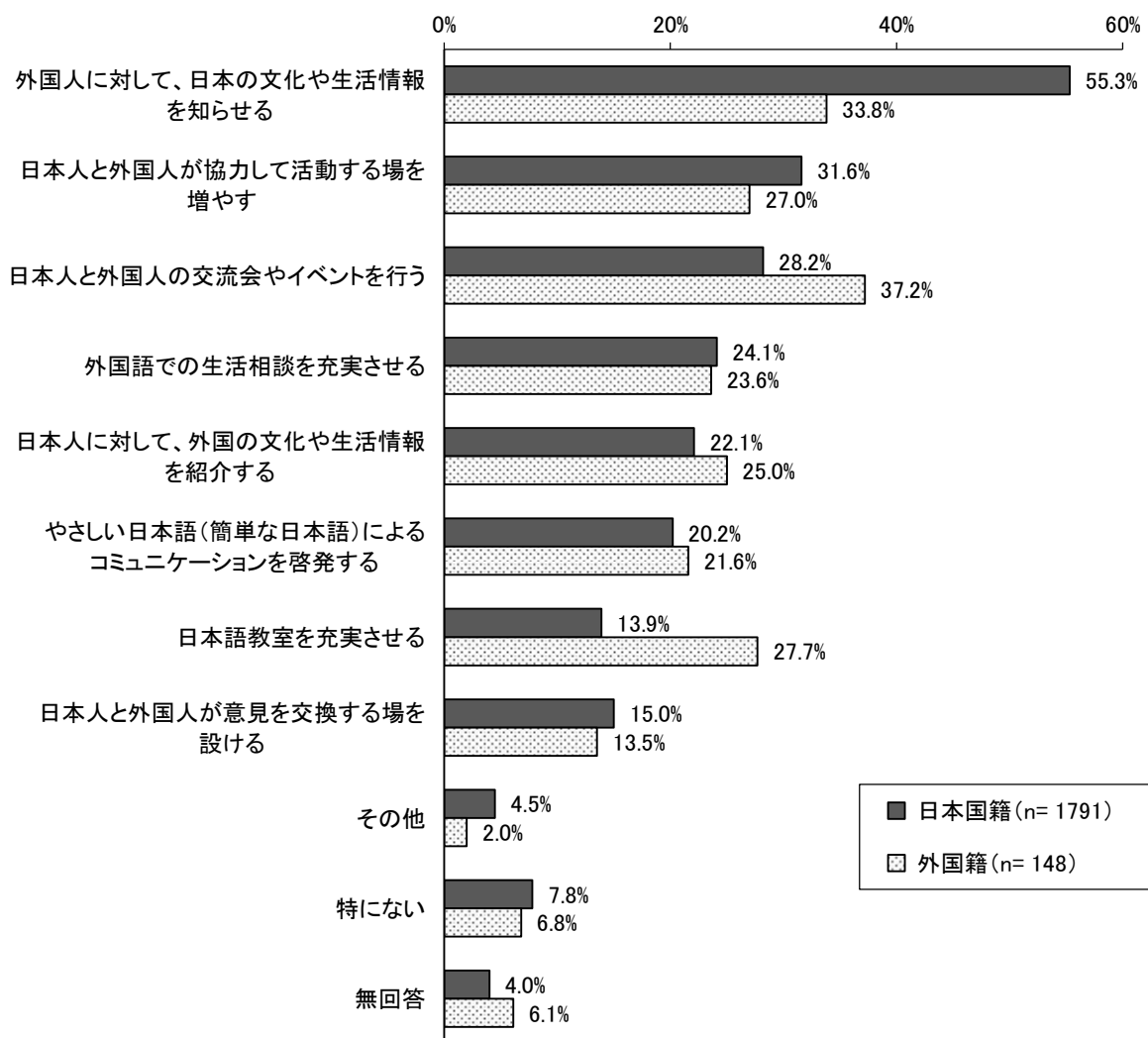
年代別に「多文化共生」の認知度をみると、「聞いたことがあります、意味も理解している」は「30歳代」が 54.6%と最も高くなっている。



(17) 日本人と外国人がともにより良く暮らすために区が力を入れるべきだと思うこと【国籍別】

問 17 日本人と外国人と一緒により良く暮らしていくために、中区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。(〇は3つまで)

日本人・外国人がともにより良く暮らすために区が力を入れるべきことは、日本国籍の方では、「外国人に対して、日本の文化や生活情報を知らせる」が55.3%と最も高く、次いで「日本人と外国人が協力して活動する場を増やす」31.6%、「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」28.2%の順となっている。一方、外国籍の方では、最も高いのは「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」で37.2%、次いで「外国人に対して、日本の文化や生活情報を知らせる」が33.8%、「日本語教室を充実させる」が27.7%となっている。

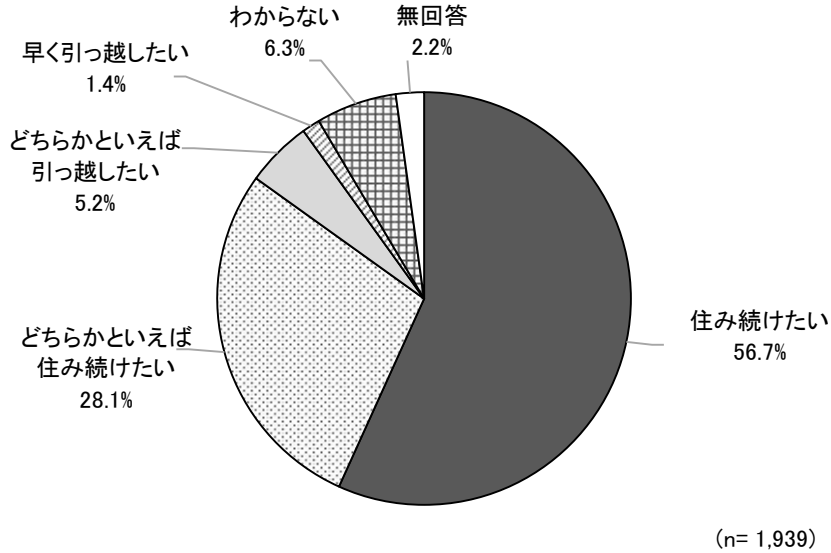


(18) 居留意向

問 18 あなたはこれからも現在お住まいの地区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

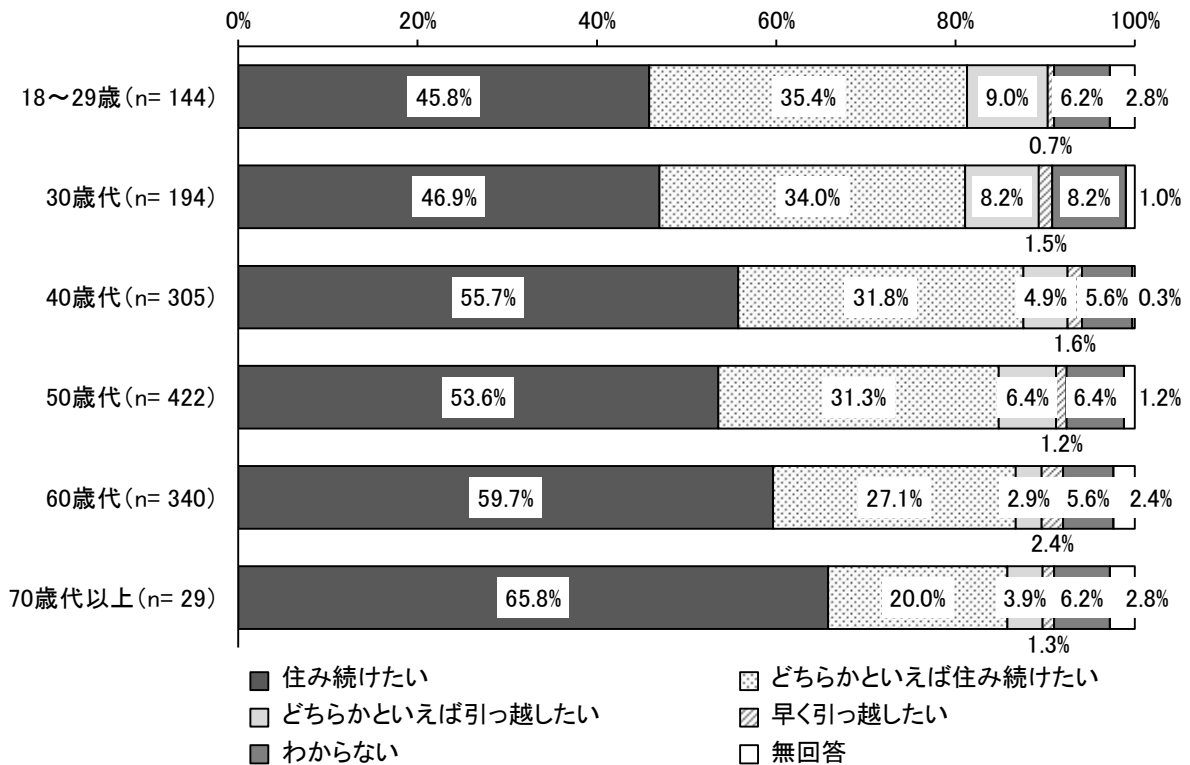
現在の居住地区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」が56.7%であった。「どちらかといえば住み続けたい」は28.1%で、これらを合わせると84.8%の方が現在の地区に住み続けたいという意向をもっている。(令和元年度の前回調査※(82.5%)より上昇)

※前回調査では、「長く住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」などとしています。



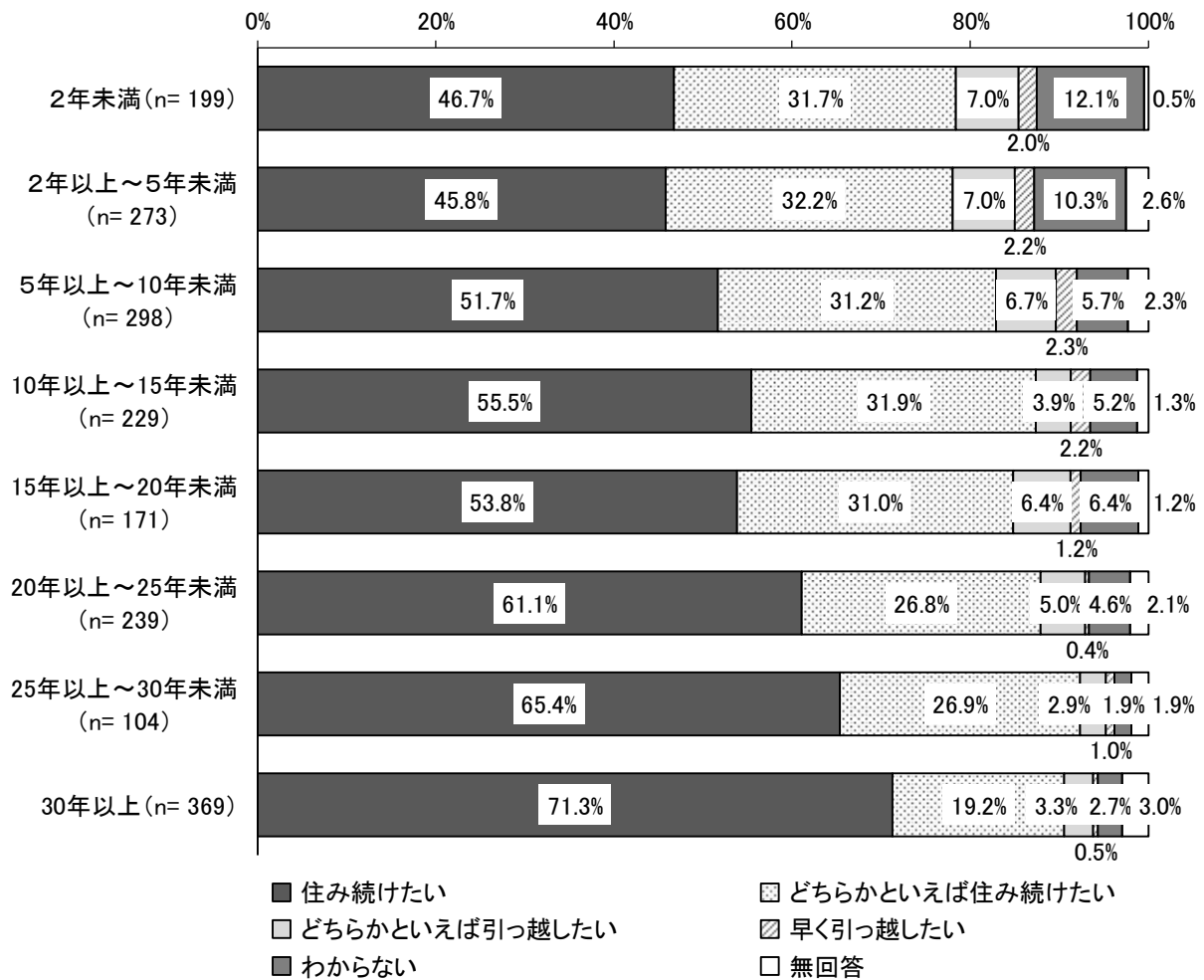
① 居留意向【年代別】

年代別に居留意向をみると、「住み続けたい」は「70歳代以上」が65.8%と最も高く、次いで「60歳代」59.7%、「40歳代」55.7%であった。



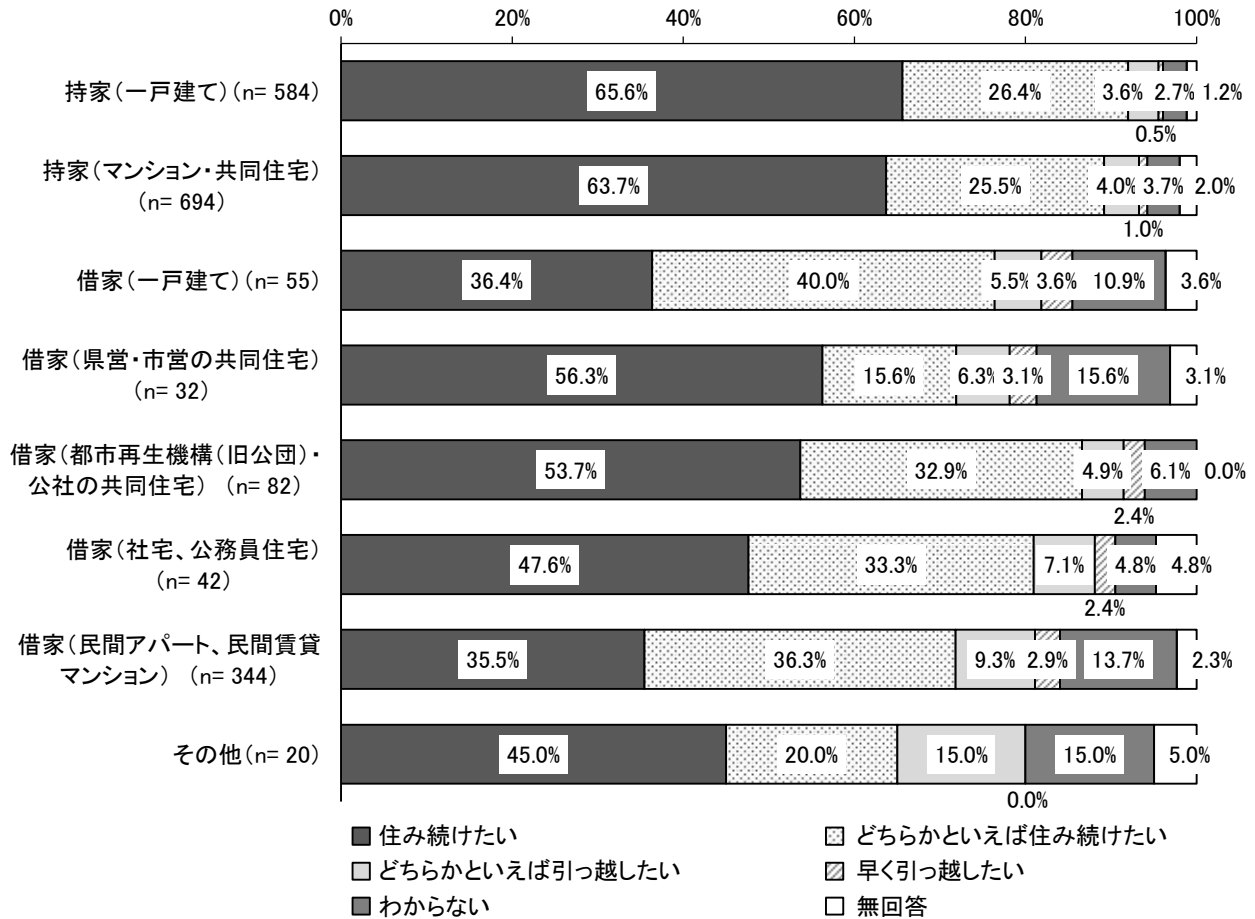
② 居留意向【居住期間別】

居住期間別に居留意向をみると、「住み続けたい」は「30年以上」が71.3%と最も高く、次いで「25年以上～30年未満」65.4%、「20年以上～25年未満」61.1%と続いている。



### ③ 居留意向【居住形態別】

居住形態別に居留意向をみると、「住み続けたい」は「持家（一戸建て）」が65.6%と最も高く、次いで「持家（マンション・共同住宅）」63.7%、「借家（県営・市営の共同住宅）」56.3%と続いている。



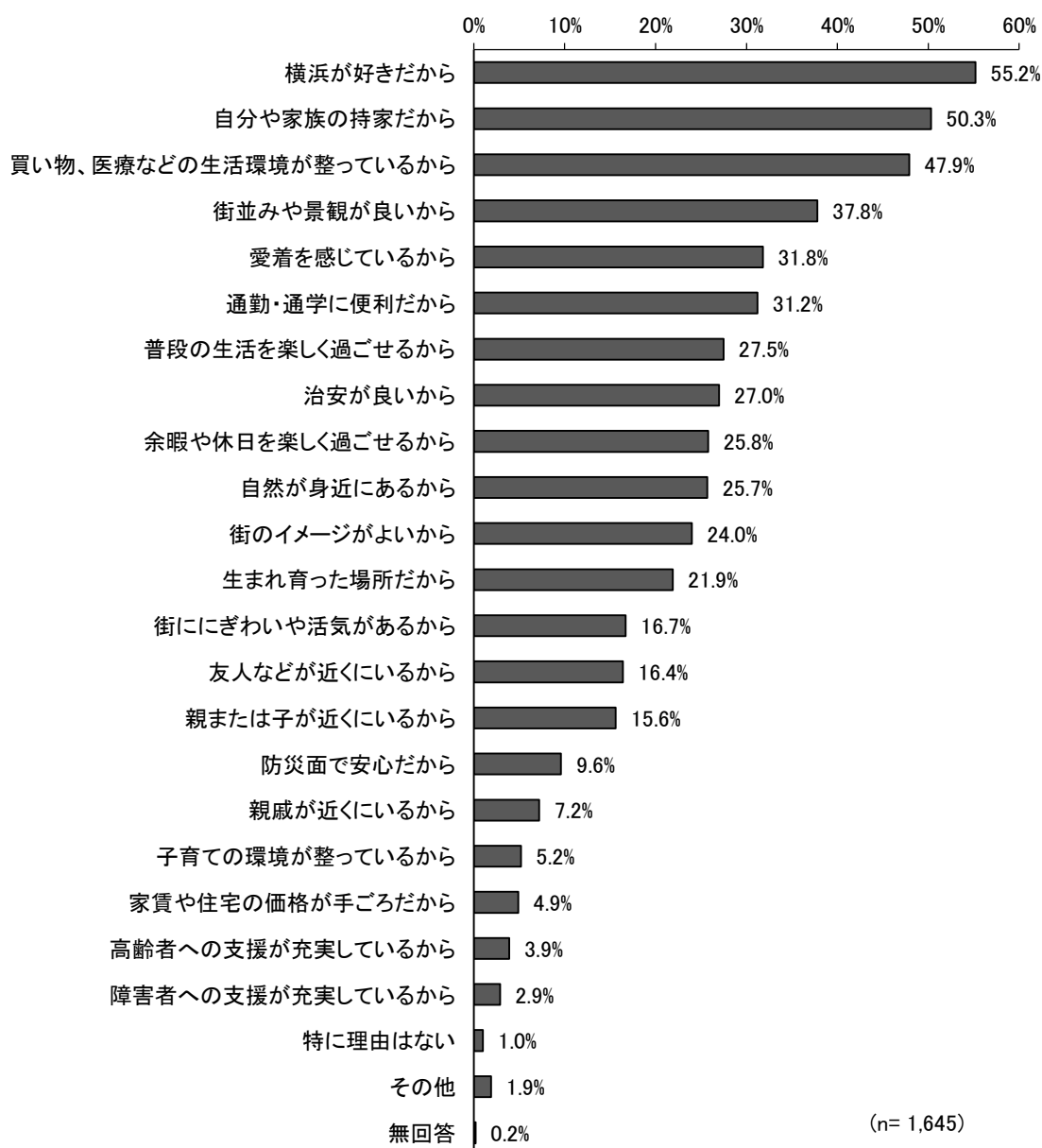
### (19) 住み続けたい理由

【問 18 で 1 「住み続けたい」 または 2 「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方にお聞きします。】

問 19 あなたが現在住んでいる地区に住み続けたいと思うのは、どのような理由からですか。

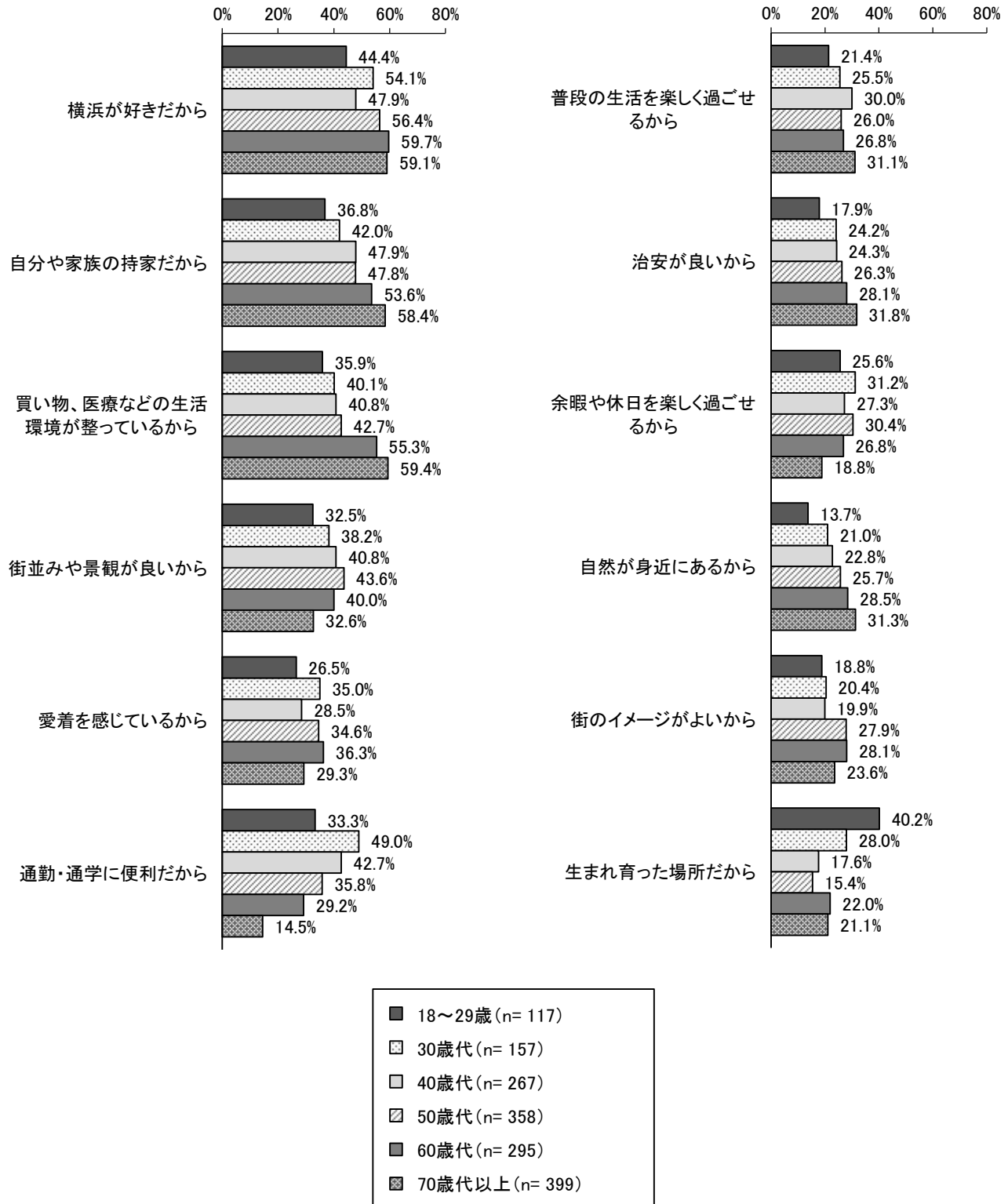
(○はいくつでも)

現在の居住地区に住み続けたい理由については、「横浜が好きだから」が 55.2%と最も高く、次いで「自分や家族の持家だから」「買い物、医療などの生活環境が整っているから」の順となっている。

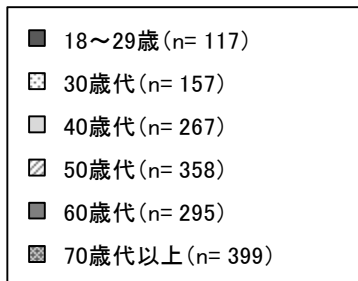
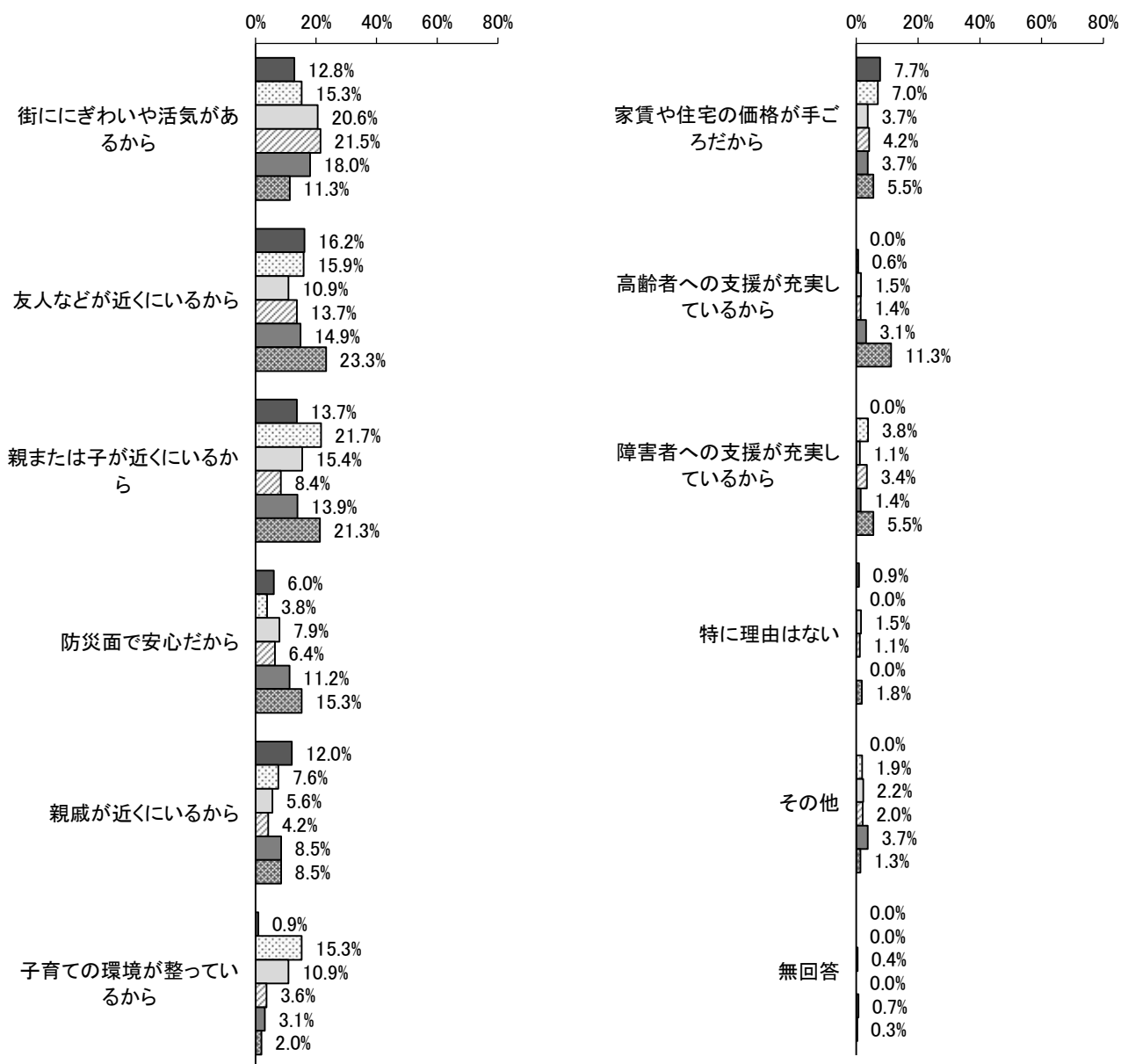


① 住み続けたい理由【年代別】

年代別に住み続けたい理由の各項目をみると、60歳代までは「横浜が好きだから」が最も高く、「70歳代以上」では「買い物、医療などの生活環境が整っているから」が最も高くなっている。また、「40歳代」では「自分や家族の持家だから」も同じ割合で最も高い。2番目に高い理由をみると、「18～29歳」は「生まれ育った場所だから」、「30歳代」は「通勤・通学に便利だから」、「50歳代」は「自分や家族の持家だから」、「60歳代」は「買い物、医療などの生活環境が整っているから」、「70歳代以上」は「横浜が好きだから」であった。

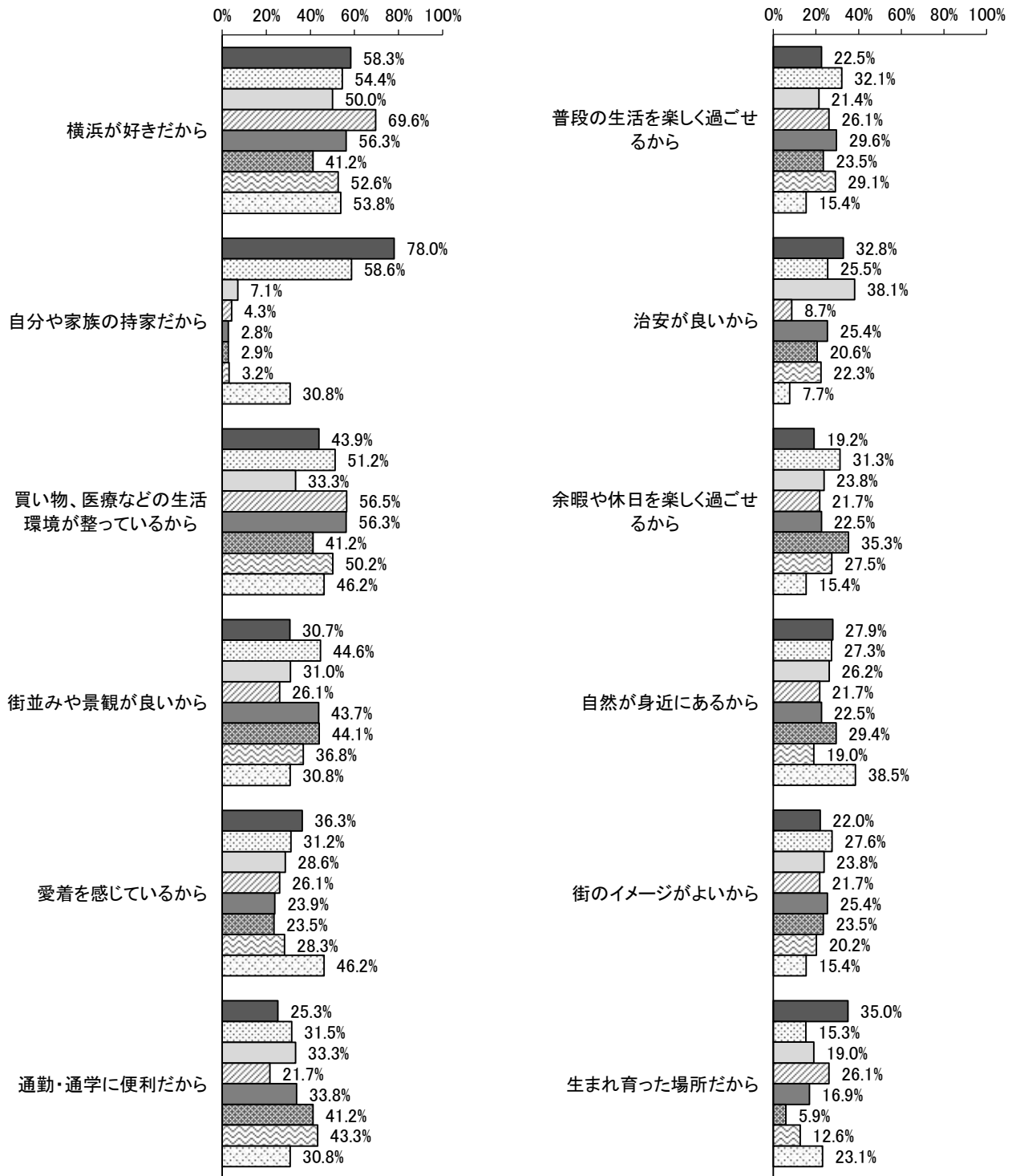




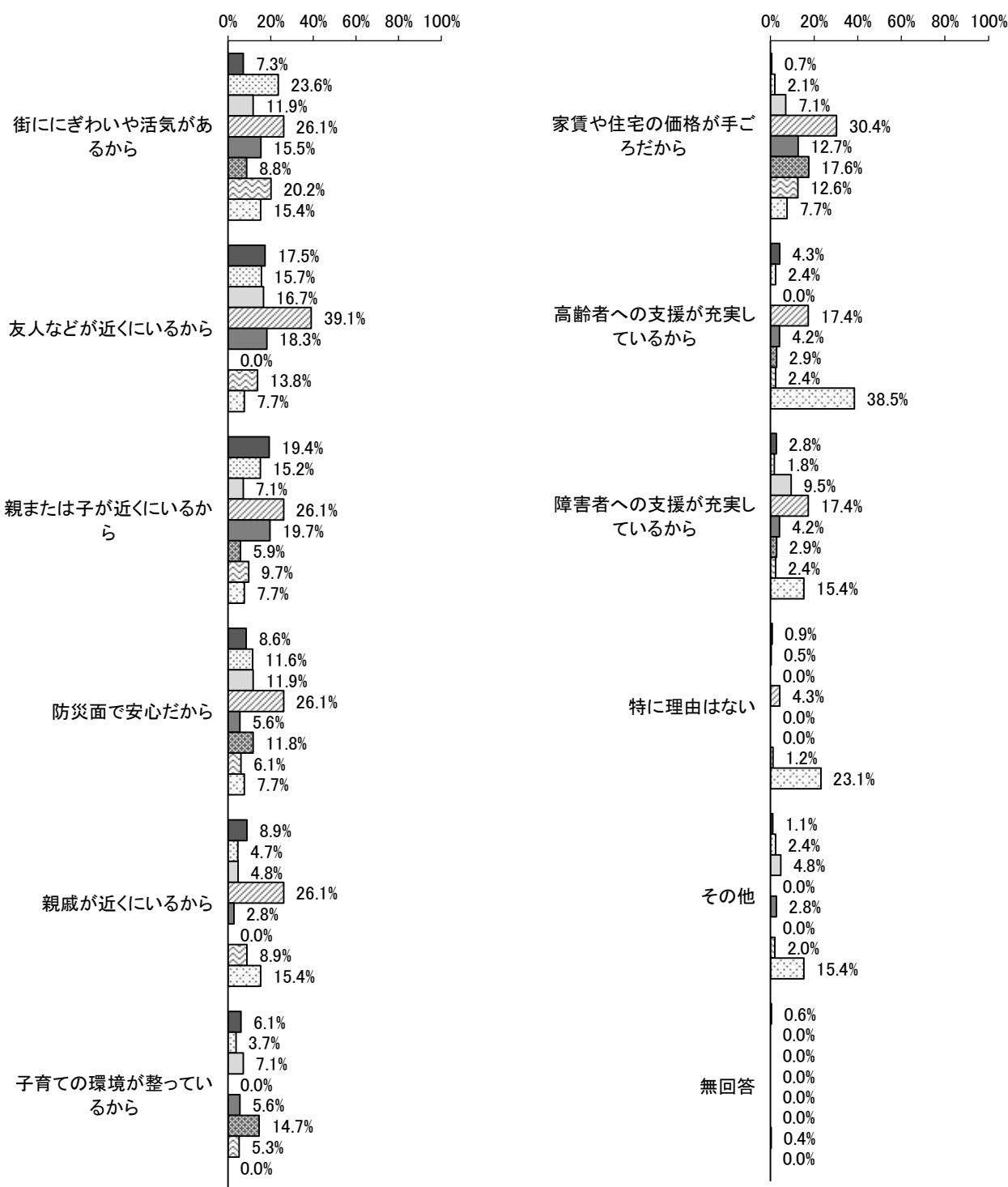


② 住み続けたい理由【居住形態別】

居住形態別に住み続けたい理由の各項目をみると、「持家（一戸建て）」の「自分や家族の持家だから」が78.0%と最も高くなっている。次いで「借家（県営・市営の共同住宅）」の「横浜が好きだから」が69.6%、「持家（マンション・共同住宅）」の「自分や家族の持家だから」が58.6%となっている。



■ 持家（一戸建て）(n=537)      □ 借家（一戸建て）(n=42)  
 □ 借家（県営・市営の共同住宅）(n=23)      ■ 借家（都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅）(n=71)  
 ■ 借家（社宅、公務員住宅）(n=34)      □ 借家（民間アパート、民間賃貸マンション）(n=247)  
 □ その他(n=13)

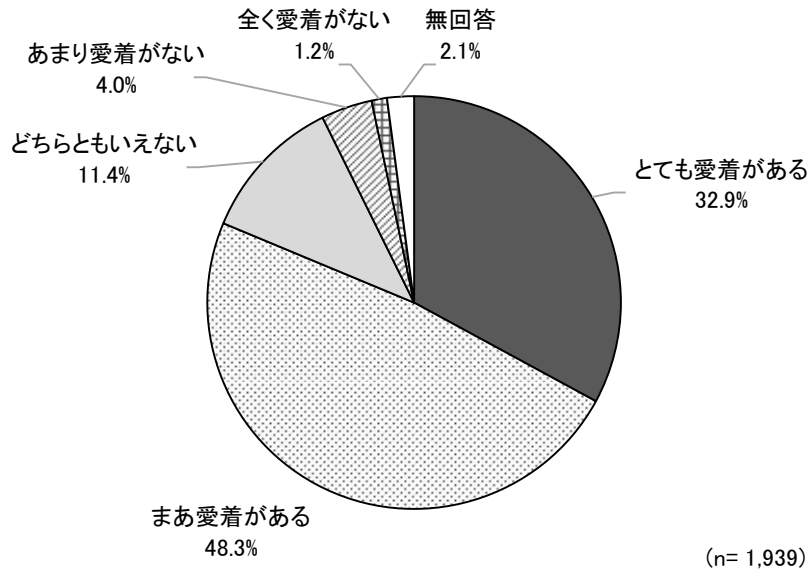


- 持家(一戸建て) (n= 537)
- 借家(一戸建て) (n= 42)
- 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅) (n= 71)
- ▣ 借家(民間アパート、民間賃貸マンション) (n= 247)
- ▣ 持家(マンション・共同住宅) (n= 619)
- ▣ 借家(県営・市営の共同住宅) (n= 23)
- ▣ 借家(社宅、公務員住宅) (n= 34)
- ▣ その他 (n= 13)

(20) 居住地区への愛着度

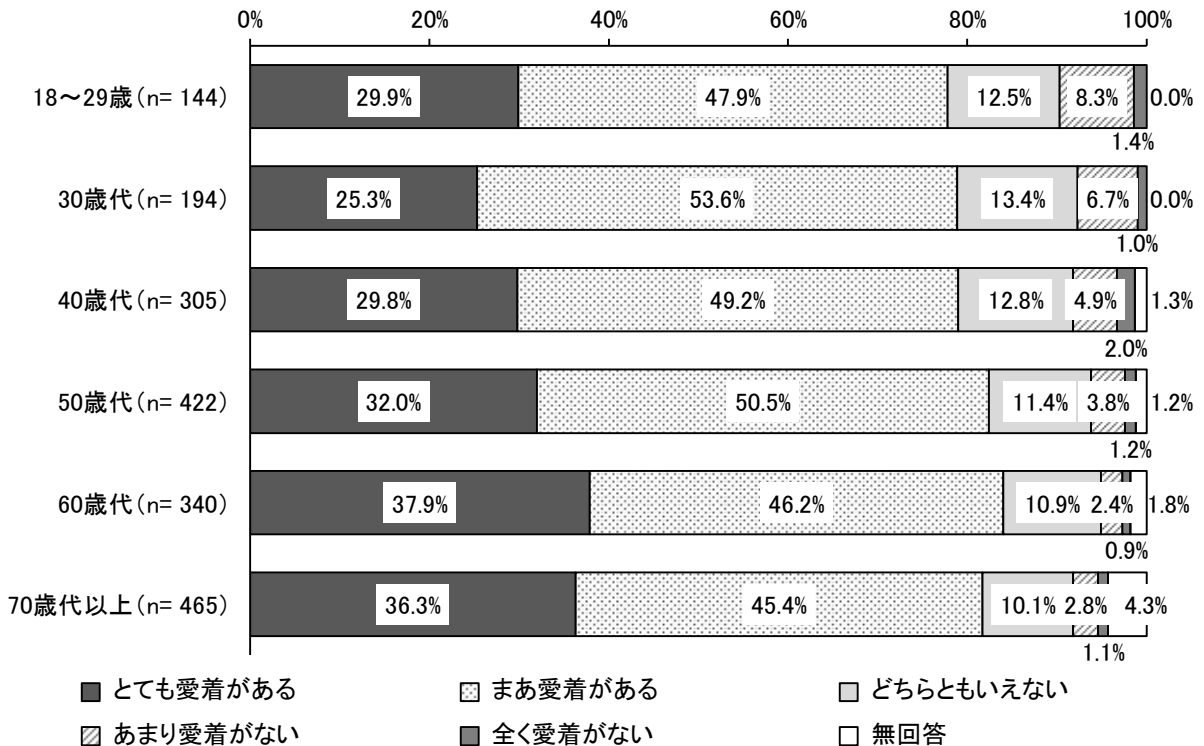
問 20 あなたは現在お住まいの地区にどの程度愛着がありますか。(○は1つ)

居住地区への愛着度については、「とても愛着がある」が 32.9%、「まあ愛着がある」が 48.3%で、これらを合わせると 81.2%の方が居住区に対して愛着をもっている。



① 居住地区への愛着度【年代別】

年代別に居住地区への愛着度をみると、「とても愛着がある」は「60歳代」が 37.9%で最も高く、「まあ愛着がある」を合わせると、すべての年代で8割前後の方が居住地区に対して愛着をもっている。



② 居住地区への愛着度【地区別】

居住地区への愛着度を地区別にみると、G地区で「とても愛着がある」が44.9%、J地区で「まあ愛着がある」が55.2%と高くなっている。

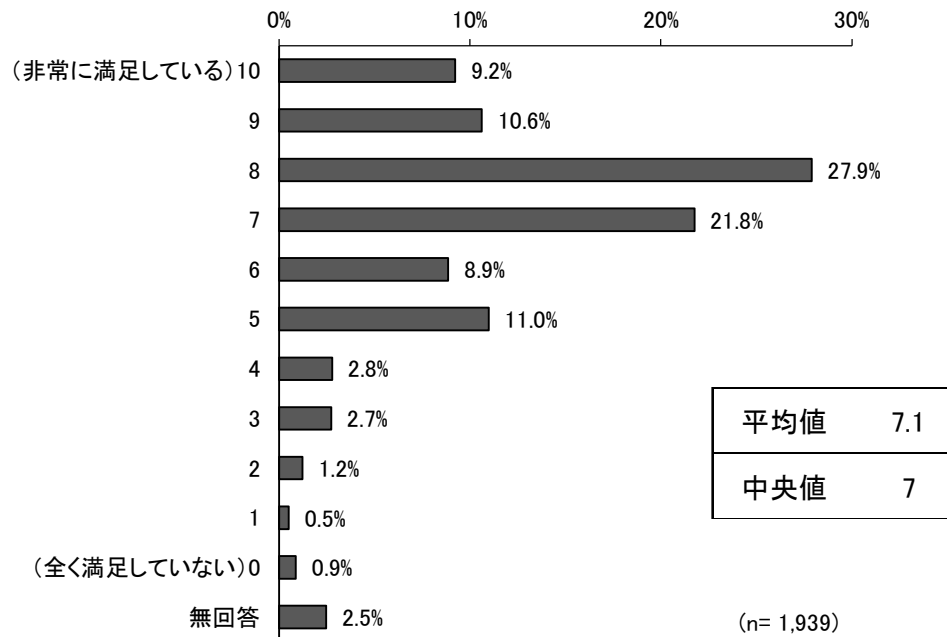
		(%)					
	n=	が あ る と も 愛 着	あ ま あ 愛 着 が	い ど ち ら も い え な い	が あ ま り 愛 着 が な い	全 く 愛 着 が な い	無 回 答
全体	1,939	32.9	48.3	11.4	4.0	1.2	2.1
A地区 (第1北部地区)	99	35.4	42.4	16.2	2.0	2.0	2.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	24.5	45.3	19.4	7.9	1.4	1.4
C地区 (関内地区)	85	38.8	48.2	4.7	3.5	2.4	2.4
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	23.1	46.3	16.5	8.3	4.1	1.7
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	9.1	29.1	36.4	14.5	5.5	5.5
F地区 (石川打越地区)	59	30.5	45.8	22.0	0.0	0.0	1.7
G地区 (第2地区)	214	44.9	41.1	7.9	2.3	0.9	2.8
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	35.3	52.8	7.8	3.3	0.0	0.7
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	34.4	49.0	11.3	3.3	0.7	1.3
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	36.5	55.2	6.2	0.0	0.0	2.1
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	31.7	52.0	7.7	4.8	1.5	2.2
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	32.1	52.8	10.4	2.1	0.5	2.1
M地区 (新本牧地区)	108	33.3	52.8	7.4	5.6	0.9	0.0

<注釈>・網掛け箇所は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。

## (21) 現在の生活にどの程度満足しているか

問 21 あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。(○は1つ)

現在の生活に対する満足度評価は、「8点」が27.9%と最も高く、次いで「7点」が21.8%となっており、69.5%の方が7点以上の高い評価となっている。



① 現在の生活の満足度評価【地区別】

地区別に現在の生活に対する満足度評価をみると、10地区で「8点」が最も高くなっており、特に「M地区」が40.7%と高い。また、「J地区」と「C地区」では「10（非常に満足している）」が上位3項目以内に入っている。

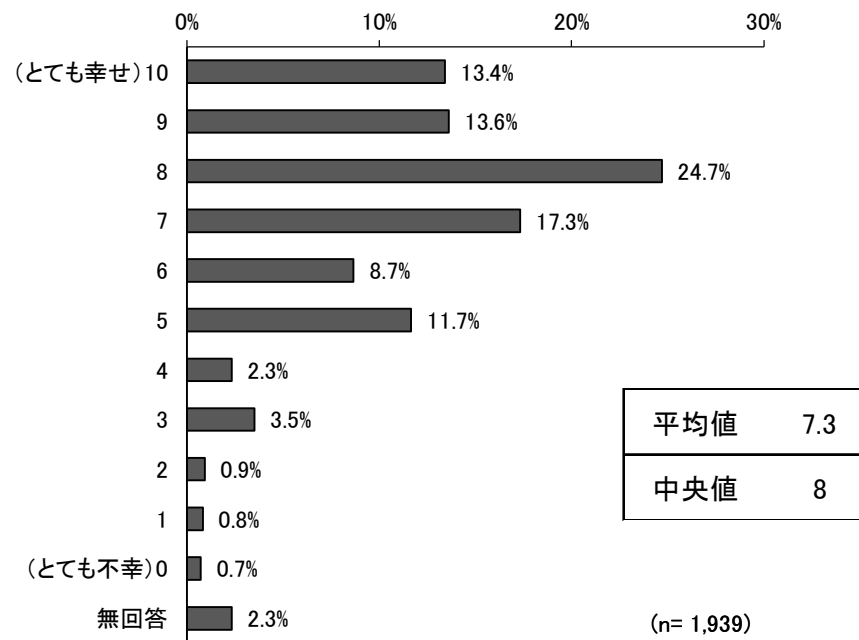
	n=	(%)											無回答	平均点	中央値
		0 (全く満足して いない)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (非常に満足 している)			
全体	1,939	0.9	0.5	1.2	2.7	2.8	11.0	8.9	21.8	27.9	10.6	9.2	2.5	7.1	7
A地区 (第1北部地区)	99	0.0	2.0	2.0	3.0	1.0	11.1	2.0	18.2	31.3	19.2	7.1	3.0	7.3	8
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	0.0	0.0	1.4	4.3	4.3	18.7	15.1	22.3	20.1	5.8	6.5	1.4	6.6	7
C地区 (関内地区)	85	1.2	0.0	1.2	2.4	1.2	3.5	7.1	21.2	30.6	11.8	16.5	3.5	7.6	8
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	0.8	0.0	0.0	5.0	5.8	6.6	9.9	25.6	28.1	7.4	8.3	2.5	7.0	7
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	9.1	1.8	10.9	12.7	0.0	21.8	3.6	16.4	10.9	1.8	3.6	7.3	4.8	5
F地区 (石川打越地区)	59	0.0	0.0	0.0	1.7	3.4	15.3	10.2	22.0	35.6	5.1	6.8	0.0	7.1	7
G地区 (第2地区)	214	0.9	0.0	0.0	1.4	2.3	9.3	8.9	19.6	29.9	14.5	10.3	2.8	7.4	8
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	0.4	0.0	0.4	2.6	2.2	9.7	5.9	25.3	27.5	13.4	11.5	1.1	7.4	8
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	0.7	0.0	2.0	2.0	4.0	9.3	11.9	27.8	24.5	8.6	7.9	1.3	7.0	7
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	1.0	1.0	1.0	3.1	3.1	7.3	12.5	13.5	30.2	11.5	14.6	1.0	7.3	8
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	0.7	0.0	1.1	2.2	3.7	12.2	7.7	22.1	29.2	7.0	11.1	3.0	7.1	7
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	1.6	1.6	1.0	2.6	1.6	10.4	10.9	20.7	28.5	13.5	5.7	2.1	7.0	7
M地区 (新本牧地区)	108	0.0	0.9	1.9	0.9	0.9	6.5	9.3	21.3	40.7	12.0	5.6	0.0	7.4	8

<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

(22) どのくらい幸せだと感じているか

問 22 今のあなたはどのくらい幸せだと感じていますか。「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点とすると、何点くらいになると思いますか。(○は 1 つ)

どのくらい幸せだと感じているか尋ねたところ、満足度評価同様、「8 点」が 24.7%と最も高く、次いで「7 点」が 17.3%となっており、69.0%の方が 7 点以上の高い評価となっている。





① どのくらい幸せだと感じているか【地区別】

どのくらい幸せだと感じているかを地区別にみると、10地区で「8点」が最も高くなっており、特に「M地区」が38.0%と高い。また、「C地区」と「H地区」では「10（非常に満足している）」が上位2位となっている。

	n=	(%)											無回答	平均点	中央値
		(とても不幸)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
全体	1,939	0.7	0.8	0.9	3.5	2.3	11.7	8.7	17.3	<b>24.7</b>	13.6	13.4	2.3	7.3	8
A地区 (第1北部地区)	99	0.0	1.0	1.0	6.1	3.0	10.1	7.1	12.1	<b>30.3</b>	16.2	10.1	3.0	7.2	8
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	0.0	0.7	2.9	5.8	2.2	15.1	16.5	<b>22.3</b>	9.4	10.1	13.7	1.4	6.8	7
C地区 (関内地区)	85	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	8.2	5.9	16.5	<b>28.2</b>	16.5	17.6	2.4	7.8	8
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	0.0	1.7	0.8	2.5	1.7	11.6	13.2	15.7	<b>24.8</b>	13.2	11.6	3.3	7.2	8
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	3.6	9.1	1.8	<b>16.4</b>	0.0	<b>29.1</b>	10.9	7.3	9.1	1.8	5.5	5.5	4.9	5
F地区 (石川打越地区)	59	0.0	0.0	1.7	3.4	0.0	16.9	8.5	<b>22.0</b>	<b>20.3</b>	10.2	16.9	0.0	7.3	7
G地区 (第2地区)	214	0.5	0.5	0.0	1.4	2.8	10.3	6.1	19.2	<b>24.8</b>	17.8	14.5	2.3	7.6	8
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	0.4	0.0	1.1	3.3	1.9	10.4	7.8	17.1	<b>27.1</b>	11.9	<b>18.2</b>	0.7	7.5	8
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	0.7	1.3	0.7	4.0	2.0	8.6	8.6	19.2	<b>27.2</b>	12.6	13.9	1.3	7.3	8
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	0.0	1.0	2.1	5.2	0.0	12.5	6.2	16.7	<b>28.1</b>	13.5	13.5	1.0	7.3	8
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	1.5	0.4	0.4	2.6	2.2	12.5	8.9	17.7	<b>23.2</b>	12.9	14.8	3.0	7.3	8
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	1.0	0.5	1.0	2.1	2.1	8.3	7.3	18.7	<b>28.0</b>	18.1	10.9	2.1	7.4	8
M地区 (新本牧地区)	108	0.9	0.0	0.9	1.9	2.8	10.2	10.2	12.0	<b>38.0</b>	15.7	7.4	0.0	7.3	8

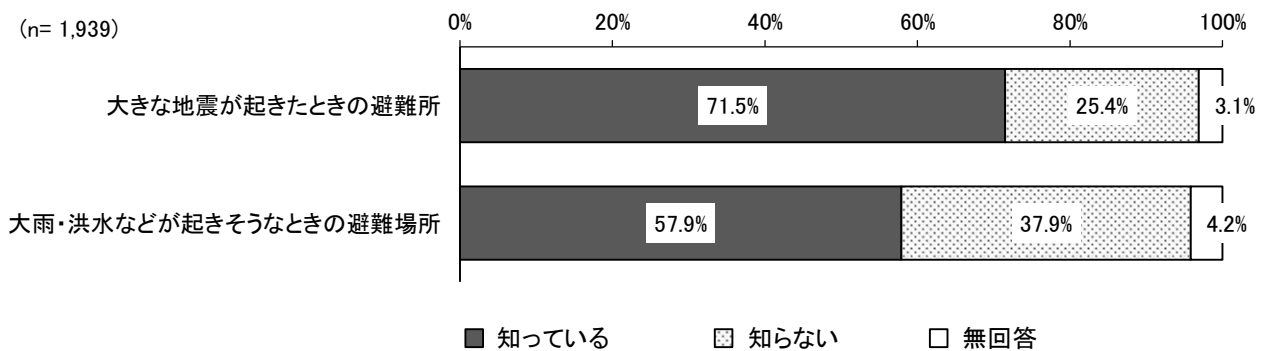
<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

## 2. 防災について

### (1) 災害時に避難する場所の認知度

問 23 大きな災害が起きたとき、あなたのお住まいの地域の避難する場所を知っていますか。  
(それぞれ○は1つずつ)

災害時に避難する場所の認知度については、大きな地震が起きたときの避難所を「知っている」人は71.5%、大雨・洪水などが起きそうなときの避難場所を「知っている」人は57.9%であり、認知度に差がある。



① 災害時に避難する場所の認知度【地区別】

地区別に災害時に避難する場所の認知度をみると、「知っている」割合が最も高い地区は、大きな地震が起きたときの避難所では「I地区」が85.4%、大雨・洪水などが起きそうなどの避難場所では「L地区」が71.0%となっている。

(%)

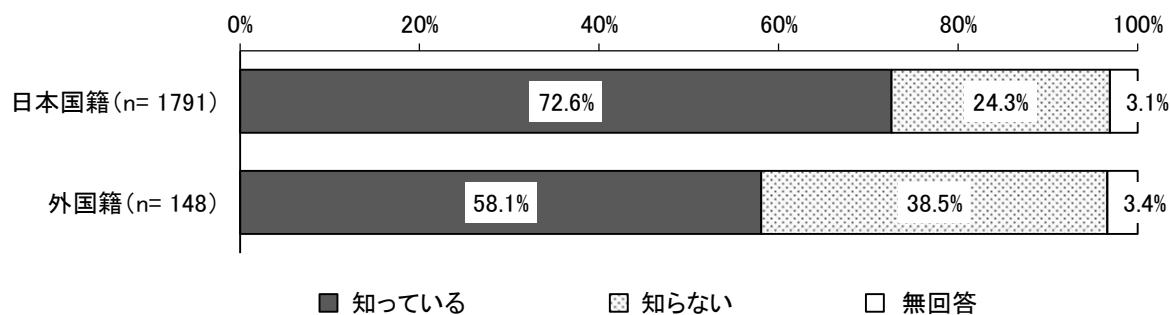
	n=	大きな地震が起きたときの避難所			大雨・洪水などが起きそうなどの避難場所		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
全体	1,939	71.5	25.4	3.1	57.9	37.9	4.2
A地区 (第1北部地区)	99	68.7	29.3	2.0	57.6	37.4	5.1
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	52.5	46.0	1.4	44.6	52.5	2.9
C地区 (関内地区)	85	52.9	45.9	1.2	43.5	52.9	3.5
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	63.6	34.7	1.7	51.2	47.1	1.7
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	40.0	54.5	5.5	23.6	65.5	10.9
F地区 (石川打越地区)	59	69.5	30.5	0.0	59.3	40.7	0.0
G地区 (第2地区)	214	70.1	27.6	2.3	57.0	40.7	2.3
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	83.3	15.6	1.1	65.8	33.1	1.1
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	85.4	12.6	2.0	68.9	27.8	3.3
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	67.7	31.2	1.0	53.1	43.8	3.1
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	76.4	20.7	3.0	62.7	33.9	3.3
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	83.9	14.5	1.6	71.0	25.9	3.1
M地区 (新本牧地区)	108	77.8	22.2	0.0	64.8	34.3	0.9

<注釈>・項目別に上位3地区を、色の濃淡で示しています。

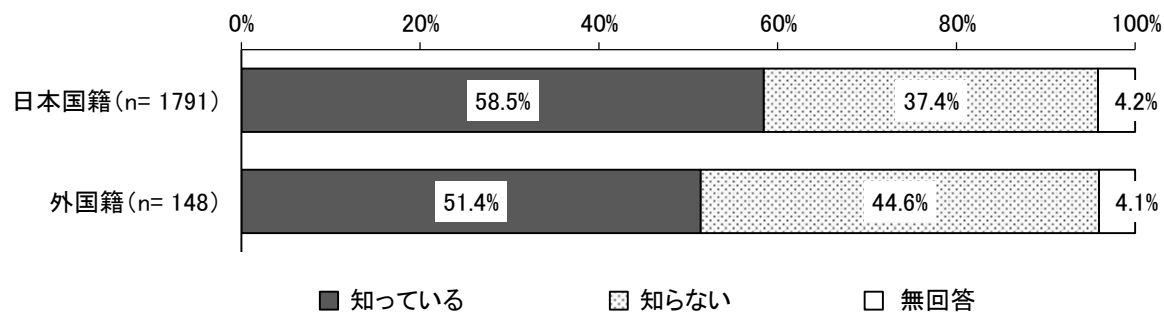
② 災害時に避難する場所の認知度【国籍別】

国籍別に災害時に避難する場所の認知度をみると、「知っている」割合は、大きな地震が起きたときの避難場所では、「日本国籍」72.6%で、「外国籍」58.1%より14.5ポイント高くなっている。大雨・洪水などが起きそうなときの避難場所では、「日本国籍」58.5%、「外国籍」51.4%で7.1ポイントの差となっている。

◆大きな地震が起きたときの避難所



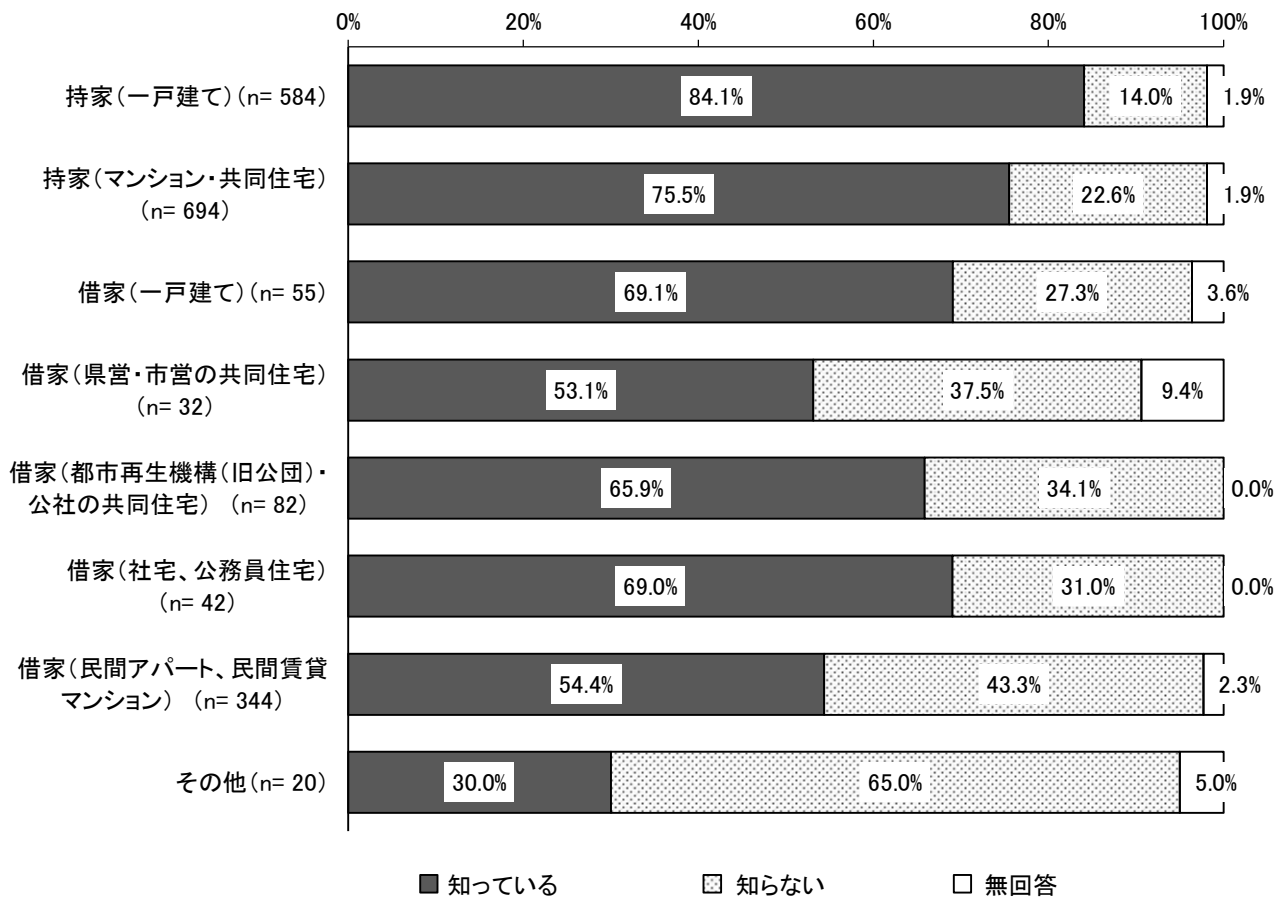
◆大雨・洪水などが起きそうなときの避難場所



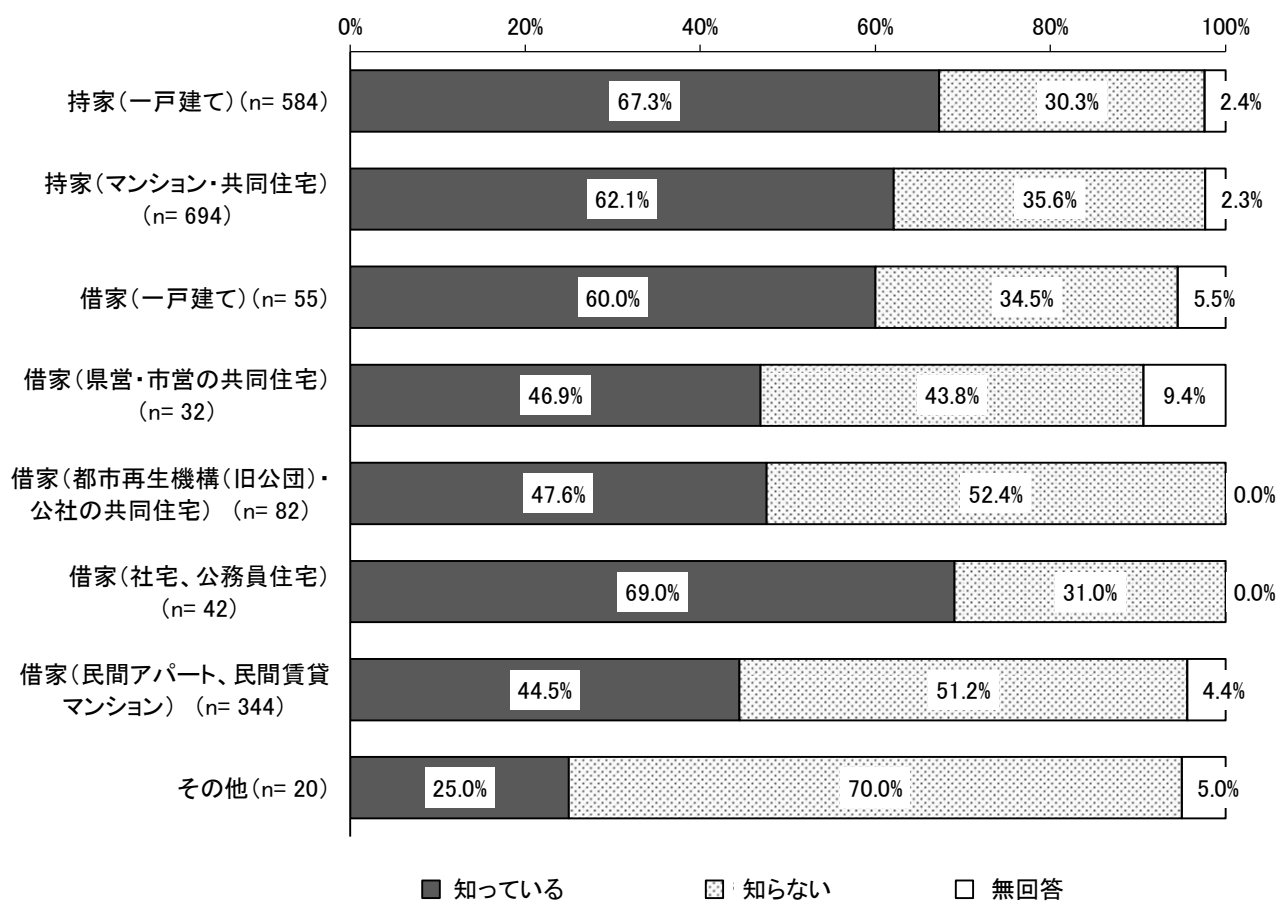
### ③ 災害時に避難する場所の認知度【居住形態別】

居住形態別に災害時に避難する場所の認知度をみると、大きな地震が起きたときの避難場所では、「持家（一戸建て）」が84.1%と最も高く、次いで「持家（マンション・共同住宅）」75.5%、「借家（一戸建て）」69.1%と続いている。大雨・洪水などが起きそうなときの避難場所では、「借家（社宅、公務員住宅）」が69.0%と最も高く、「持家（一戸建て）」67.3%、「持家（マンション・共同住宅）」62.1%となっている。

#### ◆大きな地震が起きたときの避難所



◆大雨・洪水などが起きそうなときの避難場所

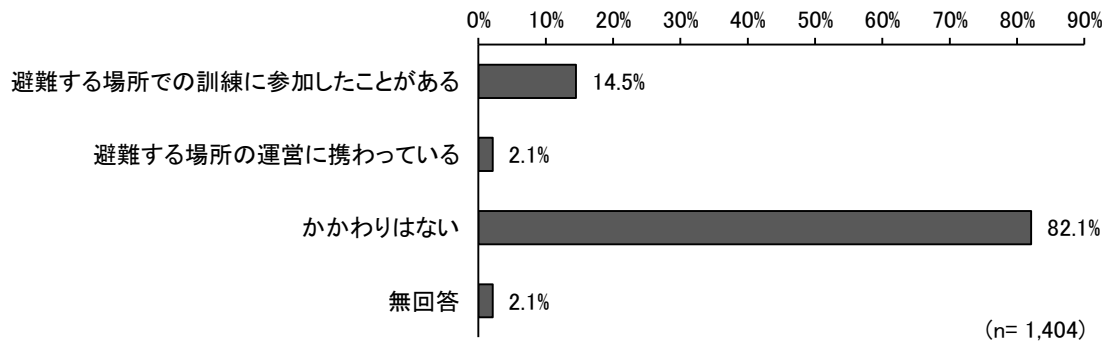


## (2) 避難する場所とのかかわりについて

【問 23 でどちらかでも 1 「知っている」と答えた方にお聞きします。】

問 24 避難する場所とのかかわりについてあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

避難する場所とのかかわりについては、82.1%の方が「かかわりはない」と回答しており、「避難する場所での訓練に参加したことがある」は14.5%であった。

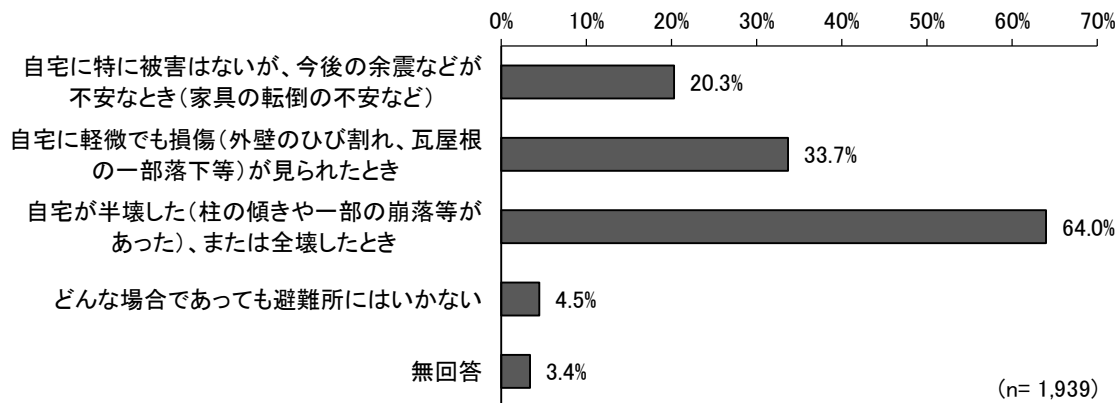


### (3) 大きな地震が起きたとき、どのような場合に避難所へ避難するか

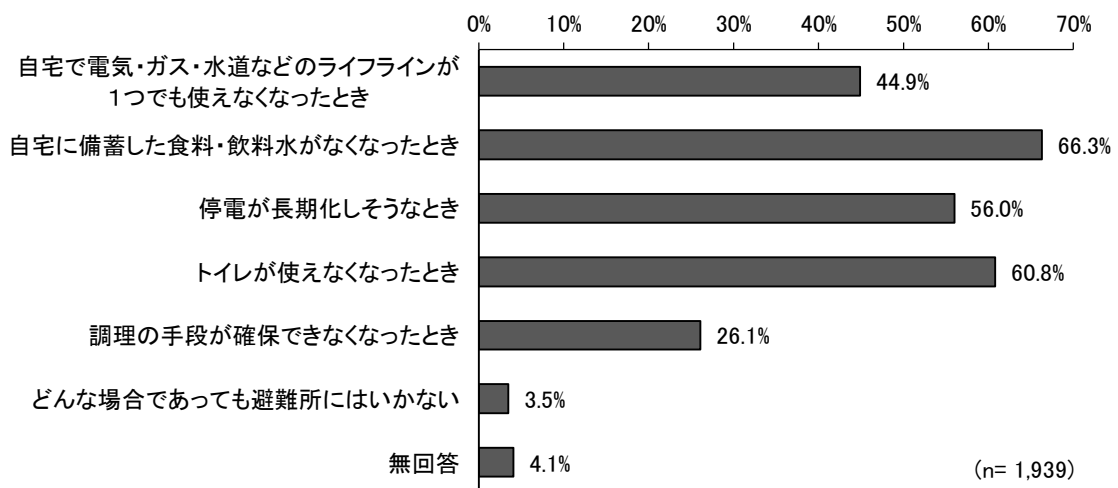
問 25 大きな地震が起きたとき、あなたはどのような場合に避難所へ避難しますか。

どのような場合に避難所へ避難するか尋ねたところ、自宅建物の状態から考えたときは「自宅が半壊した（柱の傾きや一部の崩落等があった）、または全壊したとき」が 64.0%と最も高く、その他の状態から考えたときは「自宅に備蓄した食料・飲料水がなくなったとき」66.3%、「トイレが使えなくなったとき」60.8%、「停電が長期化しそうなとき」56.0%、が半数以上と高くなっている。

#### ① 自宅建物の状態から考えたとき（〇はいくつでも）



#### ② その他の状態から考えたとき（〇はいくつでも）

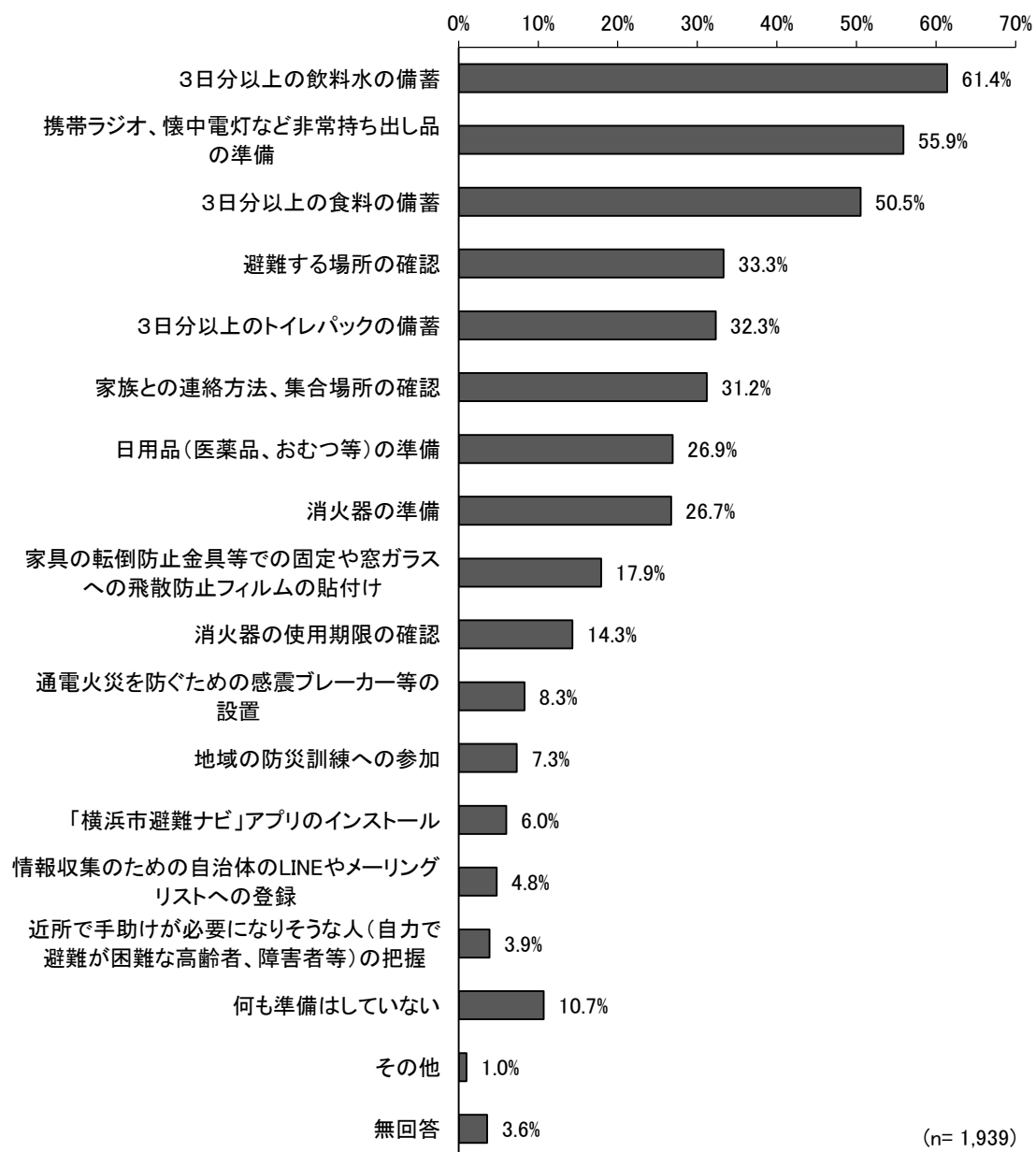




#### (4) 災害の被害を最小限に抑えるためにしていること

問 26 災害による被害を最小限に抑えるために、あなたはどのようなことをしていますか。あてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

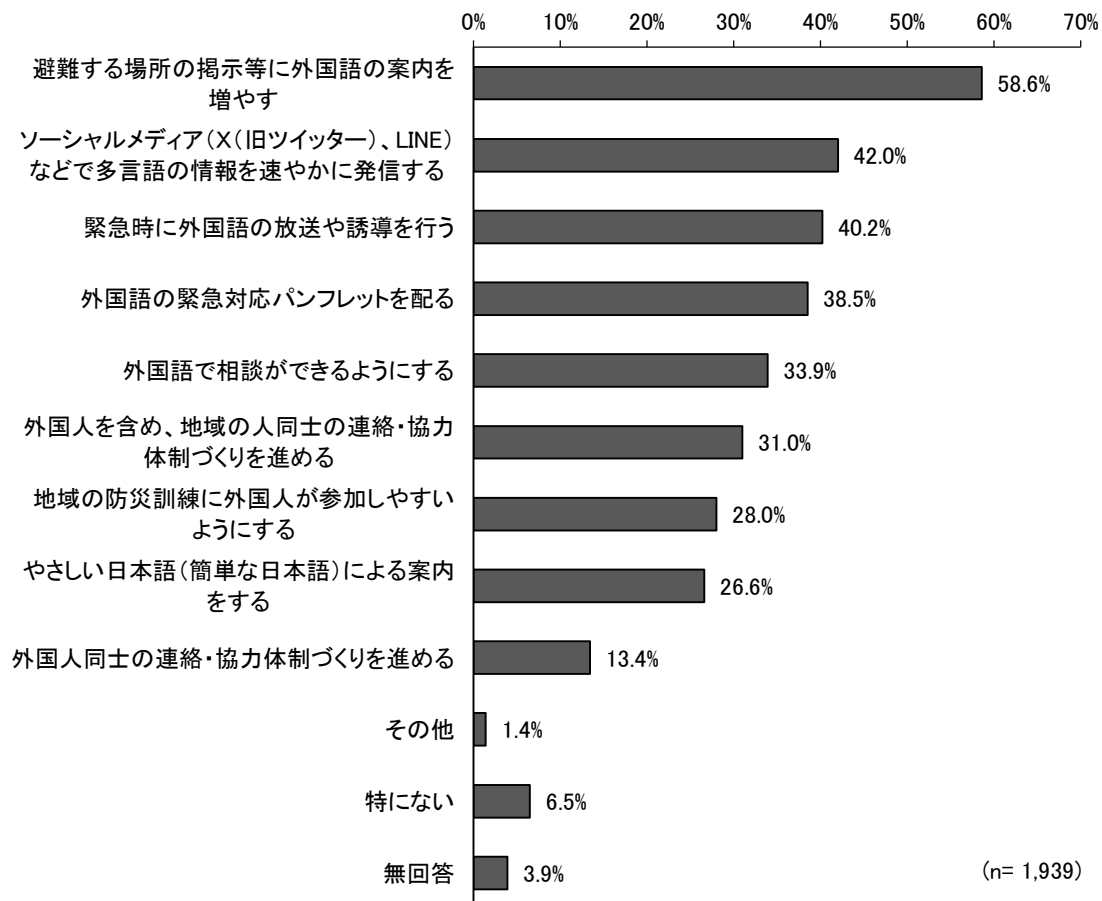
災害の被害を最小限に抑えるためにしていることは、「3日分以上の飲料水の備蓄」が61.4%と最も高く、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」55.9%、「3日分以上の食料の備蓄」50.5%の順となっている。一方で、10.7%の方が「何も準備はしていない」と回答している。



### (5) 災害時に区役所に求める対策

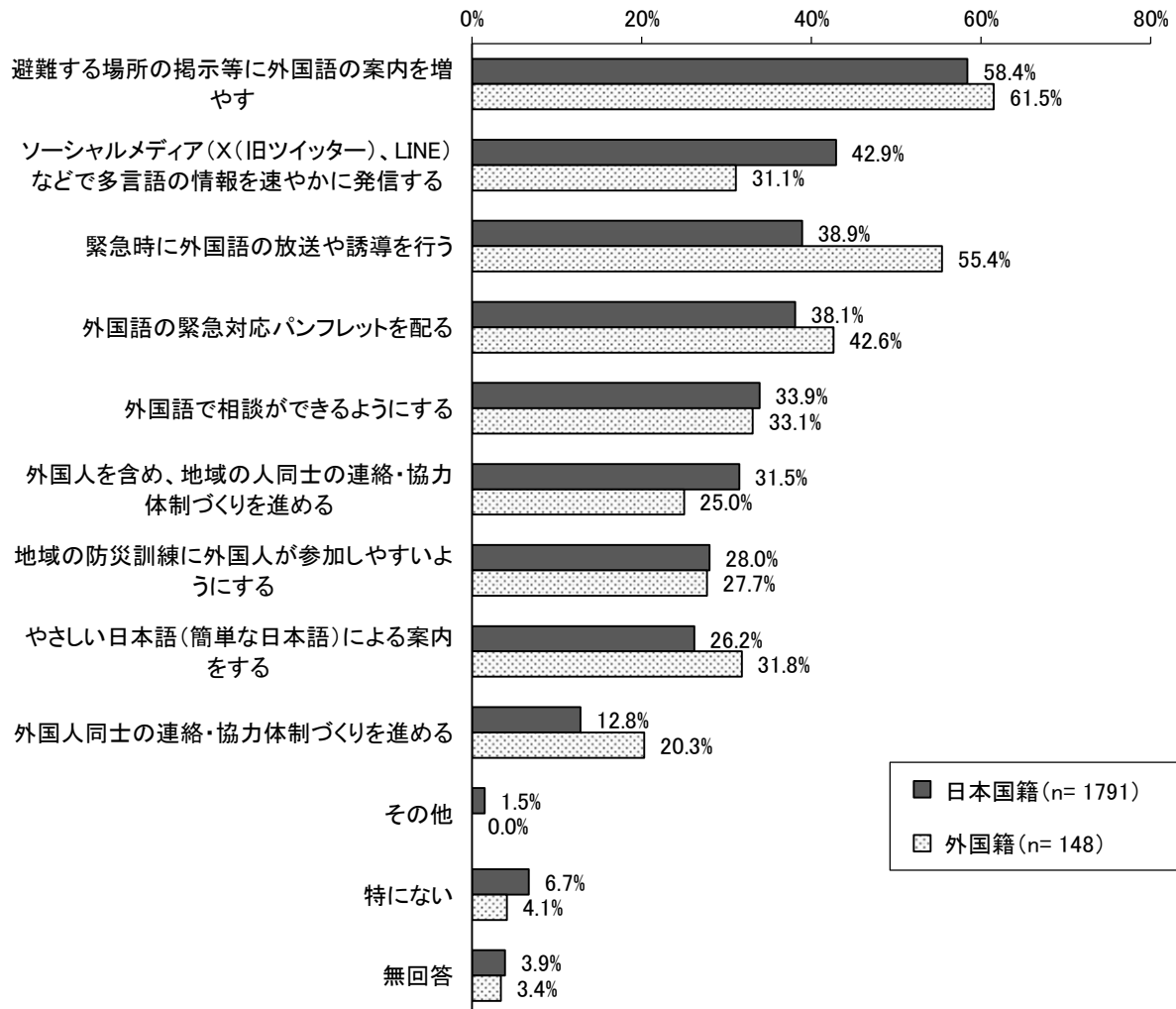
問 27 地震などの災害が起こった時には、日本人・外国人を含む全ての地域住民が協力して対応することが求められます。区役所にどのような対策を望みますか。(〇はいくつでも)

災害時に区役所に求める対策としては、「避難する場所の掲示等に外国語の案内を増やす」が58.6%と最も高く、次いで「ソーシャルメディア(X(旧ツイッター)、LINE)などで多言語の情報を速やかに発信する」42.0%、「緊急時に外国語の放送や誘導を行う」40.2%の順となっている。



① 災害時に区役所に求める対策【国籍別】

国籍別に災害時に区役所に求める対策をみると、9項目中5項目で外国籍の割合が高くなっており、特に「緊急時に外国語の放送や誘導を行う」が日本国籍より16.5ポイント高い。また、日本国籍の方が高い項目の中では「ソーシャルメディア（X（旧ツイッター）、LINE）などで多言語の情報を速やかに発信する」が11.8ポイントの差となっている。

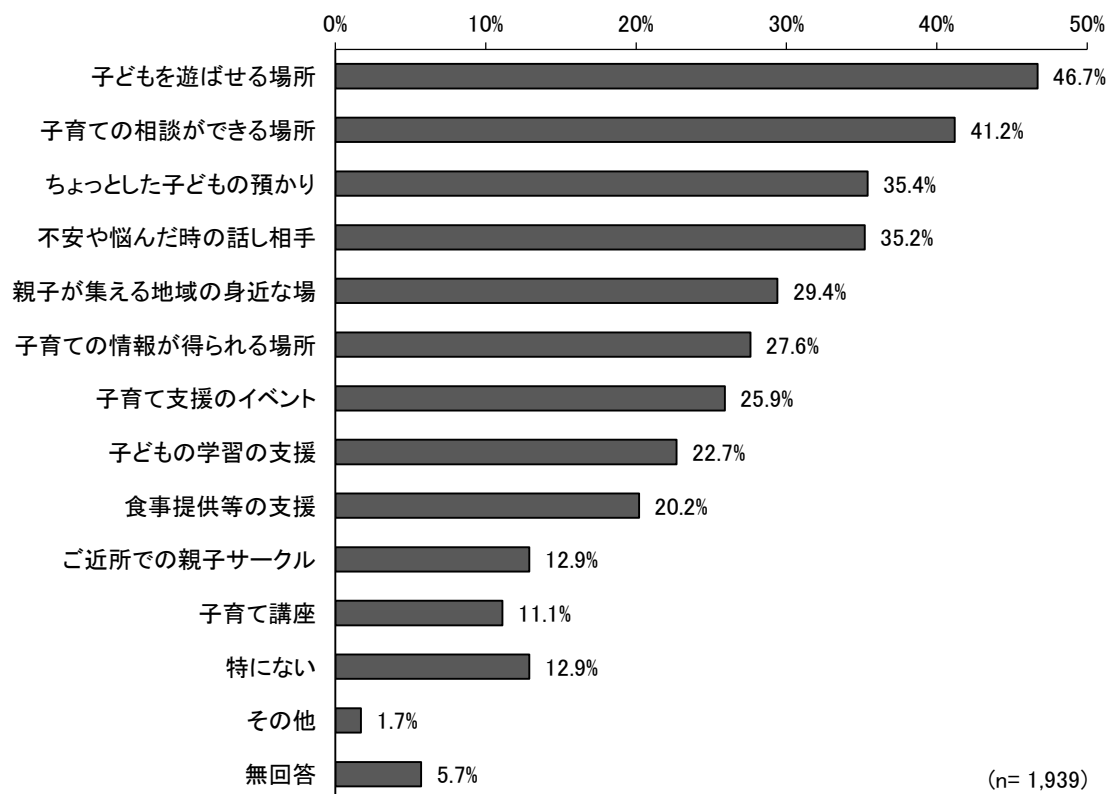


### 3. 福祉・子育てについて

#### (1) 子育て中の親子にあると良いと思う支援

問 28 あなたは子育て中の親子（未就学児や小学生）に対して、地域でどのような支援があると良いと思いますか。（〇はいくつでも）

子育て中の親子にあると良いと思う支援については、「子どもを遊ばせる場所」が46.7%と最も高く、次いで「子育ての相談ができる場所」41.2%、「ちょっとした子どもの預かり」35.4%、「不安や悩んだ時の話し相手」35.2%の順となっている。



① 子育て中の親子にあると良いと思う支援【地区別】

地区別に子育て中の親子にあると良いと思う支援についてみると、10地区で「子どもを遊ばせる場所」が最も高くなっており、「C地区」57.6%、「M地区」57.4%、「I地区」55.6%の順となっている。

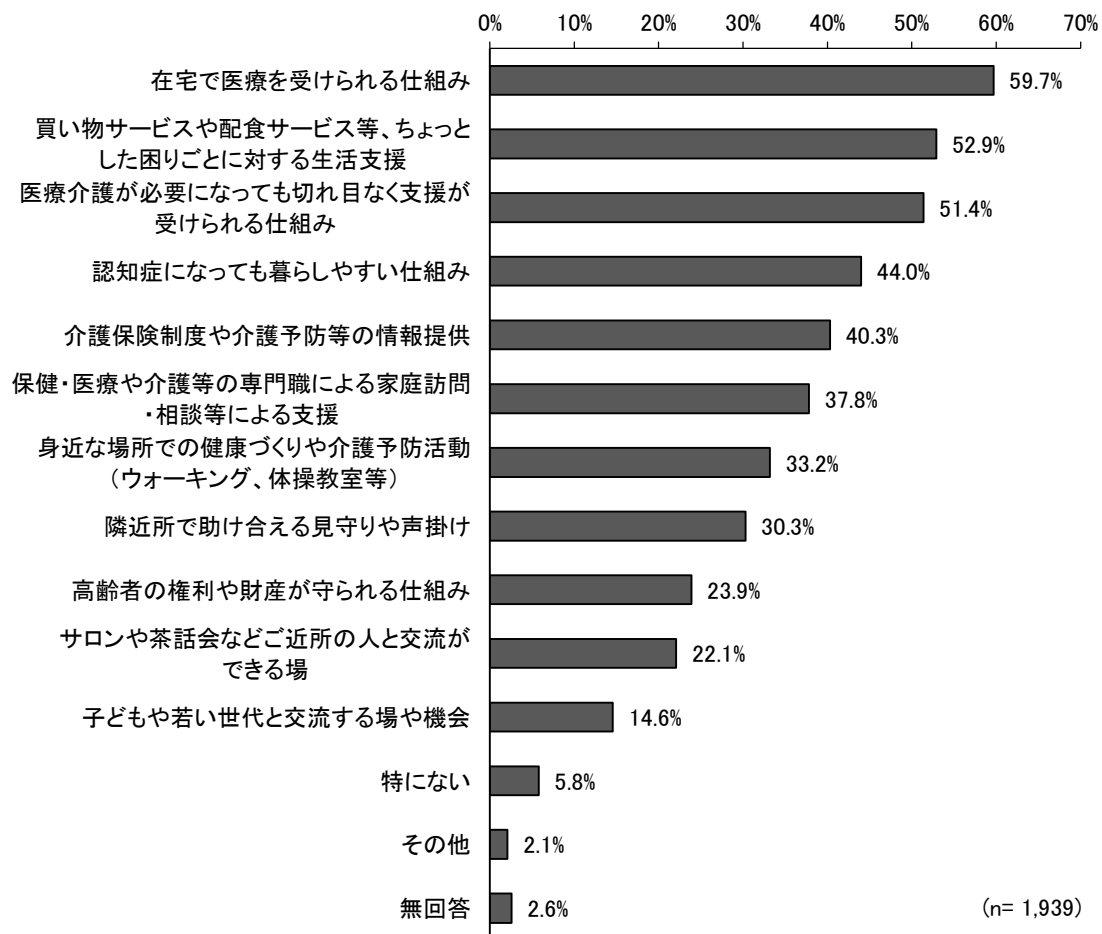
	n=	子どもを遊ばせる場所	子育ての相談ができる場所	ちよつとした子どもの預かり	不安や悩んだ時の話し相手	親子が集える地域の身近な場所	子育ての情報が得られる場所	子育て支援のイベント	子どもの学習の支援	食事提供等の支援	ご近所での親子サークル	子育て講座	特になし	その他	無回答
全体	1,939	46.7	41.2	35.4	35.2	29.4	27.6	25.9	22.7	20.2	12.9	11.1	12.9	1.7	5.7
A地区 (第1北部地区)	99	45.5	39.4	26.3	37.4	25.3	33.3	25.3	23.2	18.2	12.1	8.1	9.1	2.0	3.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	46.0	39.6	28.8	33.1	26.6	23.7	22.3	25.2	19.4	10.1	9.4	18.0	2.2	4.3
C地区 (関内地区)	85	57.6	36.5	35.3	28.2	31.8	23.5	27.1	21.2	23.5	16.5	9.4	11.8	5.9	4.7
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	43.8	43.0	38.8	31.4	23.1	22.3	24.8	21.5	17.4	7.4	10.7	18.2	1.7	2.5
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	32.7	34.5	20.0	21.8	9.1	16.4	25.5	21.8	29.1	7.3	9.1	27.3	1.8	10.9
F地区 (石川打越地区)	59	54.2	52.5	44.1	47.5	30.5	28.8	27.1	32.2	35.6	11.9	5.1	16.9	5.1	0.0
G地区 (第2地区)	214	43.9	41.1	31.8	30.4	29.4	29.4	21.5	22.9	16.4	11.7	9.3	16.8	1.9	2.3
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	50.2	44.2	39.8	43.1	35.3	35.3	27.5	23.0	21.6	14.9	14.1	8.2	1.1	4.5
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	55.6	37.7	38.4	36.4	30.5	27.8	28.5	24.5	22.5	12.6	11.9	11.9	0.7	4.6
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	42.7	32.3	34.4	32.3	26.0	25.0	28.1	22.9	25.0	12.5	14.6	11.5	1.0	10.4
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	42.1	44.3	40.2	38.7	32.8	27.3	24.0	22.1	19.2	18.1	14.0	13.3	1.5	6.3
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	44.6	45.6	34.7	37.3	31.6	29.5	27.5	20.7	15.5	13.0	9.8	10.4	1.0	4.7
M地区 (新本牧地区)	108	57.4	43.5	44.4	36.1	32.4	25.0	34.3	20.4	19.4	11.1	10.2	6.5	1.9	0.0

<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

## (2) 高齢者に必要な支援・サービス

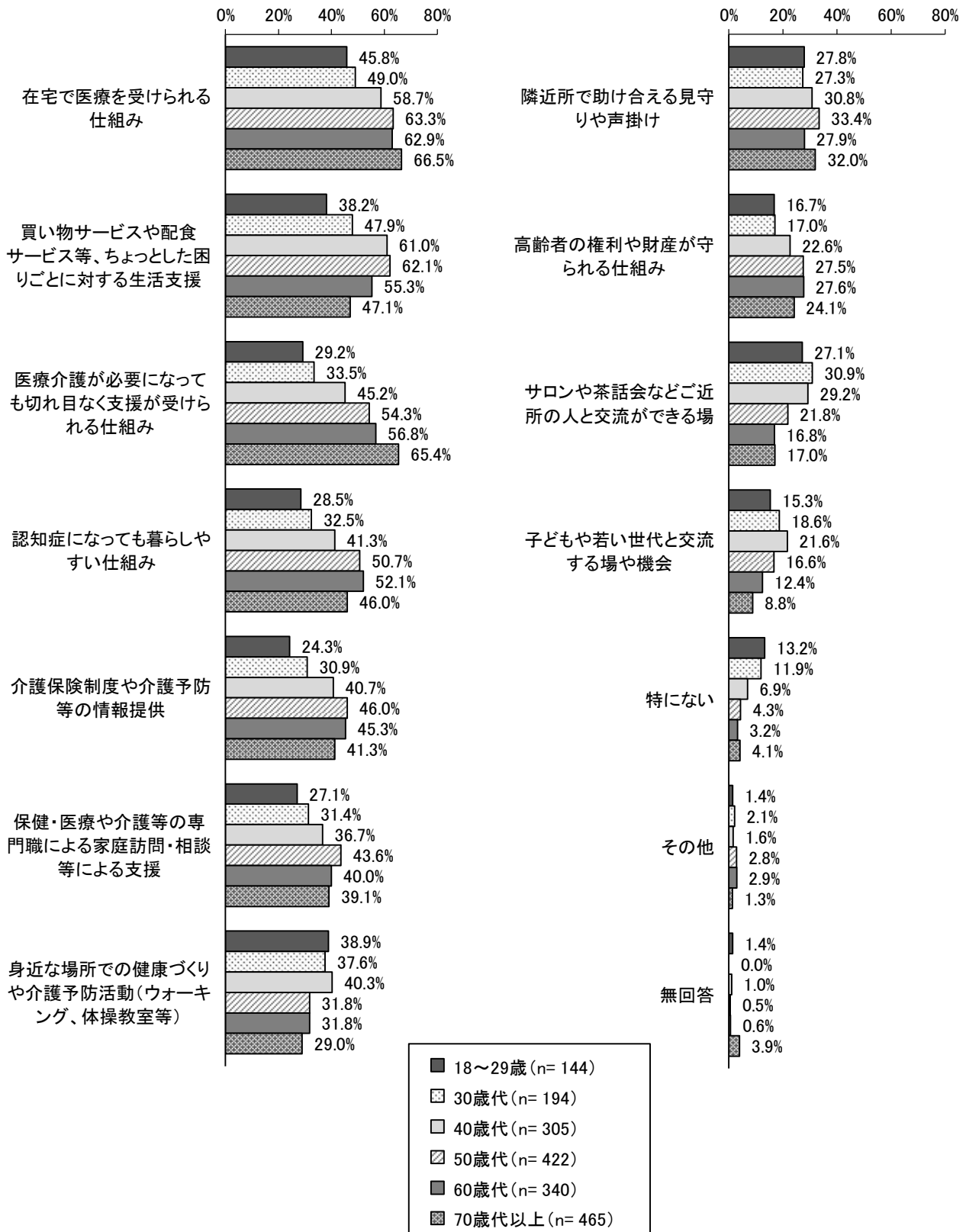
問 29 あなたは高齢者に対して、地域でどのような支援やサービスが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

高齢者に必要な支援・サービスについては、「在宅で医療を受けられる仕組み」が 59.7%と最も高く、次いで「買い物サービスや配食サービス等、ちょっとした困りごとに対する生活支援」52.9%、「医療介護が必要になっても切れ目なく支援が受けられる仕組み」51.4%の順となっている。



① 高齢者に必要な支援・サービス【年代別】

高齢者に必要な支援・サービスを年代別にみると、「在宅で医療を受けられる仕組み」と「医療介護が必要になっても切れ目なく支援が受けられる仕組み」では70歳以上の割合が最も高くなっており、「医療介護が必要になっても切れ目なく支援が受けられる仕組み」は年代が高くなるほど割合も高くなっている。「買い物サービスや配食サービス等、ちょっとした困りごとに対する生活支援」は40～50歳代の割合が高くなっている。

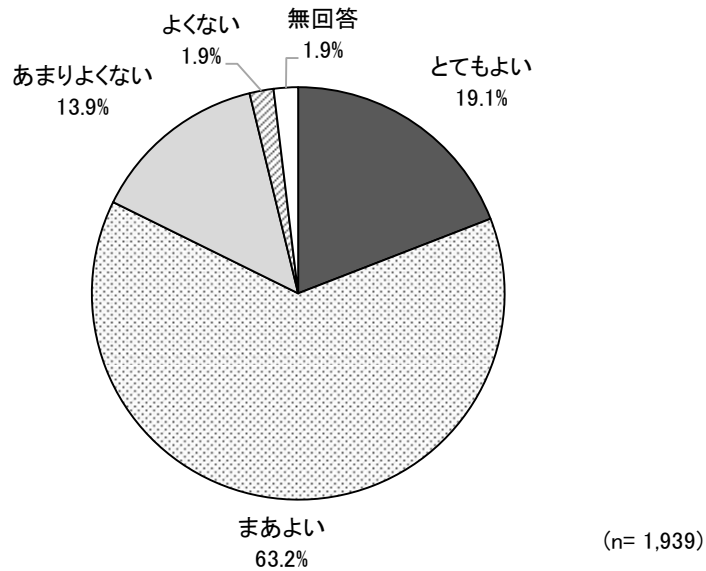


#### 4. あなたの生活や健康について

##### (1) 健康状態

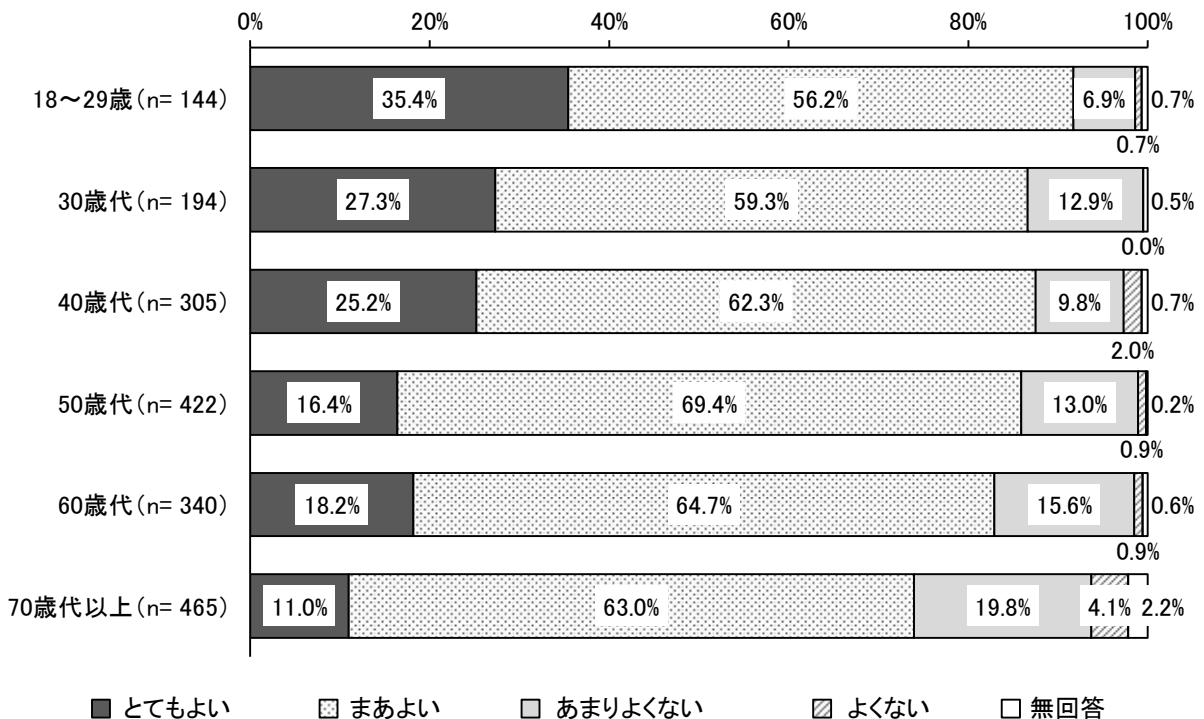
問 30 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態については、「とてもよい」「まあよい」を合わせると 82.3%となっている。



##### ① 健康状態【年代別】

年代別に現在の健康状態をみると、「とてもよい」は「18～29歳」が35.4%と最も高く、「とてもよい」「まあよい」を合わせると年代が若くなるほど健康状態はよいと回答されている。

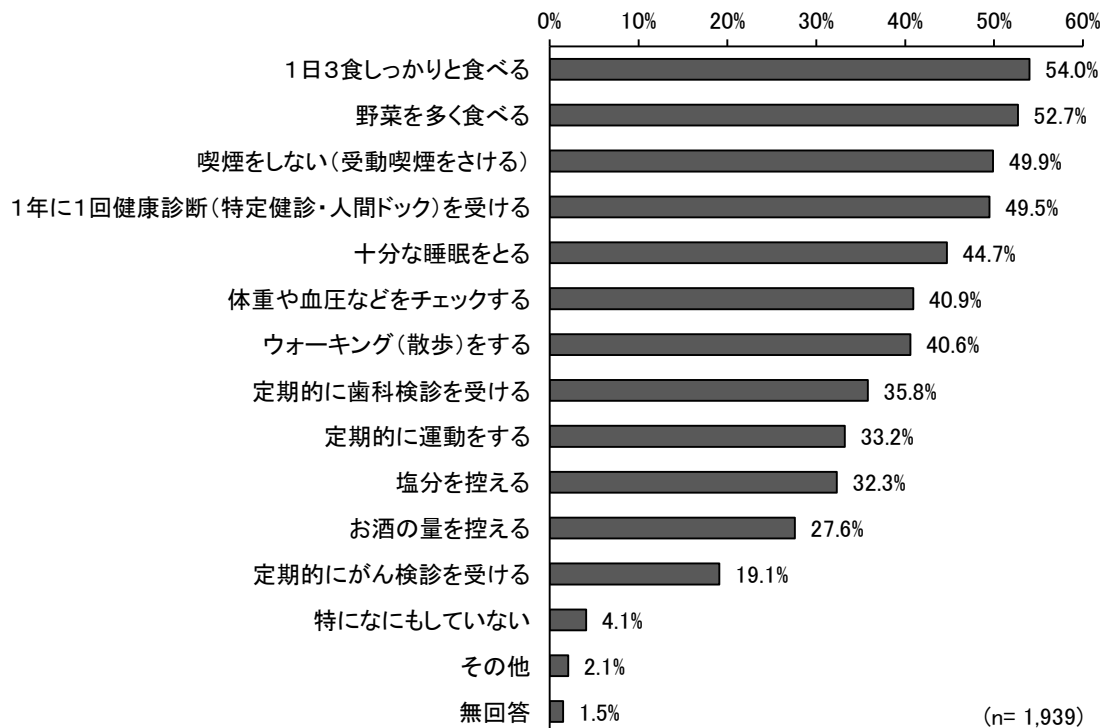




## (2) 健康のために取り組んでいること

問 31 あなたは健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

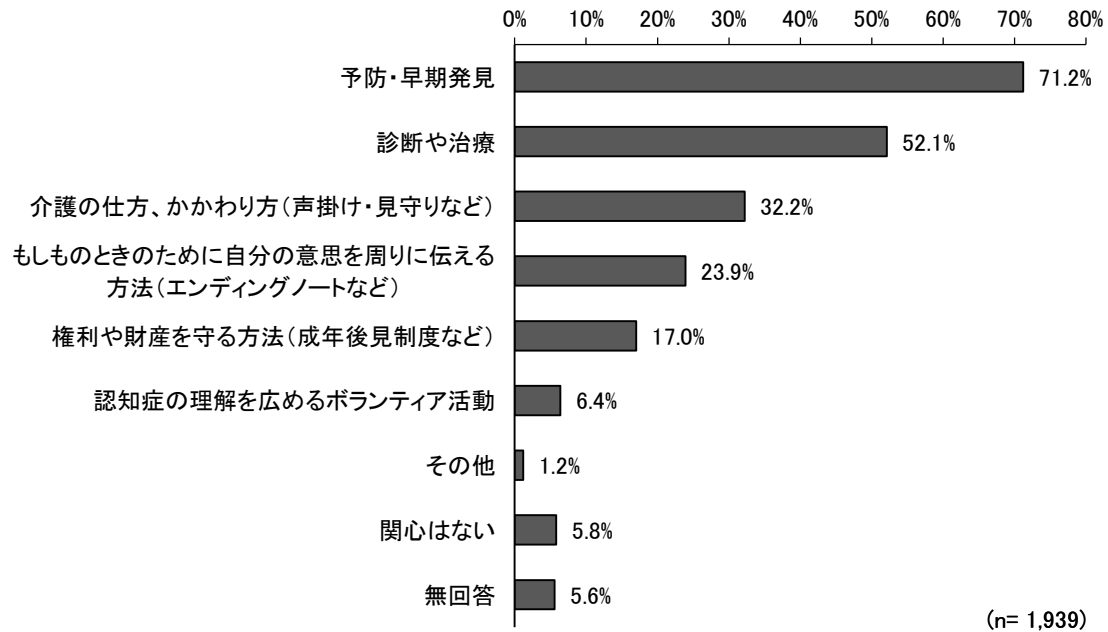
健康のために取り組んでいることは、「1日3食しっかりと食べる」が54.0%で最も高く、次いで「野菜を多く食べる」52.7%、「喫煙をしない(受動喫煙をさける)」49.9%、「1年に1回健康診断(特定健診・人間ドック)を受ける」49.5%の順となっている。



### (3) 認知症について関心のあること

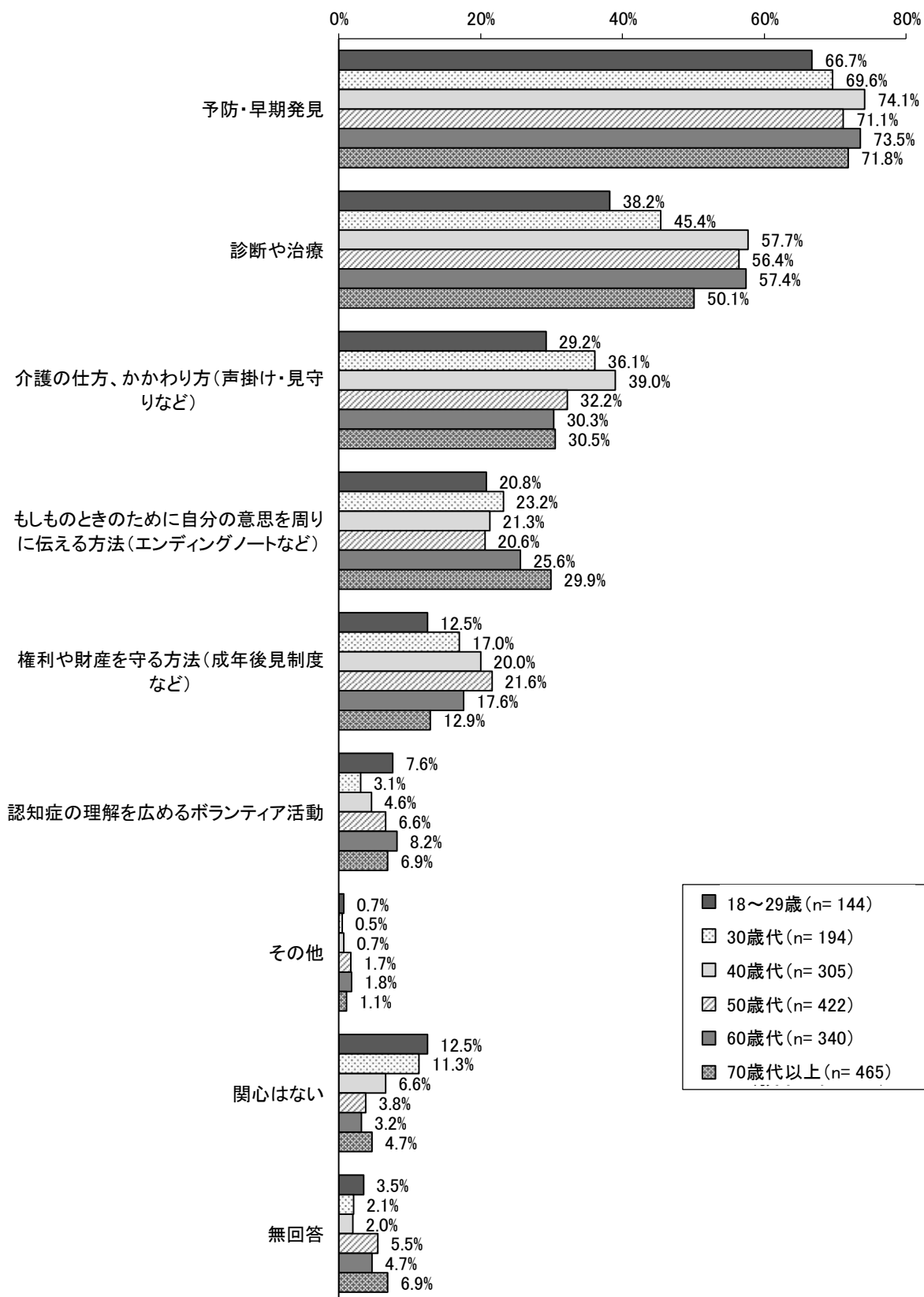
問 32 認知症について、あなたはどのようなことに関心がありますか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。(〇は3つまで)

認知症について関心のあることは、「予防・早期発見」が71.2%と最も高く、次いで「診断や治療」が52.1%となっている。



①認知症について関心のあること【年代別】

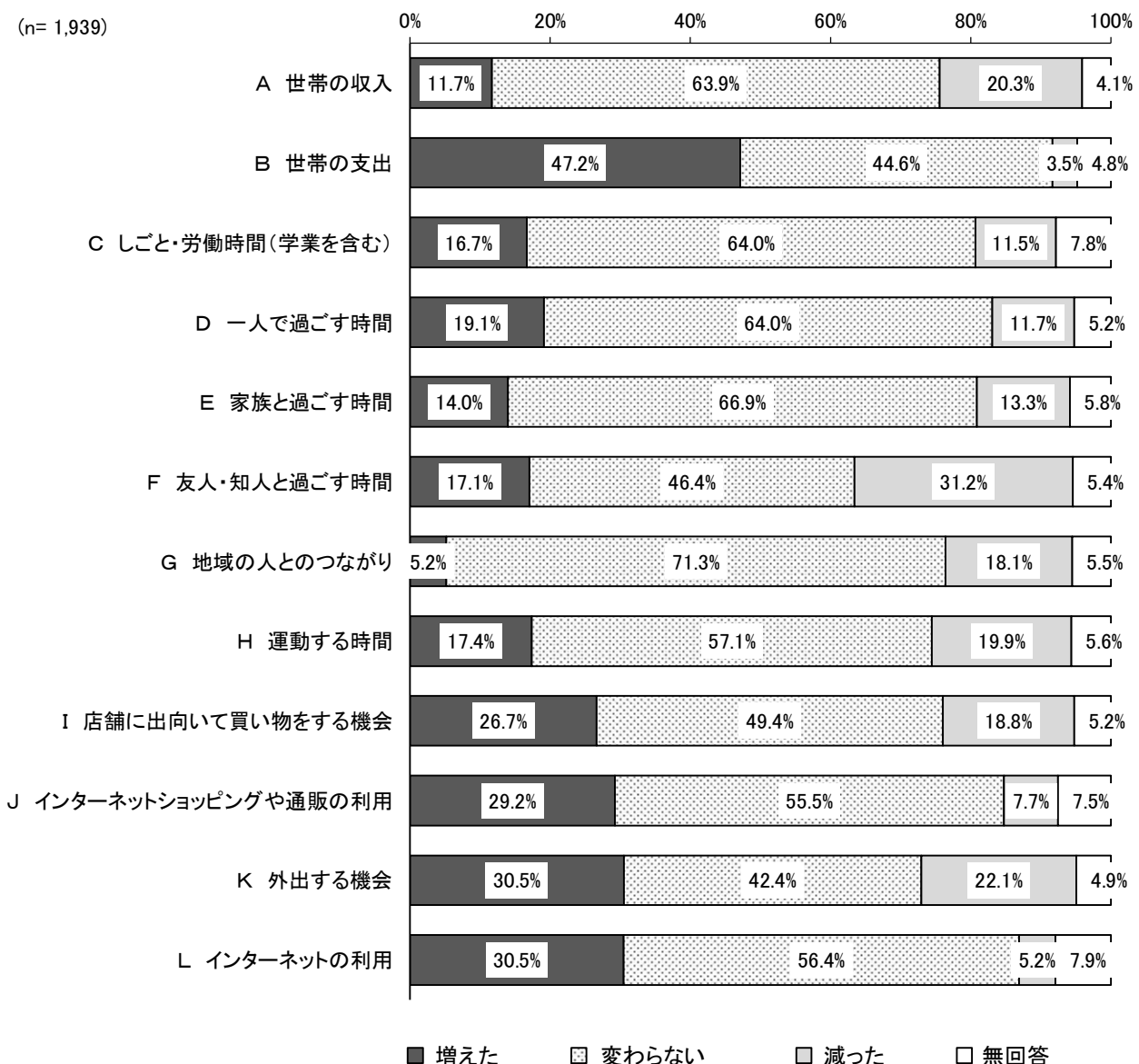
年代別に認知症について関心のあることをみると、「40歳代」の「予防・早期発見」が74.1%と最も高い。また、「診断や治療」と「介護の仕方、かかわり方（声掛け・見守りなど）」についても「40歳代」が最も高い割合となっている。



#### (4) 新型コロナウイルス感染症の取扱い変更後の生活の変化

問 33 新型コロナウイルス感染症の取扱いが昨年変更されましたが、二年前の今ごろとくらべて、あなたの生活で次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。(それぞれ○は1つずつ)

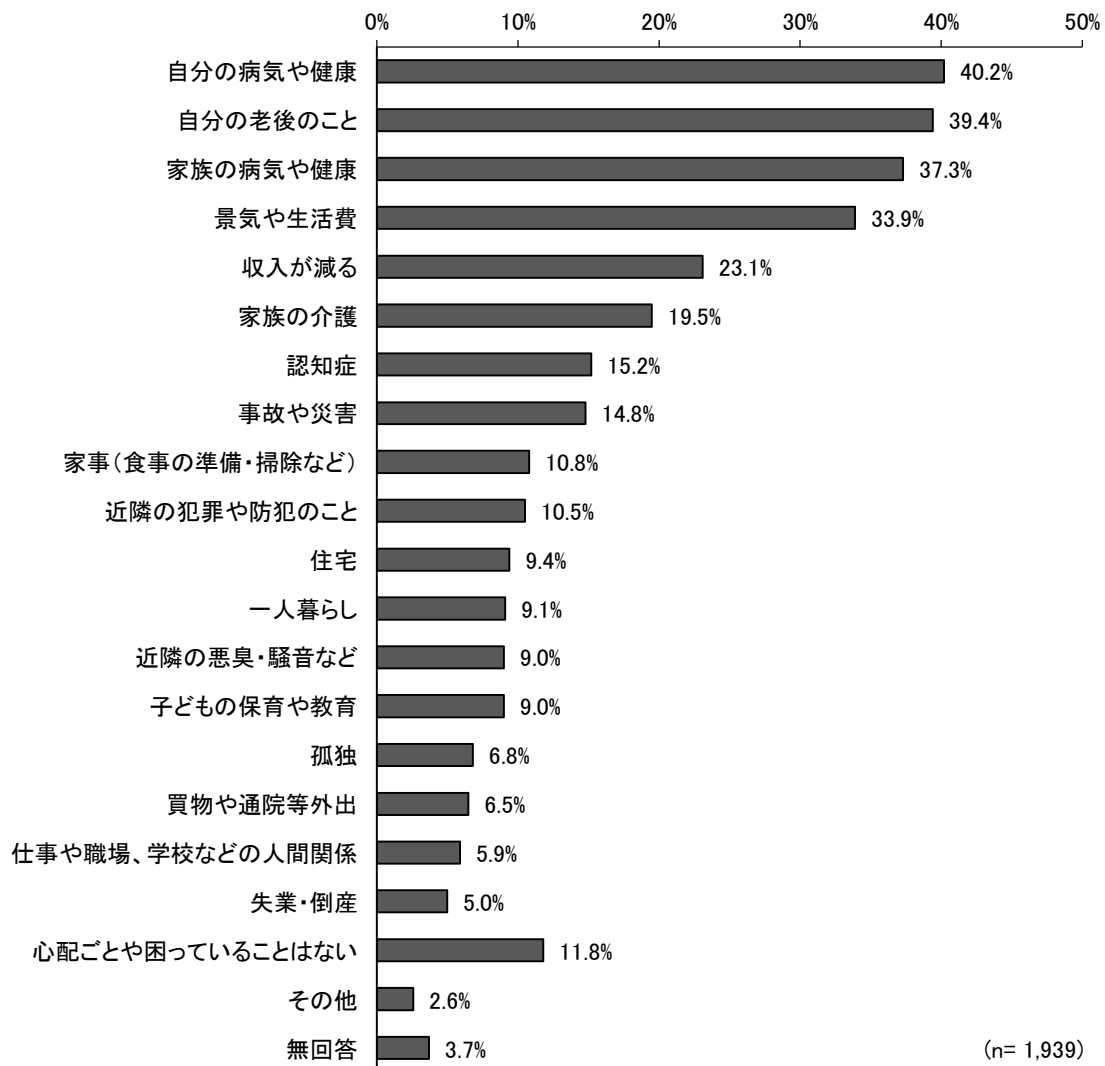
二年前とくらべて生活に変化があった項目について尋ねたところ、増えた項目では「世帯の支出」が 47.2%と最も高く、減った項目では「友人・知人と過ごす時間」が 31.2%と最も高くなっている。



### (5) 生活のことで心配ごとや困っていること

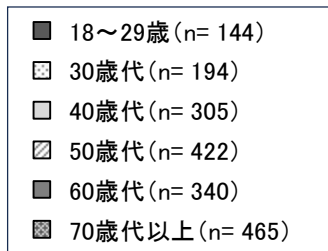
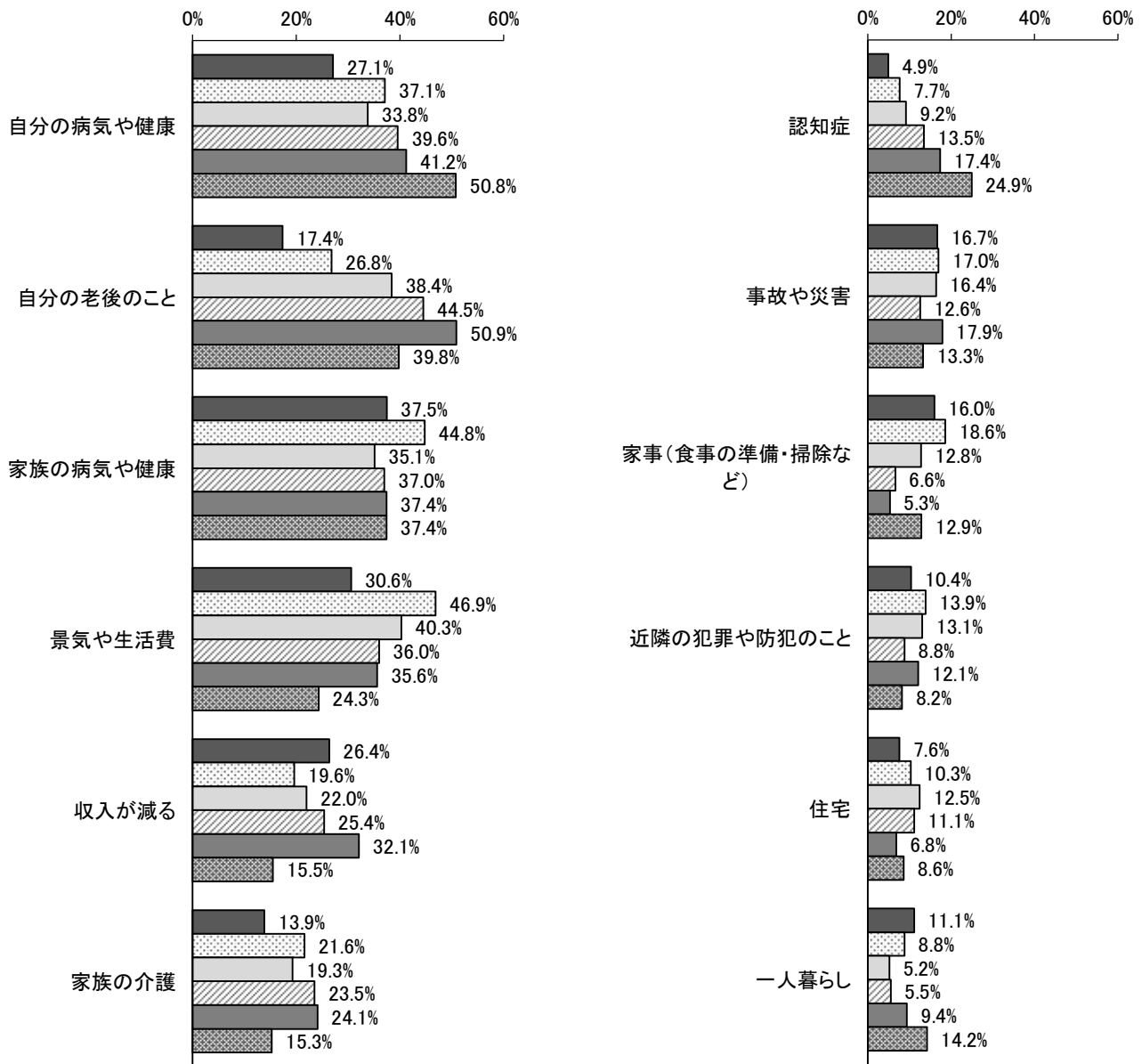
問 34 現在、ご自分やご家族の生活の事で心配ごとや困っていることはありますか。  
(〇はいくつでも)

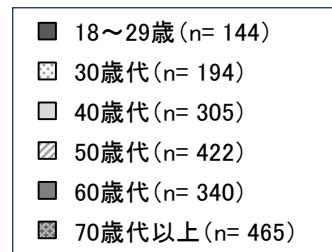
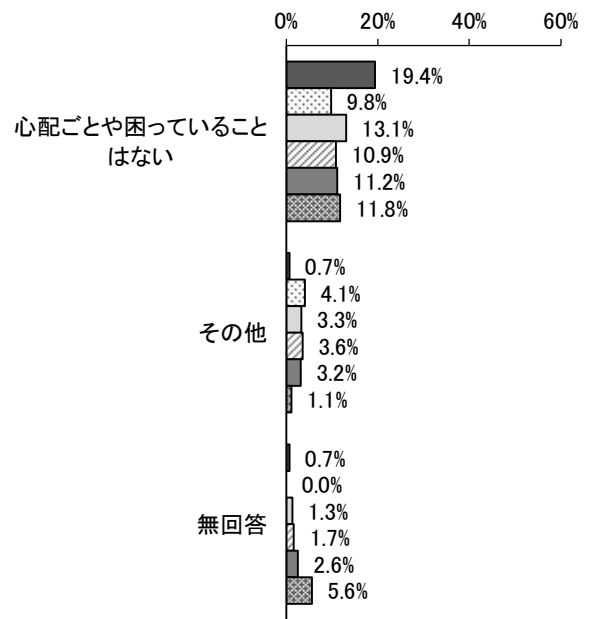
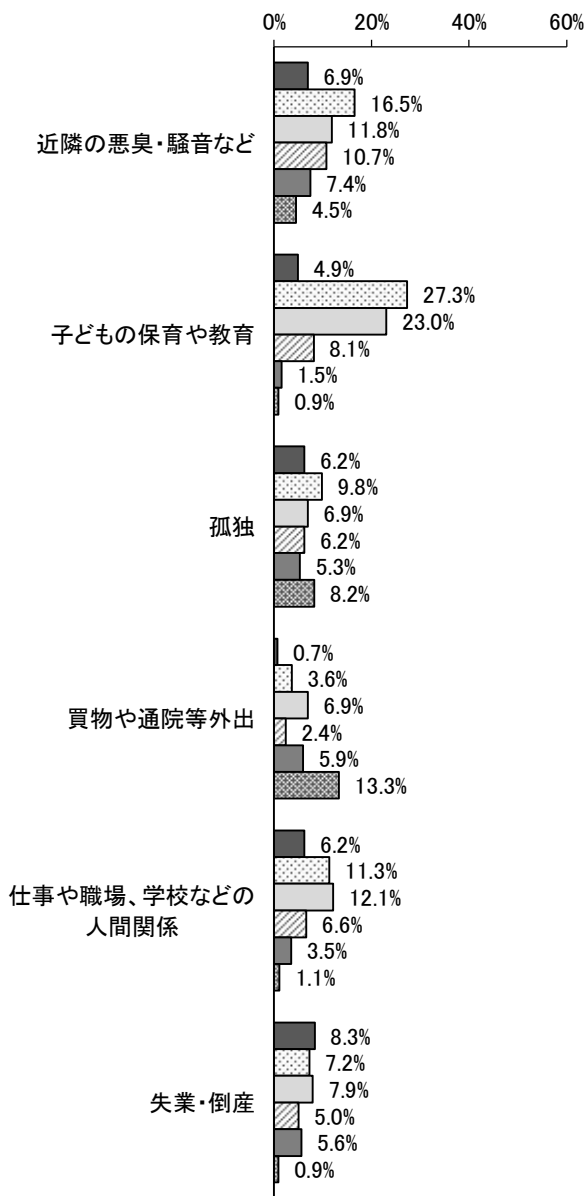
生活のことで心配ごとや困っていることを尋ねたところ、「自分の病気や健康」が40.2%と最も高く、次いで「自分の老後のこと」39.4%、「家族の病気や健康」37.3%の順となっている。



① 生活のことで心配ごとや困っていること【年代別】

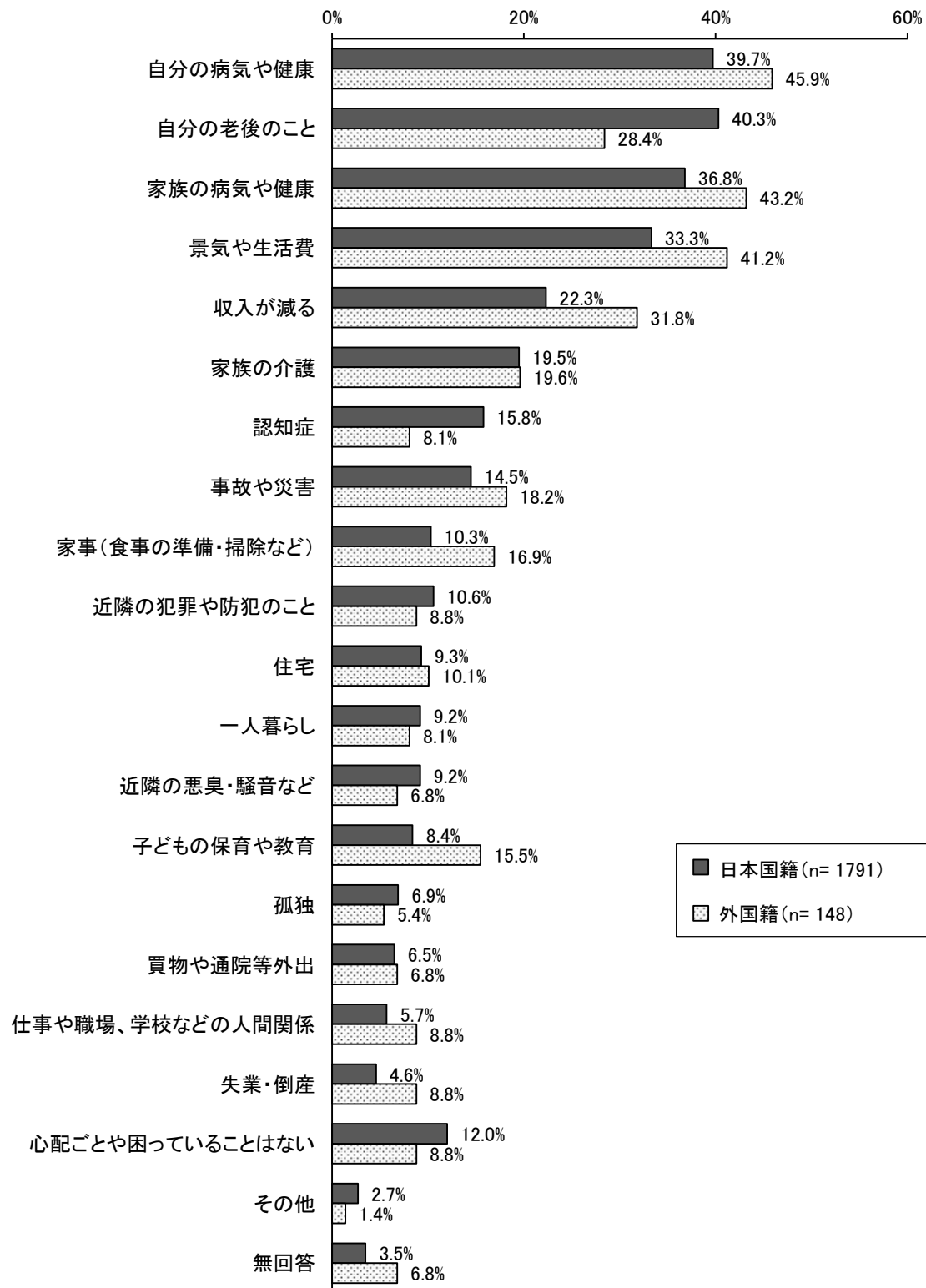
年齢別に生活のことで心配ごとや困っていることをみると、「60歳代」の「自分の老後のこと」が50.9%と最も高く、「70歳代以上」の「自分の病気や健康」が50.8%と差なく続いている。「30歳代」「40歳代」では「景気や生活費」が最も高い。





② 生活のことで心配ごとや困っていること【国籍別】

国籍別に生活のことで心配ごとや困っていることをみると、日本国籍の方は「自分の老後のこと」が 40.3%と最も高く、次いで「自分の病気や健康」が 39.7%と差なく続いている。外国籍の方は「自分の病気や健康」が 45.9%と最も高く、次いで「家族の病気や健康」43.2%、「景気や生活費」41.2%となっている。





③ 生活のことで心配ごとや困っていること【地区別】

地区別に生活のことで心配ごとや困っていることをみると、「自分の病気や健康」については「E地区」が67.3%と最も高く、次いで「J地区」47.9%となっている。「自分の老後のこと」では「I地区」の47.0%が、「家族の病気や健康」では「M地区」44.4%が高い割合となっている。

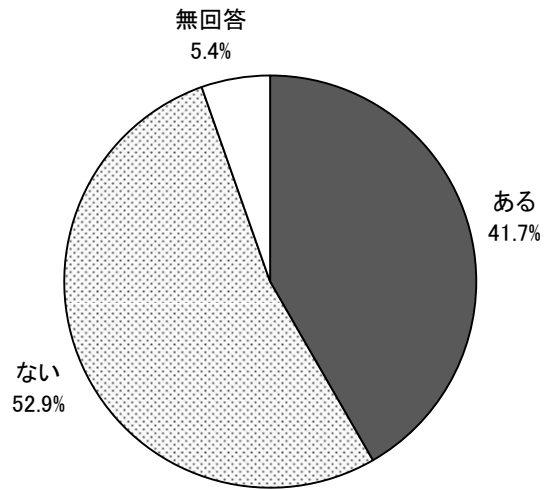
	n=																			(%)		
		自分の病気や健康	自分の老後のこと	家族の病気や健康	景気や生活費	収入が減る	家族の介護	認知症	事故や災害	除など	家事(食事の準備・掃除など)	近隣の犯罪や防犯のこと	住宅	一人暮らし	近隣の悪臭・騒音など	子どもの保育や教育	孤独	買物や通院等外出	の人間関係、学校など	失業・倒産	心配ごとや困っていることではない	その他
全体	1,939	40.2	39.4	37.3	33.9	23.1	19.5	15.2	14.8	10.8	10.5	9.4	9.1	9.0	9.0	6.8	6.5	5.9	5.0	11.8	2.6	3.7
A地区 (第1北部地区)	99	46.5	32.3	37.4	36.4	22.2	13.1	8.1	18.2	12.1	13.1	8.1	11.1	11.1	5.1	7.1	3.0	5.1	6.1	13.1	2.0	1.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	37.4	41.7	30.9	38.1	31.7	21.6	12.9	11.5	10.8	18.0	13.7	6.5	14.4	8.6	8.6	4.3	5.8	5.0	7.9	2.9	2.9
C地区 (関内地区)	85	32.9	34.1	31.8	35.3	15.3	16.5	15.3	10.6	12.9	11.8	5.9	9.4	17.6	12.9	4.7	7.1	2.4	2.4	11.8	3.5	4.7
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	40.5	32.2	30.6	33.9	17.4	14.9	7.4	14.9	5.8	16.5	6.6	8.3	16.5	7.4	5.0	5.0	5.8	4.1	14.9	3.3	4.1
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	67.3	41.8	23.6	38.2	20.0	7.3	12.7	21.8	7.3	20.0	21.8	23.6	18.2	3.6	18.2	3.6	7.3	7.3	5.5	1.8	1.8
F地区 (石川打越地区)	59	39.0	40.7	35.6	35.6	15.3	20.3	13.6	15.3	13.6	15.3	10.2	8.5	6.8	6.8	6.8	5.1	11.9	6.8	5.1	0.0	5.1
G地区 (第2地区)	214	38.8	39.3	36.0	30.8	25.2	18.7	16.4	14.0	13.1	9.8	6.1	12.6	10.3	8.9	6.5	7.9	5.6	3.3	12.6	1.9	0.9
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	37.2	40.1	40.5	31.6	22.7	23.0	14.1	17.1	10.4	7.1	8.6	9.3	6.7	9.7	7.4	8.9	5.9	4.5	14.1	3.0	2.6
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	39.7	47.0	41.1	38.4	23.2	21.2	24.5	16.6	10.6	9.9	9.3	4.6	6.6	9.9	6.6	4.6	5.3	6.0	9.9	2.6	4.0
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	47.9	44.8	42.7	33.3	26.0	19.8	20.8	11.5	13.5	7.3	7.3	12.5	9.4	12.5	9.4	3.1	5.2	1.0	12.5	2.1	3.1
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	41.7	39.9	41.3	38.0	24.4	22.1	13.7	15.9	8.9	8.9	10.0	5.5	6.3	8.5	6.6	7.0	6.3	5.5	14.0	3.0	1.8
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	40.9	40.4	39.4	26.4	21.8	23.8	15.0	16.1	9.8	6.7	11.4	9.3	3.6	9.8	3.6	8.8	7.8	6.2	11.9	4.1	1.0
M地区 (新本牧地区)	108	36.1	36.1	44.4	40.7	22.2	19.4	21.3	13.0	13.9	8.3	13.9	7.4	4.6	13.9	7.4	6.5	7.4	7.4	13.9	1.9	0.0

<注釈>・全体および地区毎の上位3項目を、色の濃淡で示しています。

(6) 自宅以外で安心していただける場所

問 35 自宅以外で安心していただける場所がありますか。(○は1つ)

自宅以外で安心していただける場所があるか尋ねたところ、「ない」が52.9%で、「ある」を上回っている。



(n= 1,939)

① 自宅以外で安心していただける場所【地区別】

地区別に自宅以外で安心していただける場所の有無をみると、「ある」の回答では「C地区」の61.2%が最も高く、「ない」では「F地区」が最も高い。

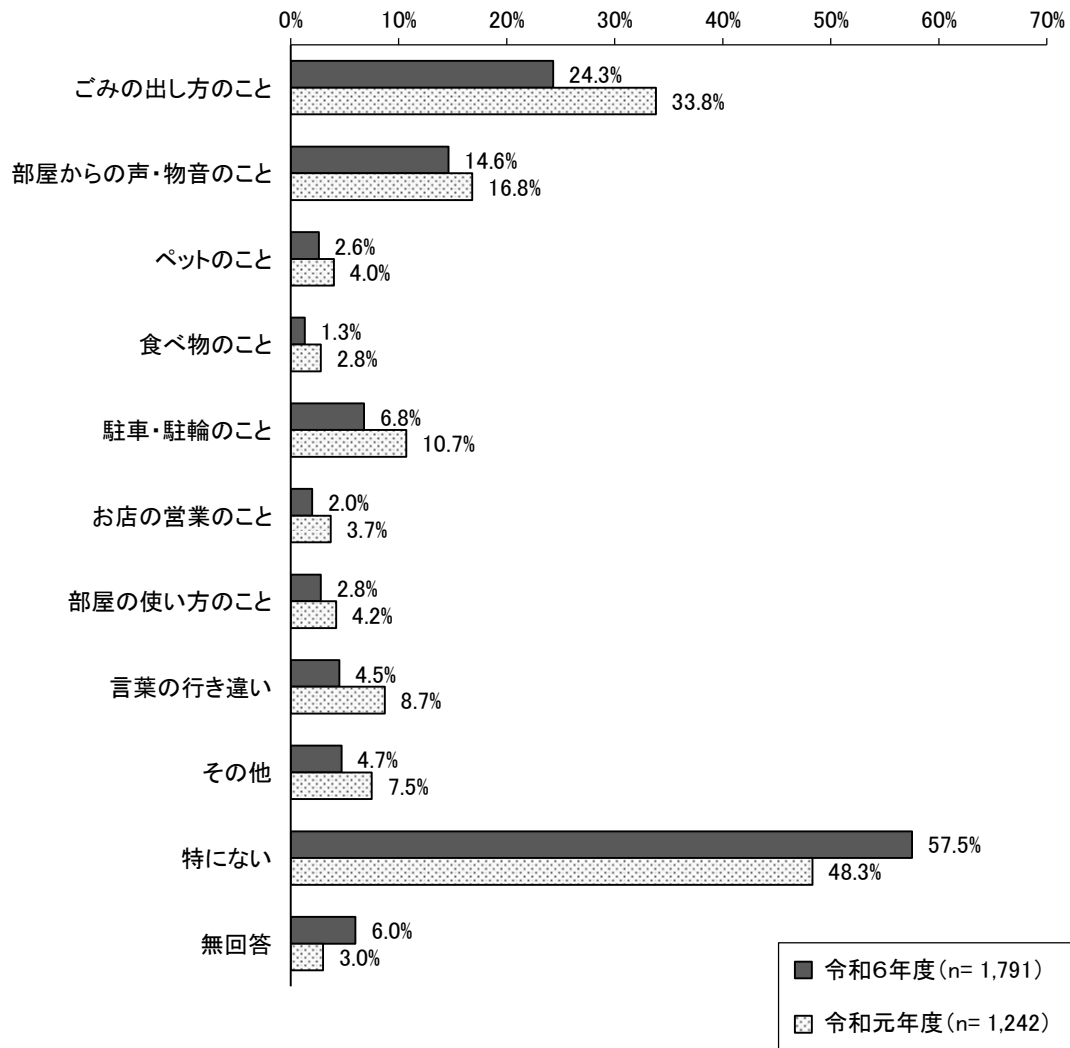
		(%)		
	n=	あ る	な い	無 回 答
全体	1,939	41.7	52.9	5.4
A地区 (第1北部地区)	99	46.5	50.5	3.0
B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)	139	38.1	56.1	5.8
C地区 (関内地区)	85	61.2	34.1	4.7
D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	121	46.3	49.6	4.1
E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	55	29.1	63.6	7.3
F地区 (石川打越地区)	59	28.8	64.4	6.8
G地区 (第2地区)	214	40.7	56.5	2.8
H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)	269	49.1	48.7	2.2
I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	151	42.4	53.0	4.6
J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)	96	41.7	53.1	5.2
K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	271	39.9	55.4	4.8
L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)	193	41.5	56.0	2.6
M地区 (新本牧地区)	108	38.9	60.2	0.9

<注釈>・項目別に上位3地区を、色の濃淡で示しています。

(7) 外国人との生活で戸惑った経験《日本国籍の方》

問 36 今までに、近くに住む外国人との生活の中で戸惑った経験はありますか。内容はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

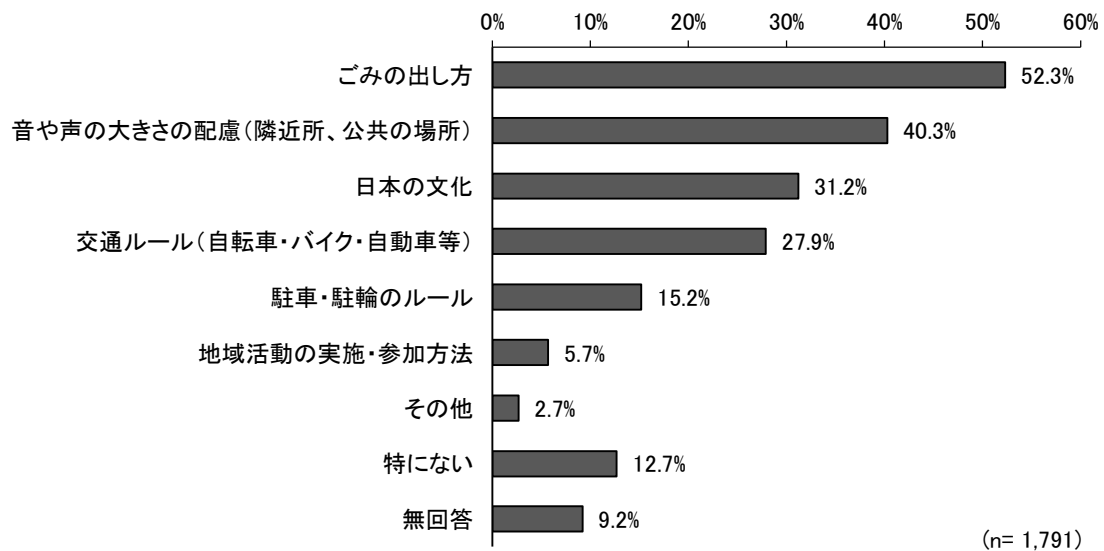
日本国籍の方に外国人との生活で戸惑った経験があるか尋ねたところ、「特にない」が57.5%と高く、戸惑った内容としては「ごみの出し方のこと」24.3%や、「部屋からの声・物音のこと」14.6%が多くなっている。



### (8) 外国人の方に知ってほしいこと《日本国籍の方》

問 37 日本人と外国人が一緒により良く暮らしていくために、外国人の方に知ってほしいことは何ですか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。(〇は3つまで)。

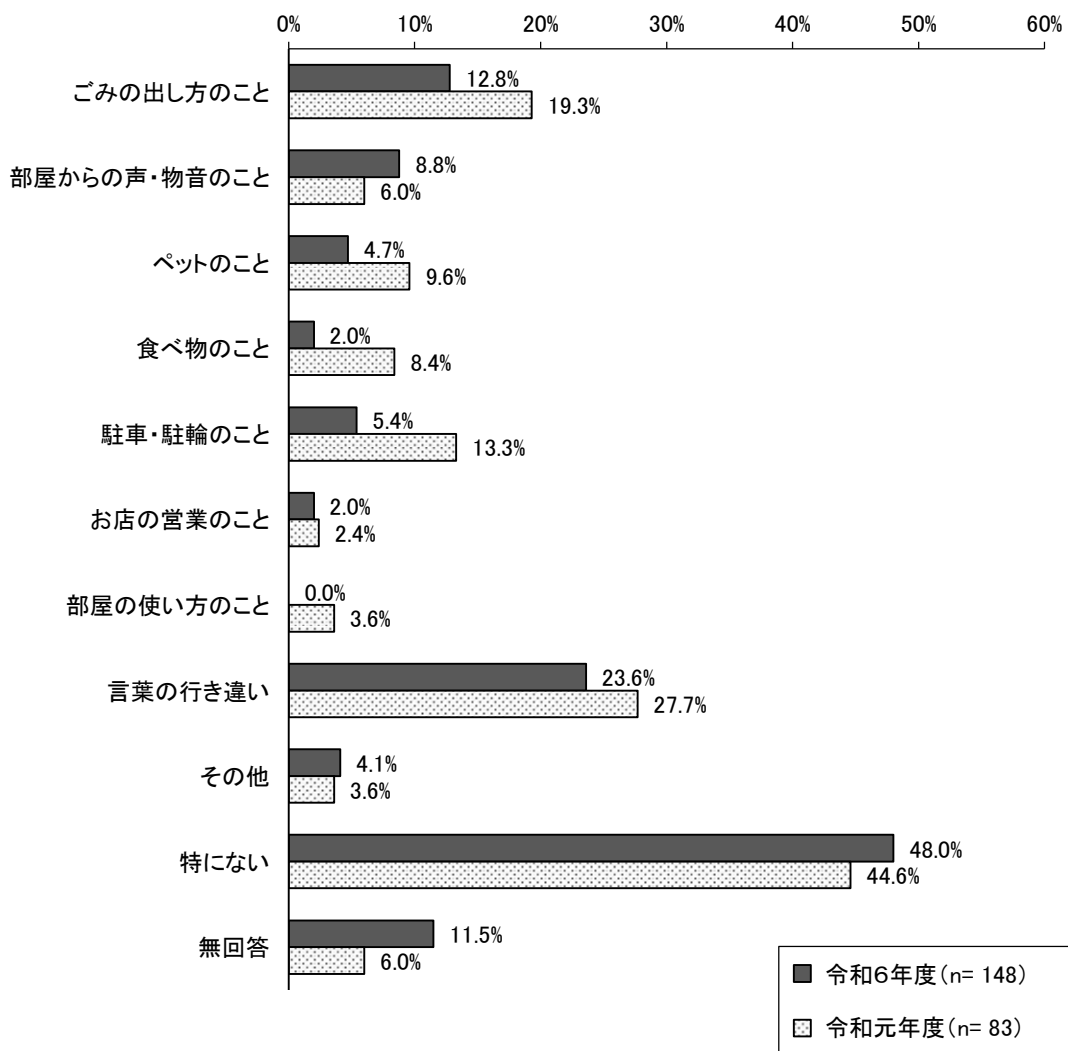
外国人に知ってほしいこととしては、「ごみの出し方」が52.3%と最も高く、次いで「音や声の大きさの配慮(隣近所、公共の場所)」40.3%、「日本の文化」31.2%の順となっている。



(9) 日本人との生活で戸惑った経験<外国籍の方>

問 38 今までに、近くに住む日本人との生活の中で戸惑った経験はありますか。内容はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

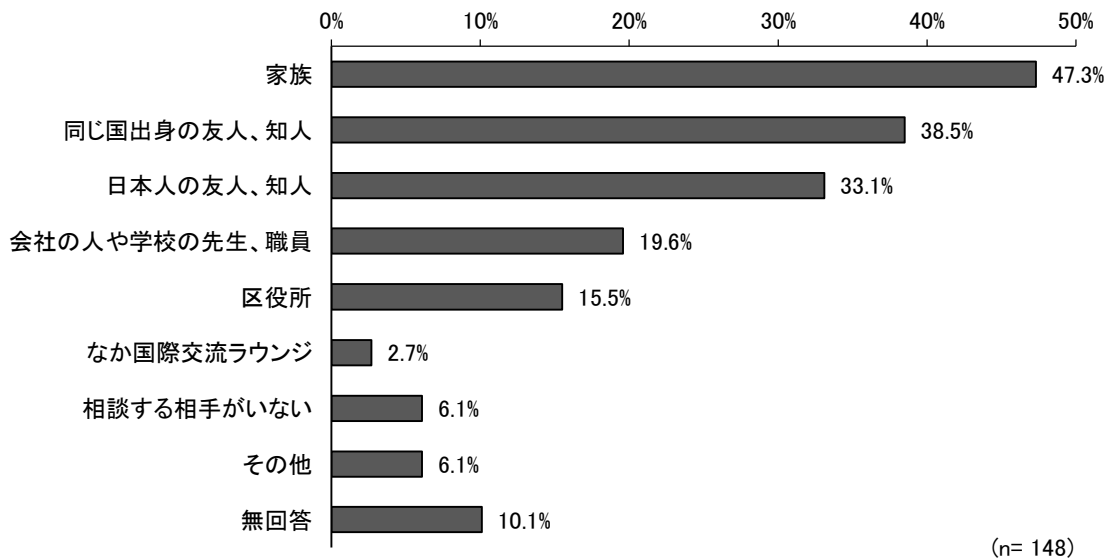
外国籍の方に日本人との生活で戸惑った経験があるか尋ねたところ、「特にない」が48.0%と高く、戸惑った内容としては「言葉の行き違い」が23.6%と最も高くなっている。



(10) 生活の困りごとの相談先《外国籍の方》

問 39 生活の困りごとはだれに相談しますか。(〇はいくつでも)

外国籍の方の生活の困りごとの相談先としては、「家族」が 47.3%と最も高く、次いで「同じ国出身の友人、知人」38.5%、「日本人の友人、知人」33.1%の順となっている。

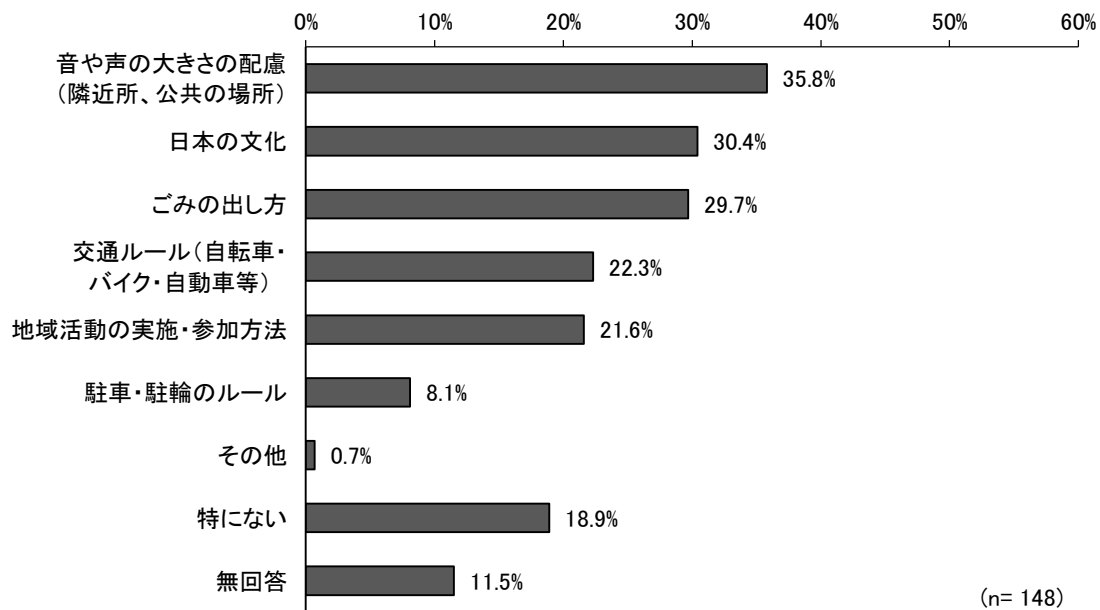


(11) 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために知りたいこと《外国籍の方》

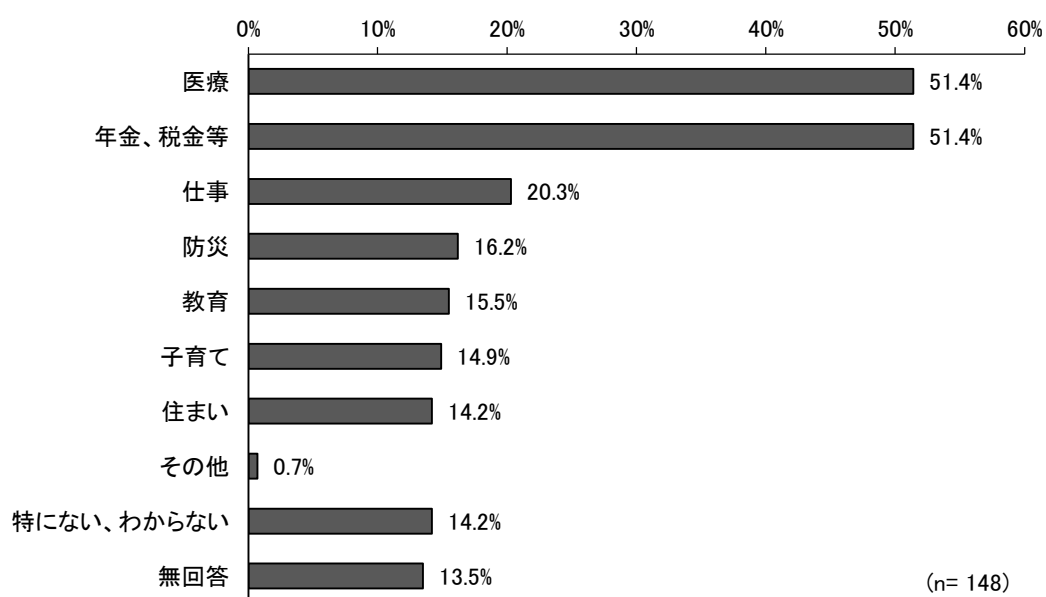
問 40 日本人と外国人が一緒により良く暮らしていくために、それぞれ知りたいことは何ですか。特にあてはまるものを3つまでお答えください。

日本人・外国人がともにより良く暮らしていくために知りたいことは、日本のルール・習慣においては「音や声の大きさの配慮（隣近所、公共の場所）」が 35.8%と最も高く、日本社会の制度・情報においては「医療」と「年金、税金等」が 51.4%で最も高くなっている。

① 「日本のルール・習慣」（○は3つまで）



② 「日本社会の制度・情報」（○は3つまで）

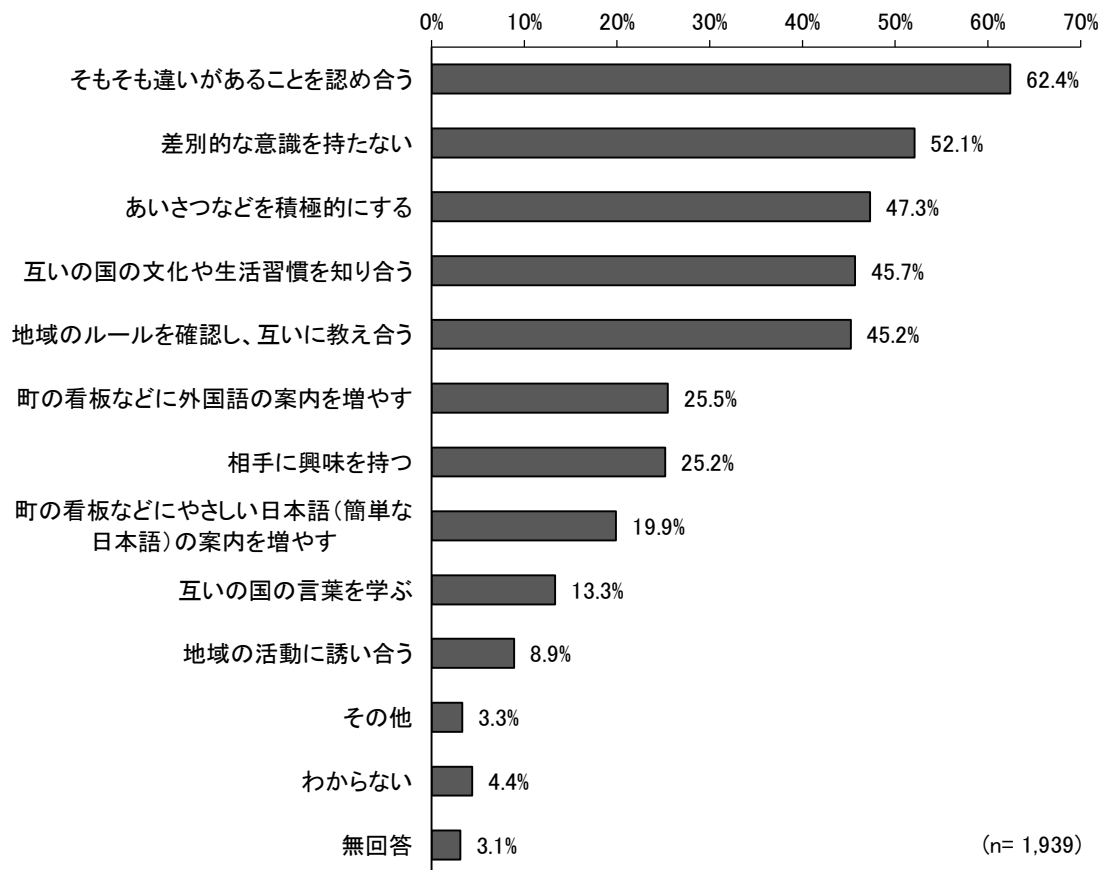




(12) 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために必要だと思うこと

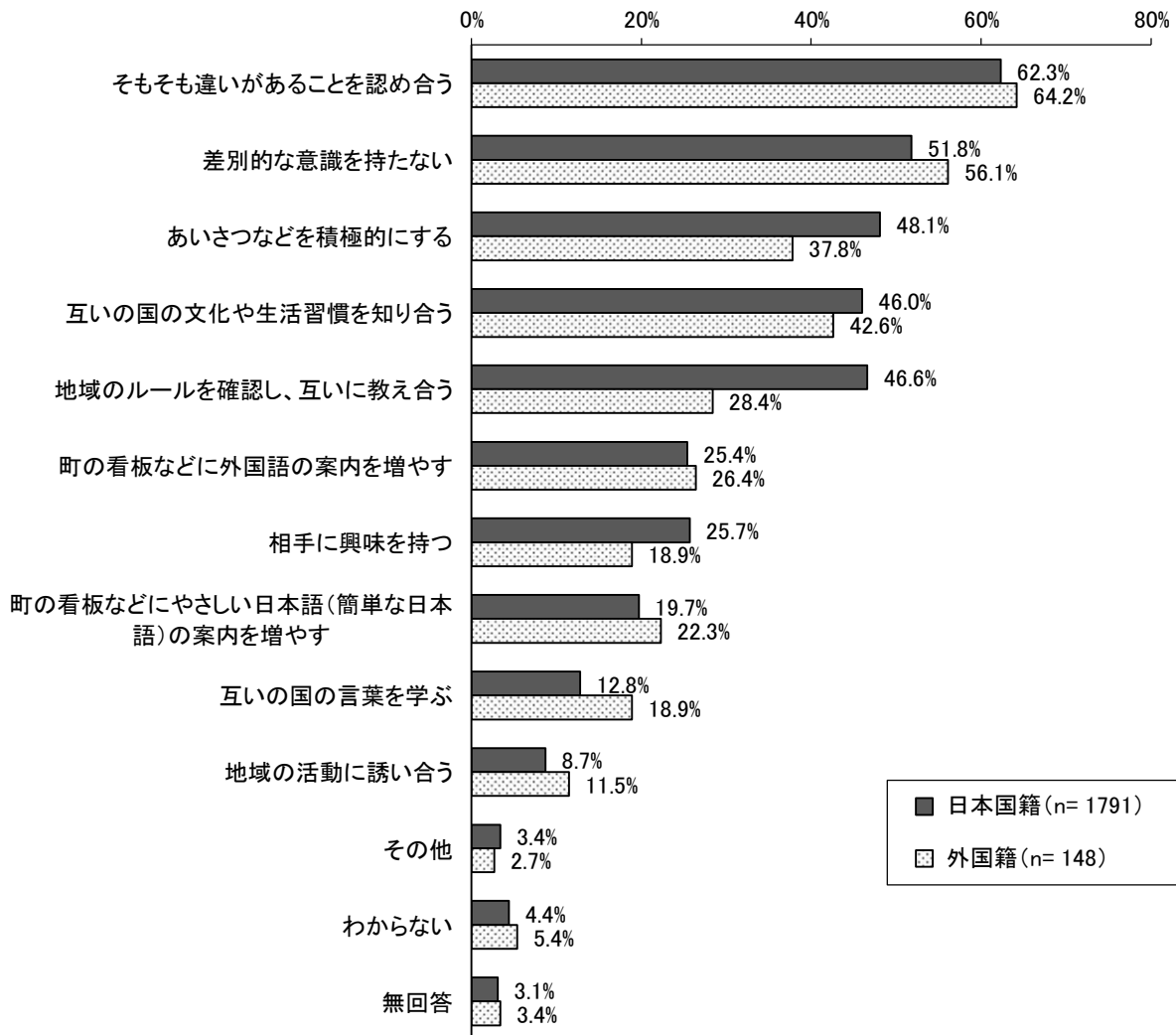
問 41 日本人と外国人が同じ地域の中で一緒により良く暮らしていくためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)。

日本人・外国人がともにより良く暮らしていくために必要だと思うことは、「そもそも違いがあることを認め合う」が 62.4%と最も高く、次いで「差別的な意識を持たない」が 52.1%と続いている。



① 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために必要だと思うこと【国籍別】

国籍別に日本人・外国人がともにより良く暮らしていくために必要だと思うことをみると、日本国籍・外国籍ともに最も高い「そもそも違いがあることを認め合う」については、国籍による差はあまりないが、「地域のルールを確認し、互いに教え合う」については、日本国籍の方が外国籍より18.2ポイント高くなっている。

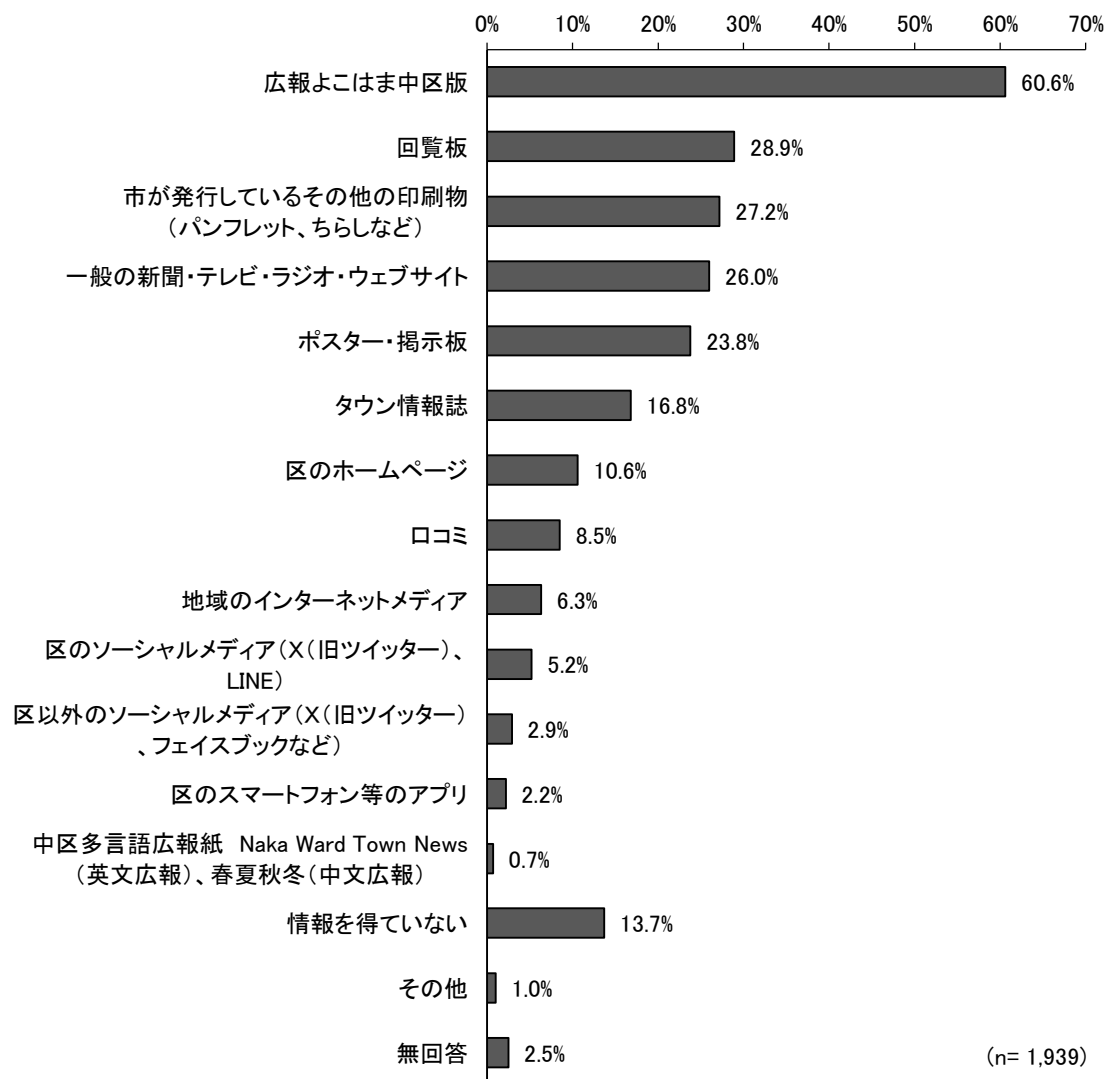


## 5. お住まいの区の地域行政について

### (1) 行政情報や地域情報の入手方法

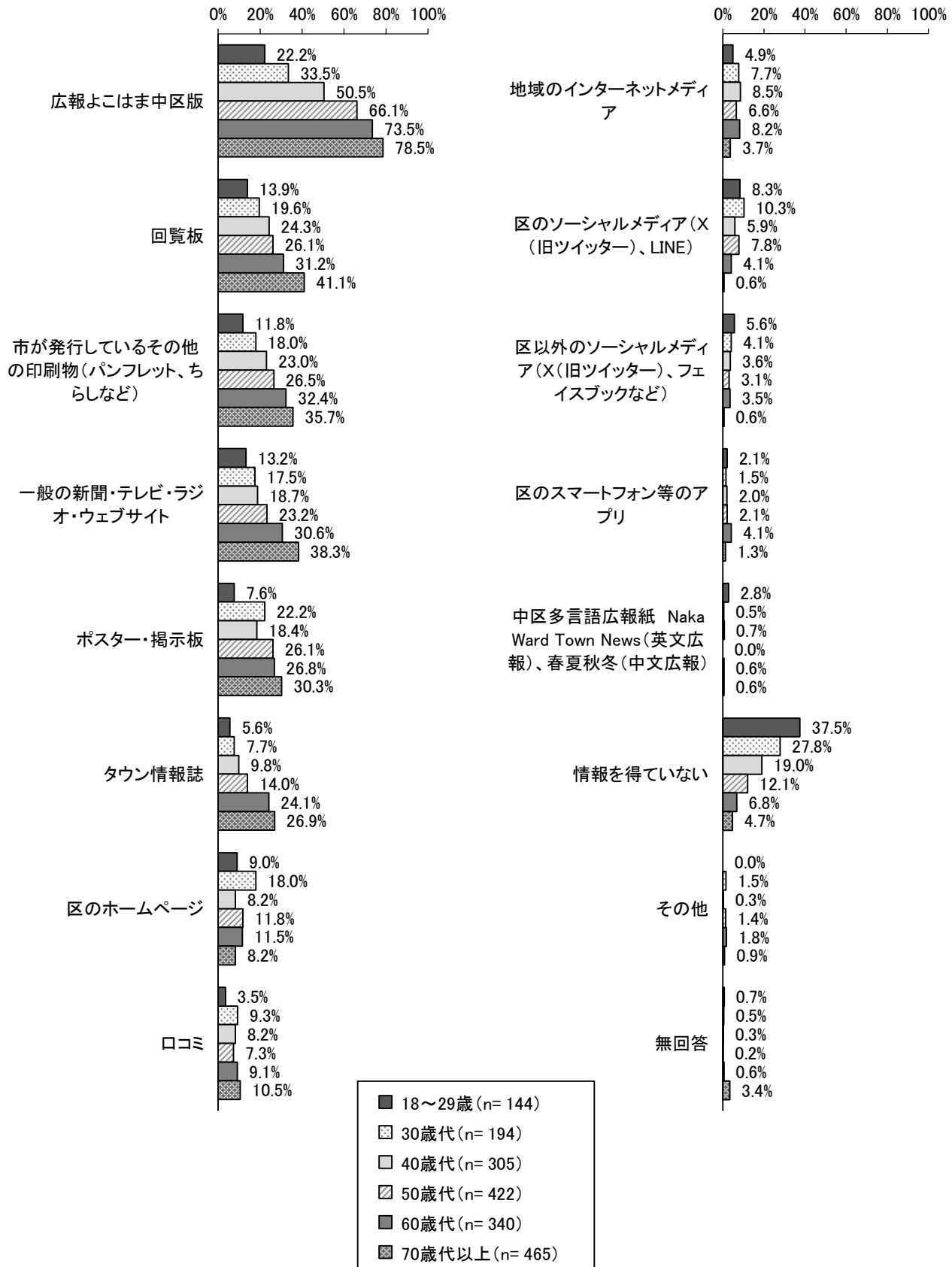
問 42 あなたは普段、どのような方法でお住まいの区の行政情報や地域情報を入手していますか。（〇はいくつでも）

行政情報や地域情報の入手方法については、「広報よこはま中区版」が60.6%で最も高く、次いで「回覧板」28.9%、「市が発行しているその他の印刷物（パンフレット、ちらしなど）」27.2%、「一般の新聞・テレビ・ラジオ・ウェブサイト」26.0%の順となっている。



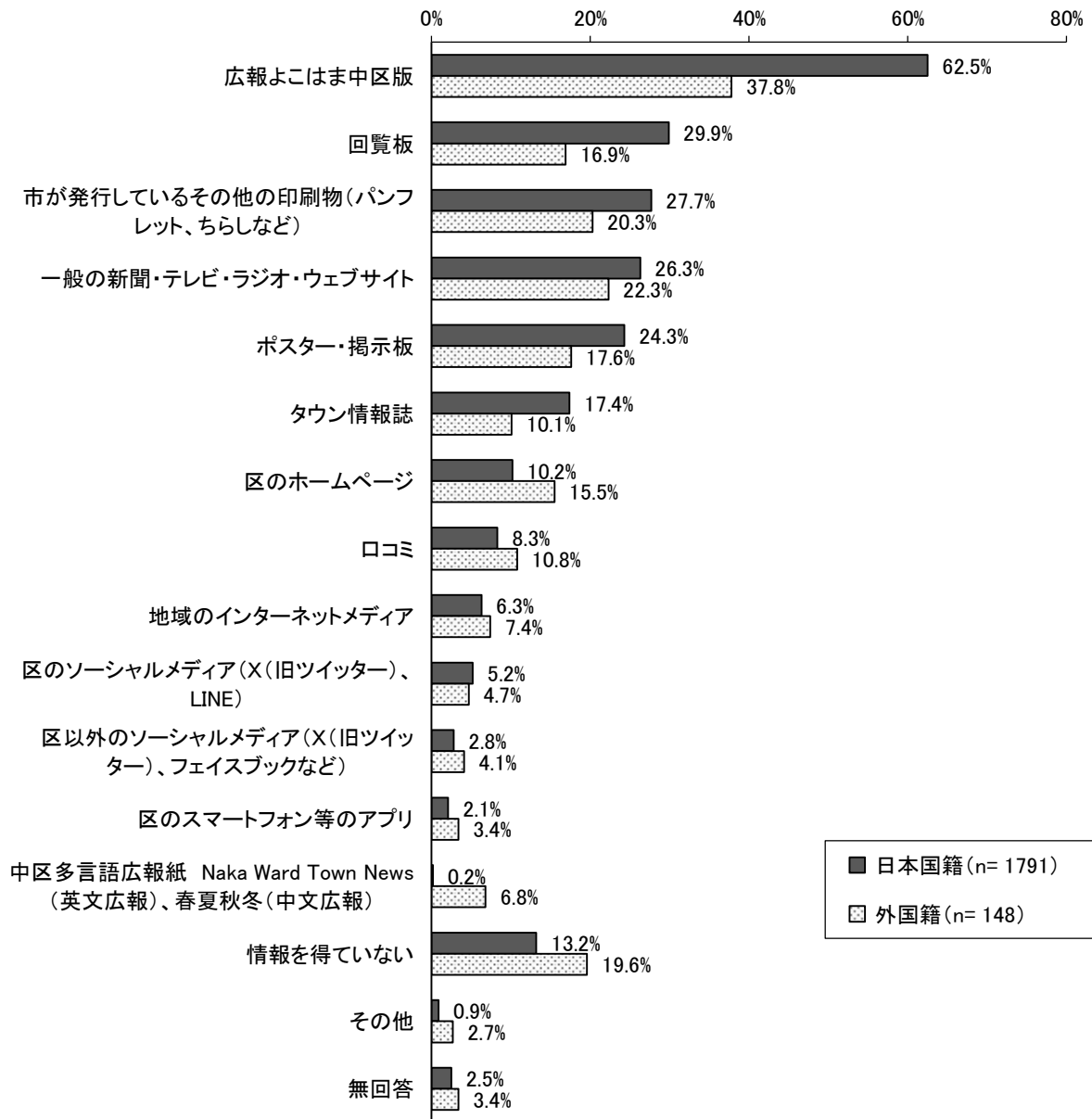
① 行政・地域情報の入手方法【年代別】

年代別に行政情報や地域情報の入手方法をみると、上位6項目すべてにおいて70歳代以上の割合が最も高く、年代が高くなるほど割合も高くなっている。一方、「情報を得ていない」では18～29歳が最も高く、年代が高くなるほど割合は低くなっている。



② 行政・地域情報の入手方法【国籍別】

行政情報や地域情報の入手方法を国籍別でみると、上位2つの項目で割合の差が大きく、「広報よこはま中区版」は24.7ポイント、「回覧板」は13.0ポイント、日本国籍の方が高い。「情報を得ていない」は外国籍の方が6.4ポイント高い。

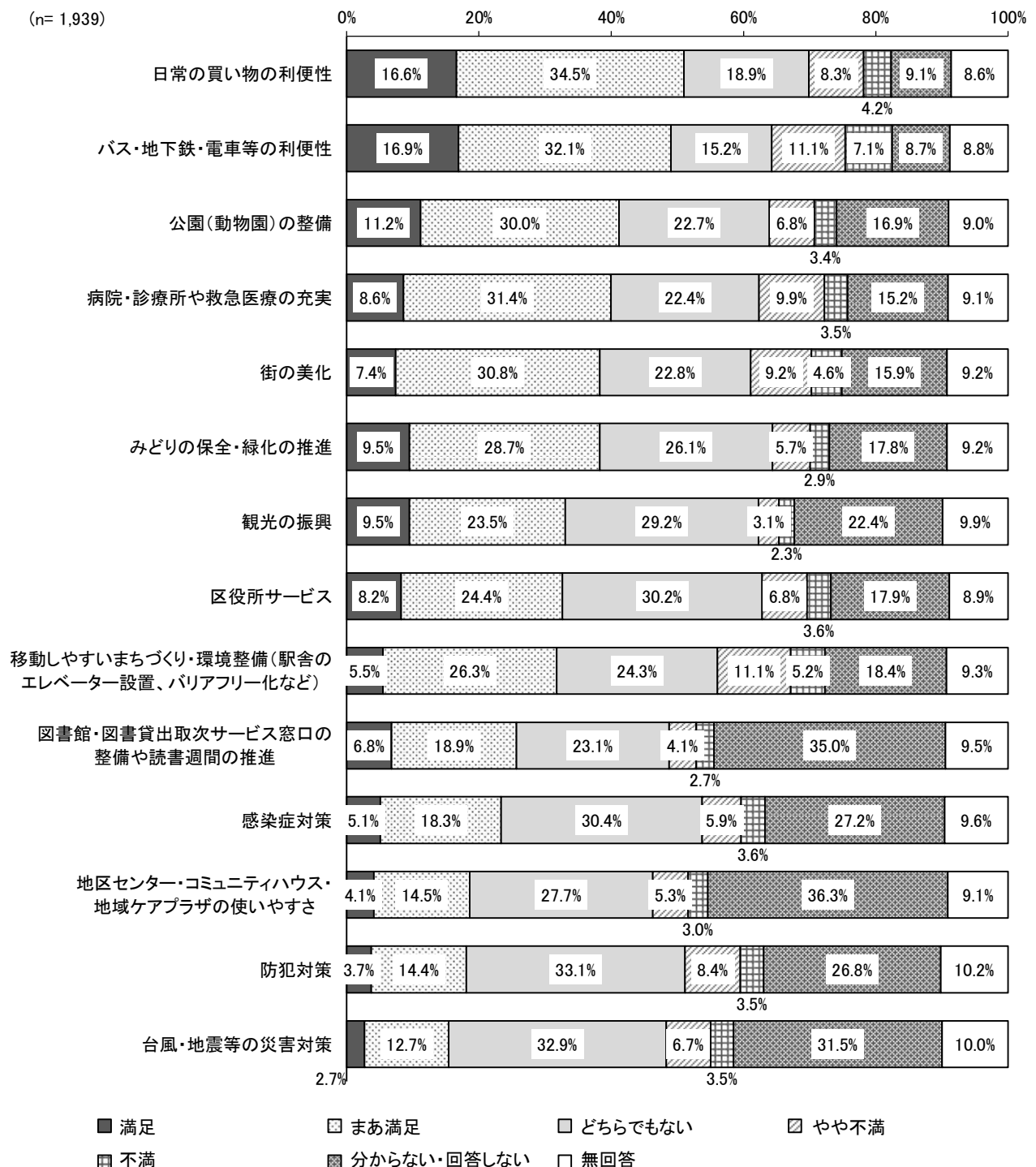


## (2) 行政の支援やサービスに対する評価

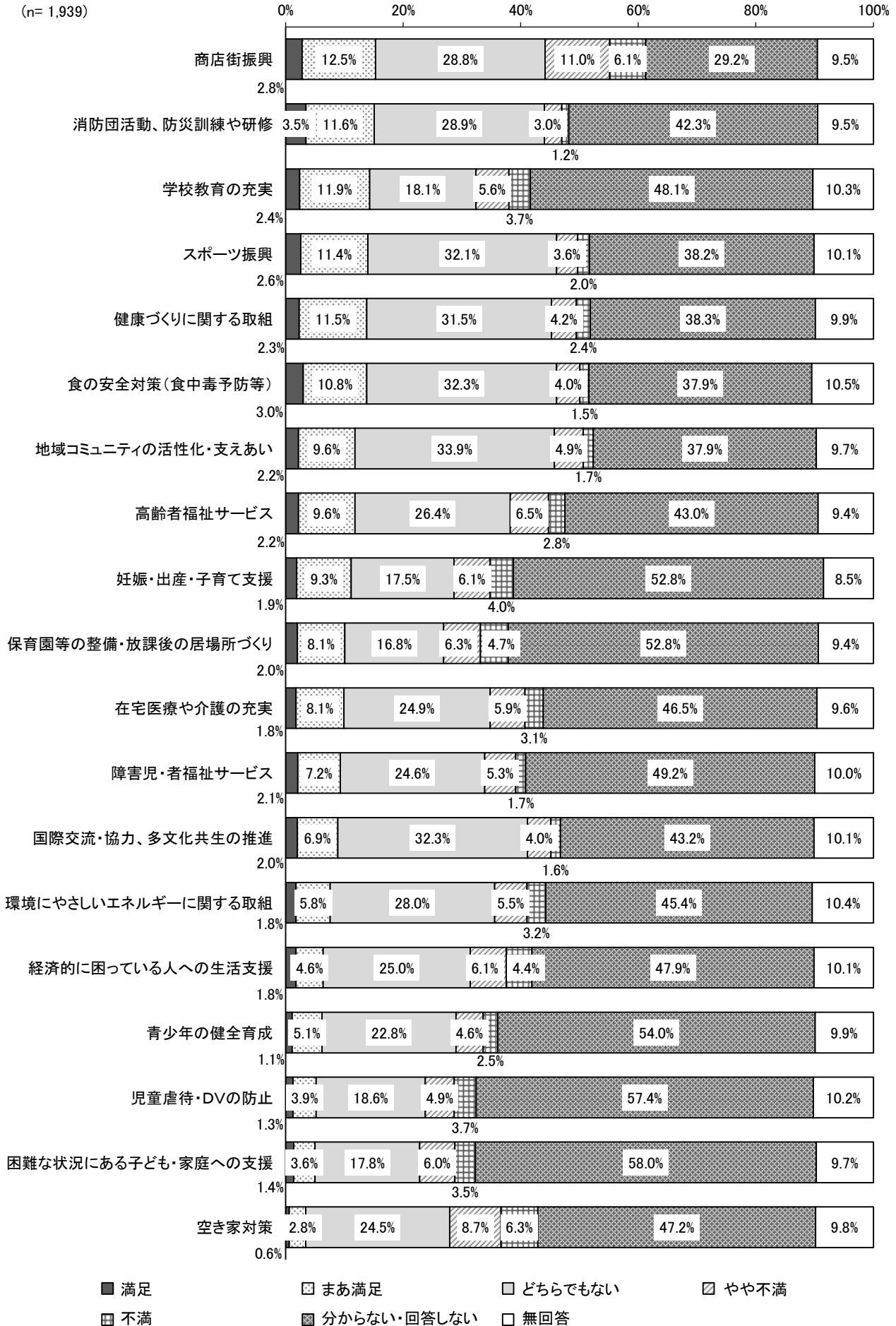
問 43 中区の行政の支援やサービスについて、あなたの(ア)「満足度」と(イ)「重要度」をそれぞれお答えください。(各行の(ア)満足度と(イ)重要度について、それぞれ〇は1つずつ)

### (ア) 行政の支援やサービスの満足度

行政の支援やサービスに対する満足度について「満足」「まあ満足」を合わせてみると、「日常の買い物の利便性」が51.1%と最も高く、次いで「バス・地下鉄・電車等の利便性」49.0%、「公園(動物園)の整備」41.2%の順となっている。

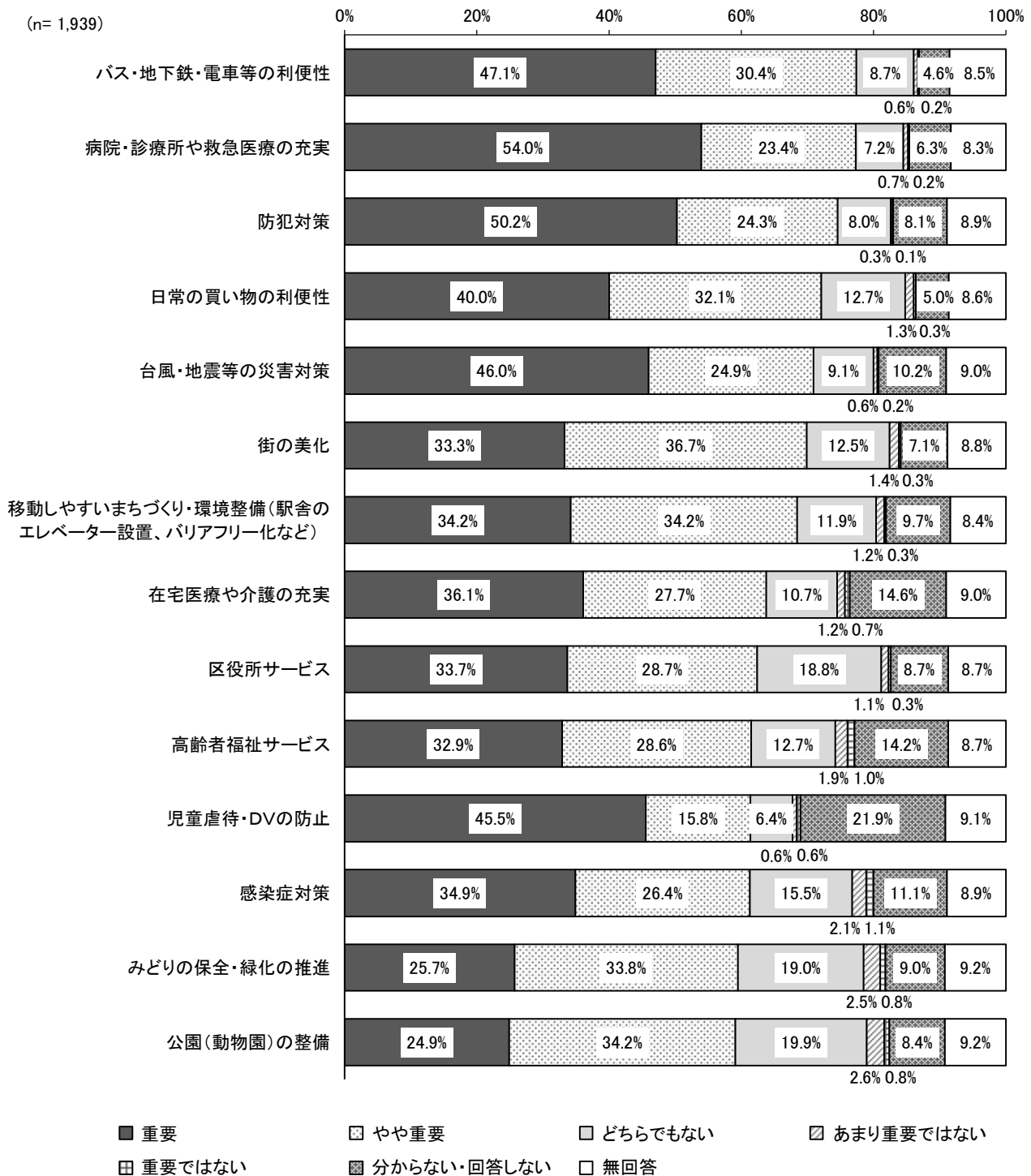


(n= 1,939)



### (イ) 行政の支援やサービスの重要度

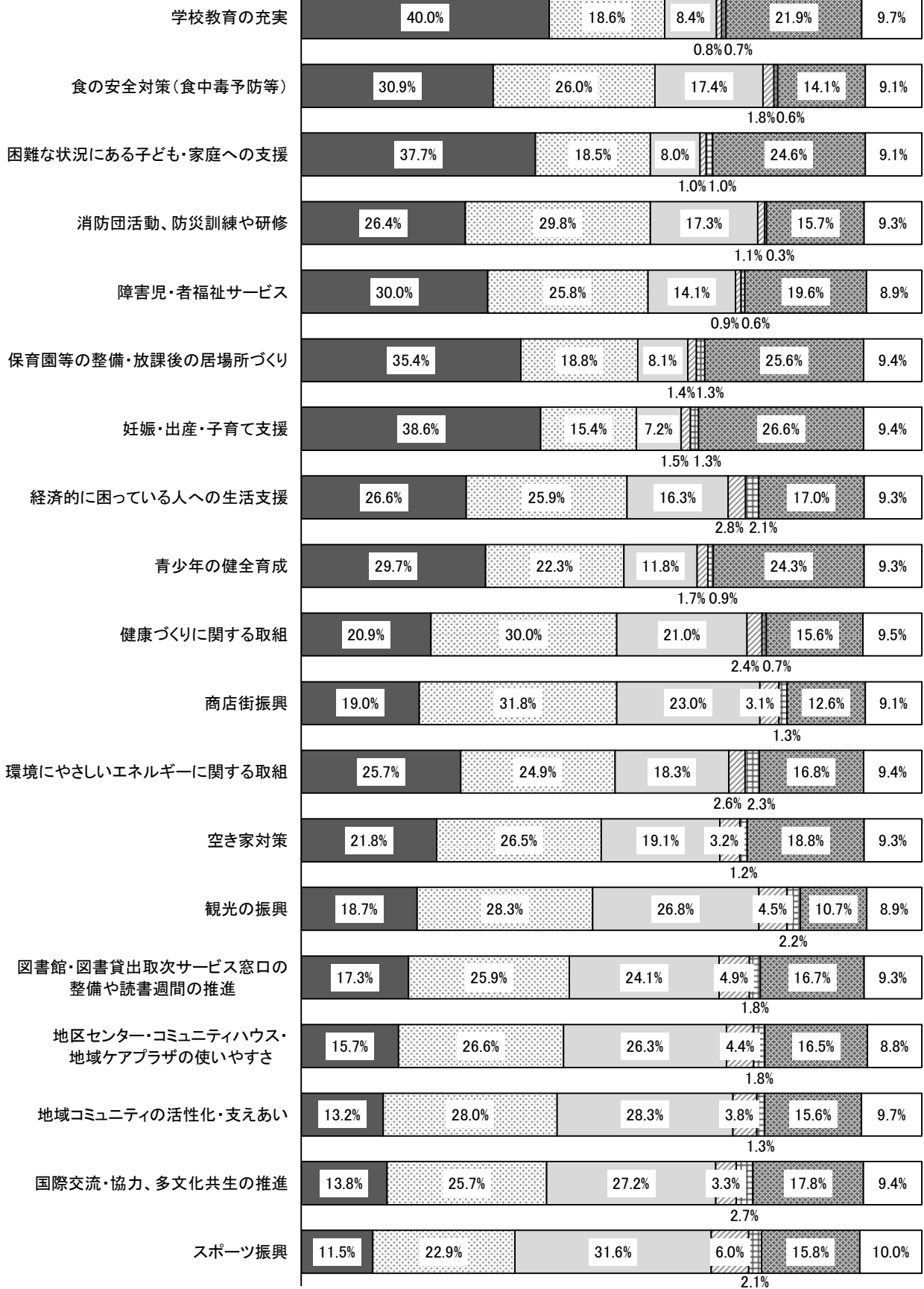
行政の支援やサービスに対する重要度について「重要」「やや重要」を合わせてみると、「バス・地下鉄・電車等の利便性」が77.5%と最も高く、次いで「病院・診療所や救急医療の充実」77.4%、「防犯対策」74.5%の順となっている。





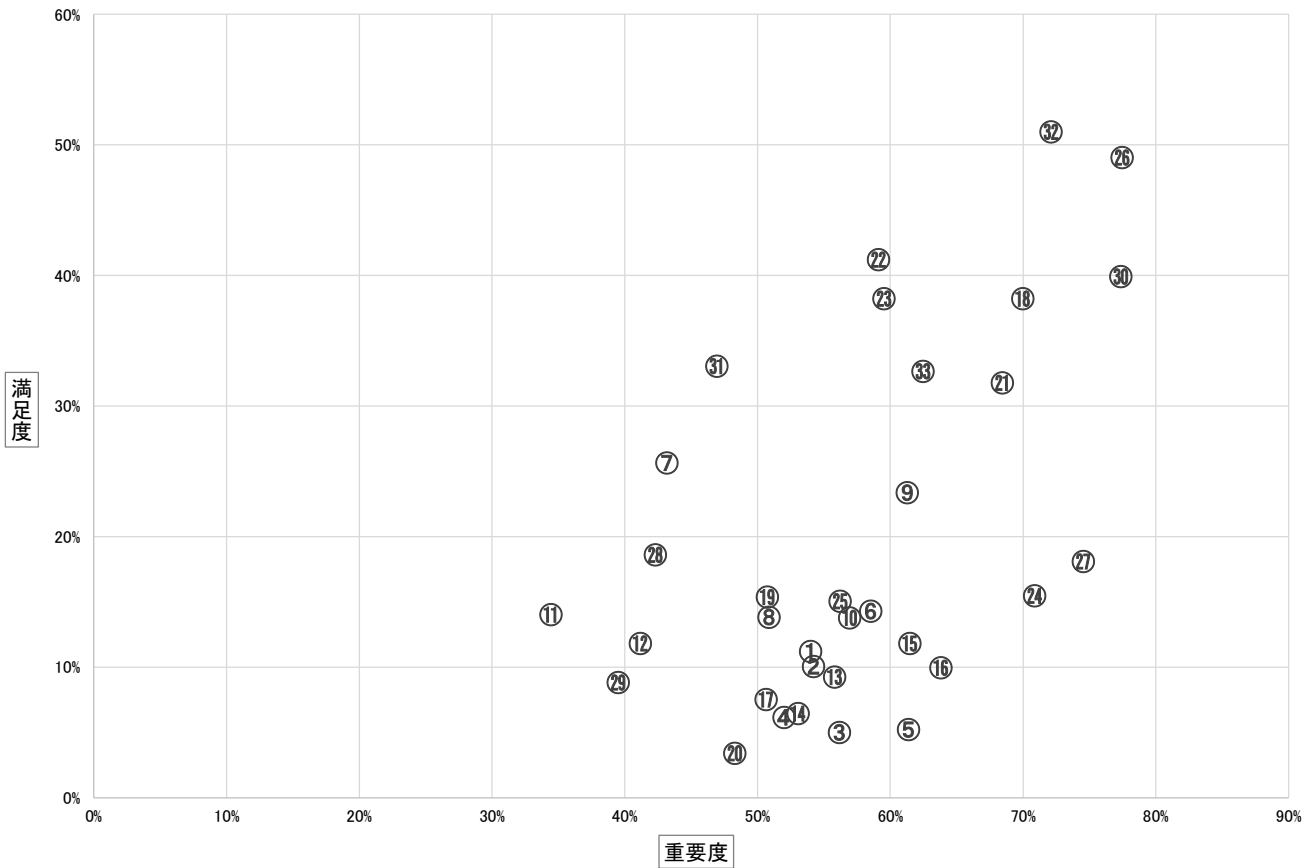
(n= 1,939)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 重要                      □ やや重要                      □ どちらでもない                      □ あまり重要ではない  
 □ 重要ではない                      □ 分からない・回答しない                      □ 無回答

満足度と重要度の散布図



- ① 妊娠・出産・子育て支援
- ② 保育園等の整備・放課後の居場所づくり
- ③ 困難な状況にある子ども・家庭への支援
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ 児童虐待・DVの防止
- ⑥ 学校教育の充実
- ⑦ 図書館・図書貸出取次サービス窓口の整備や読書週間の推進
- ⑧ 健康づくりに関する取組
- ⑨ 感染症対策
- ⑩ 食の安全対策(食中毒予防等)
- ⑪ スポーツ振興

- ⑫ 地域コミュニティの活性化・支えあい
- ⑬ 障害児・者福祉サービス
- ⑭ 経済的に困っている人への生活支援
- ⑮ 高齢者福祉サービス
- ⑯ 在宅医療や介護の充実
- ⑰ 環境にやさしいエネルギーに関する取組
- ⑱ 街の美化
- ⑲ 商店街振興
- ⑳ 空き家対策
- ㉑ 移動しやすいまちづくり・環境整備(駅舎のエレベーター設置、バリアフリー化など)
- ㉒ 公園(動物園)の整備

- ㉓ みどりの保全・緑化の推進
- ㉔ 台風・地震等の災害対策
- ㉕ 消防団活動、防災訓練や研修
- ㉖ バス・地下鉄・電車等の利便性
- ㉗ 防犯対策
- ㉘ 地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザの使いやすさ
- ㉙ 国際交流・協力、多文化共生の推進
- ㉚ 病院・診療所や救急医療の充実
- ㉛ 観光の振興
- ㉜ 日常の買い物の利便性
- ㉝ 区役所サービス

## 6. 自由意見

### (1) 自由意見

問 44 今後、区をより魅力ある、暮らしやすいまちにしていくなめのご意見を、ご自由にお書きください。

大分類		件数	小分類	件数
A	交通・道路	72	総合交通対策	10
			鉄道	11
			バス	26
			道路	4
			駐車・駐輪	5
			交通安全対策	14
			その他	2
B	マナー・ルール			26
C	ごみ・リサイクル	35	ごみ収集	18
			まちの美化	17
D	都市整備・開発と住宅	29	建築指導	10
			都市景観	12
			米軍施設	3
			その他	4
E	福祉	30	高齢者福祉	14
			障害者福祉	4
			生活保護・援護対策	1
			バリアフリーの推進	2
			その他	9
F	公害・環境保全・緑	36	騒音振動	7
			環境保全対策	10
			緑地保全・緑化推進	13
			野生動物対策	3
			その他	3
G	子育て	35	子育て支援	25
			保育園	2
			放課後児童育成	1
			子育て助成・給付	2
			その他	5
H	保健・衛生・医療			13
I	市民交流・地域イベント			16
J	市民利用施設	35	公園	7
			スポーツ施設	7
			公会堂・地区センター	3
			コミュニティハウス	1
			市・区庁舎	3
			その他の市民利用施設	10
			その他	4

大分類		件数	小分類	件数
K	防犯・防災・消防	32	防犯	7
			防災・消防	4
			その他	21
L	都市経営・運営	28	計画・調査	3
			行政改革・組織	19
			IT推進	4
			その他	2
M	経済・産業	26	産業振興	18
			労働・雇用	2
			消費生活	4
			その他	2
N	戸籍・税金・保険年金	15	税金	13
			その他	2
O	職員(教職員を除く)	11	市民対応	11
P	広報・広聴・市民相談・情報公開	29	広報・広聴・市民相談	11
			情報公開	18
Q	港湾・河川	2	港湾	2
R	市民活動	8	市民活動・生涯学習	3
			自治会・町内会	4
			その他	1
S	教育	9	教育内容	2
			通学	1
			その他	6
T	観光・シティセールス	14	観光	5
			シティセールス	5
			Green EXPO	1
			その他	3
U	多文化共生			13
V	区・市への感謝など			10
W	その他			39

\*記入があった調査票の件数は 1 件。テーマ分類は横浜市の「市民の声」の大分類に「マナー・ルール」「市民交流・地域イベント」「多文化共生」「区・市への感謝など」を追加して各意見を振り分けています。複数の分類にまたがる意見が記載されている場合は、それぞれのテーマ分類ごとにカウントしています。